

柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり
基本方針 答申書
資料編

令和7年2月
柏市教育政策審議会

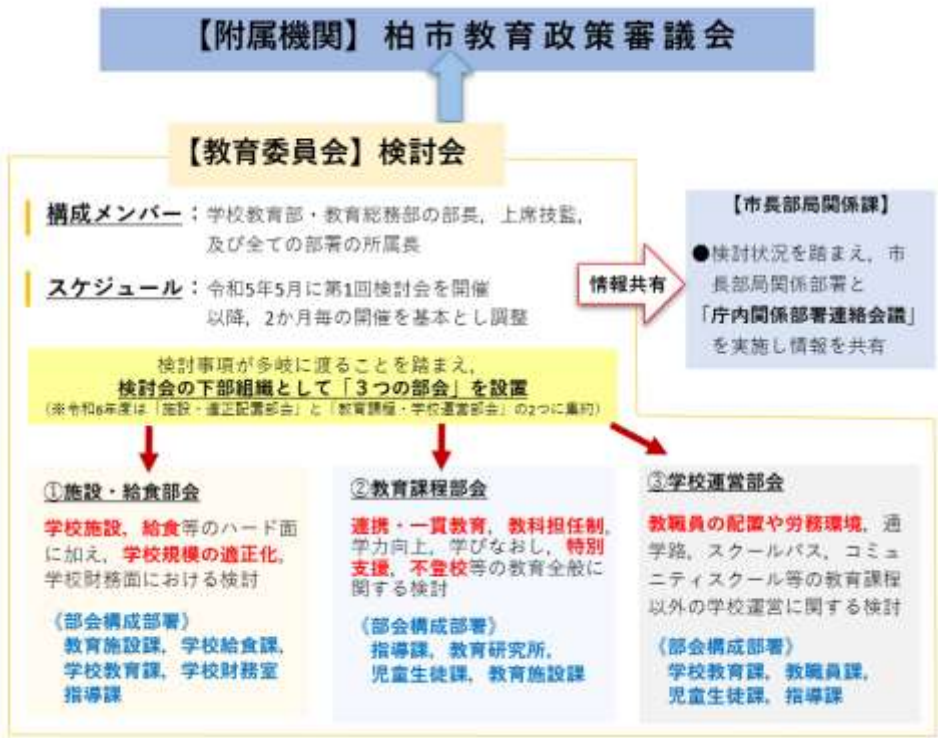
柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針 <資料編>

目次

1. 方針の策定体制 -----	1
2. 検討の経過 -----	1
(1) 柏市教育政策審議会 -----	1
(2) パブリックコメント -----	4
3. 学校を取り巻く現状と課題（背景） -----	5
(1) 児童生徒数の推移と将来推計 -----	5
①市全体の動向	
②7地域ごと、中学校区ごとの動向	
③学校別学級数の動向	
(2) 学校規模の現状と今後の見込み -----	17
①小学校	
②中学校	
(3) 学校施設の老朽化状況 -----	19
①学校施設の概要	
②学校施設の整備費用	
③学校施設の維持管理コスト概要	
(4) 通学路の現状 -----	25
①通学距離の現状	
②通学距離と通学時間の関係性	
(5) 教育上の課題について -----	27
①学校の規模により生じる変化	
②学区の不整合	
③不登校児童生徒への支援	
④子どもの居場所	
⑤いじめ	
⑥特別支援教育	
⑦教職員の多忙化	
⑧学力・学習状況	
⑨市立柏高等学校	
4. 教育環境に関するアンケート -----	47

コメントの追加 [修正1]: 文言の修正

1. 方針の策定体制



2. 検討の経過

(1) 柏市教育政策審議会

本方針は、柏市教育委員会の附属機関である柏市教育政策審議会での審議を経て策定しました。

○審議経過

回	開催日	協議内容
第1回	令和5年 11月22日	●基本方針策定に関する諮問 ●児童生徒数の推移、学校規模の現状と見込み、各種教育上の課題
第2回	令和6年 1月23日	●学校施設の老朽化等、通学路の安全対策、各種教育上の課題 ●アンケートの実施について
第3回	令和6年 3月19日	●基本方針の構成、市が目指す子ども像・学校教育 ●アンケートの設問について
第4回	令和6年 5月30日	●学校規模・学校配置及び通学距離 ●アンケートの速報値報告

回	開催日	協議内容
第5回	令和6年 7月16日	●市が目指す子ども像・学校教育 ●義務教育学校の視察（八千代市立阿蘇米本学園） ●各種教育上の課題への対応 ●アンケート結果報告
第6回	令和6年 9月4日	●各種教育上の課題への対応，基本方針（骨子案）の検討
第7回	令和6年 11月8日	●基本方針（第1案）の検討
第8回	令和6年 12月26日	●基本方針（第2案）の策定
第9回	令和7年 2月18日	●パブリックコメントの実施結果 ●基本方針（最終案）

○審議会委員名簿（◎：会長，○：副会長）（令和7年2月18日現在）

番号	区分	氏名	職等
1	市立学校長	なかた あつこ 中田 敦子	柏市立柏第三小学校長
2		いとう きみこ 伊藤 喜美子	柏市立風早南部小学校長
3		ふじさき ひであき 藤崎 英明	柏市立柏第三中学校長
4		かわもと とおる 川本 徹	柏市立中原中学校長
5		えんどう ひでひろ 遠藤 英宏	柏市立柏高等学校長
6	市立学校 関係者	すずき みちたか 鈴木 道貴	柏市PTA連絡協議会長
7		あおき まり 青木 真理	柏市PTA連絡協議会副会長
8		にゅうどう かずよ 入道 和代	柏市立逆井小学校運営協議会長
9		しょうじ きょうこ 少路 香子	柏市立西井根中学校運営協議会委員
10	学識経験者	あまがさ しげる ◎天笠 茂	千葉大学名誉教授
11		てらもと たえこ ○寺本 妙子	開智国際大学教授
12	その他	かんだ あき 神田 亜紀	公募委員
13		さかもと めぐみ 坂本 恵美	公募委員
14		ふるはし ようこ 古橋 洋子	公募委員
15		あべ たかし 阿部 孝	柏市ふるさと協議会連合会長

※上記のほか、^{ひらのひでき}平野秀樹委員（令和5年度田中北小学校長）が令和6年3月31日まで委員を務めた。

○柏市教育政策審議会規則

令和 5 年 10 月 26 日
(教)規則第 12 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、柏市附属機関設置条例(平成 8 年柏市条例第 6 号)に基づき設置された柏市教育政策審議会(以下「審議会」という。)の組織、運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第 2 条 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 市立の小学校、中学校又は高等学校の校長
- (2) 市立の小学校、中学校又は高等学校の関係者
- (3) 学識経験者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

2 前項の規定により委嘱された次の各号に掲げる委員は、それぞれ当該各号に定めるときに委員の職を失う。

- (1) 前項第 1 号に該当する者として委嘱された委員 同号の職を離れたとき。
- (2) 前項第 2 号に該当する者として委嘱された委員 同号の関係者としての地位等を離れたとき。

(会長及び副会長)

第 3 条 審議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 前 2 項の規定にかかわらず、感染症のまん延の防止の必要その他のやむを得ない事情があると会長が認めるときは、委員に議事に係る意見を求め、その半数以上から意見書の提出があった場合に限り、会長の決定をもって会議の議決に代えることができる。

5 会長は、前項の規定による決定をしたときは、遅滞なく、当該決定について委員に報告しなければならない。

(関係者の出席等)

第 5 条 審議会は、必要に応じて委員以外の関係者に対し、会議への出席を求めてその意見を聴くこと又は資料の提出を求めることができる。

(審議会の運営等)

第 6 条 この規則で定めるもの及び次条の規定により教育委員会が別に定めるものを除くほか、審議会の議事及び運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

(補則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

(2) パブリックコメント

本方針の策定にあたっては、広く市民からの意見を聴き参考とするため、意見公募手続（パブリックコメント）を実施しました。

①意見募集の概要

意見募集する政策等	柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針
政策等の案の公表日	令和6年12月28日（土）
意見提出期間	令和6年12月28日（土）から令和7年1月28日（火）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ、教育政策課窓口）

②結果の概要

意見数（意見提出者数）	307 件（167 人）
インターネット	66 人
ファクシミリ	13 人
郵送	15 人
直接持参	73 人

コメントの追加 [修正2]: パブリックコメントを受けて意見数等を追記

③提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容と、それに対する本市教育委員会の考え方は、次のとおりです。

<総括表>

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ反映したもの、または反映済みのもの	35 件
B	個別の事業・施策の推進に活用するもの	22 件
C	今後の検討のために参考とするもの、または、関係部門計画等への反映を検討するもの	152 件
D	その他（意見として聴取したもの）	98 件

コメントの追加 [修正3]: 上と同じ

コメントの追加 [修正4]: パブリックコメントの実施結果を受けて、区分表記を修正

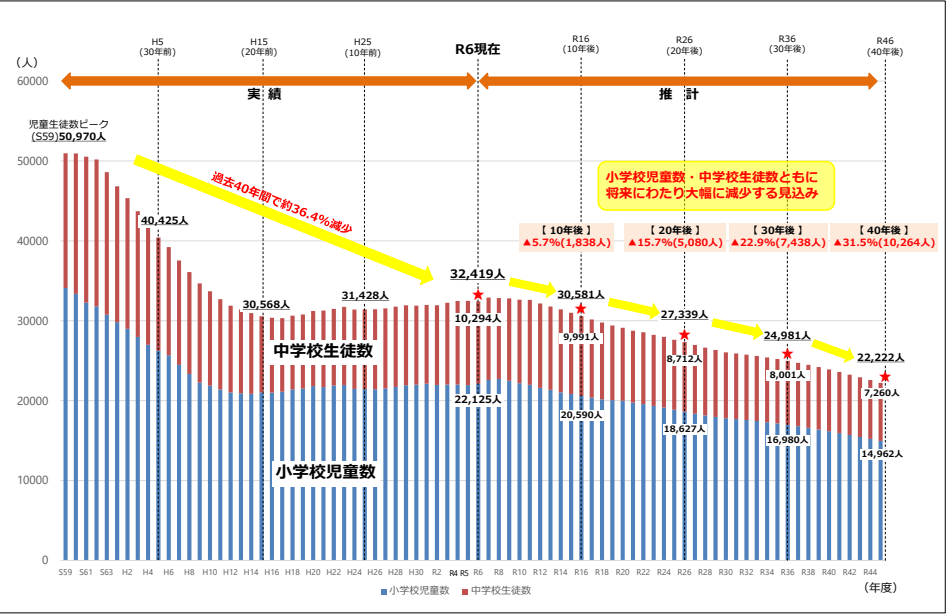
3 学校を取り巻く現状と課題（背景）

(1) 児童生徒数の推移と将来推計

①市全体の動向

本市の児童生徒数は、昭和59（1983）年度の5万970人をピークに減少しており、令和6（2024）年度は3万2,419人と、ピーク時から40年で約36.4%減少しています。今後数年間は横ばいで推移し、令和8（2026）年度以降再び減少に転じる予測となっており、今後10年で約5.7%減少、今後20年では約15.7%減少、40年後の令和46（2064）年度には現在の3分の2強（68.5%）にあたる2万2,222人まで児童生徒数が減少すると予測されています。

図表 資-1 児童生徒数の長期推計（柏市全体）



出典：柏市教育委員会資料

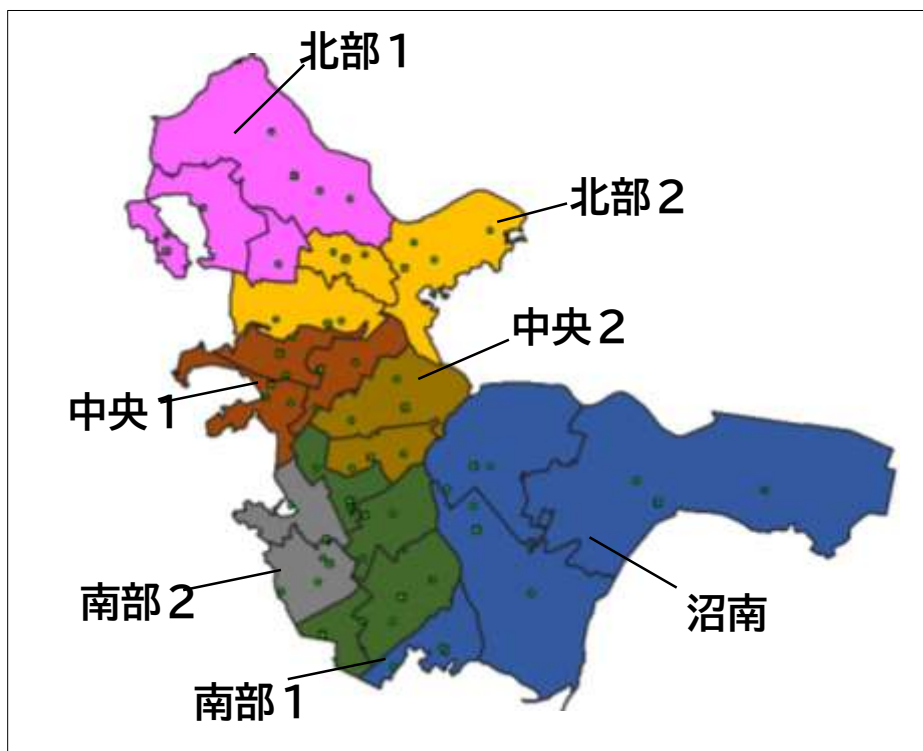
コメントの追加 [修正5]: 出典を追記

② 7地域ごと、中学校区ごとの動向

児童生徒数の増減の傾向は全市一律ではなく、中学校区ごとに大きく異なります。図表 資-3～資-6では、本市の21中学校区別の小中学校の児童生徒数について、過去から現在までの増減、並びに今後20年間の推計を、本市が日常生活圏域^(注1)として設定している7地域ごとにまとめました。

図表 資-2 7地域区分

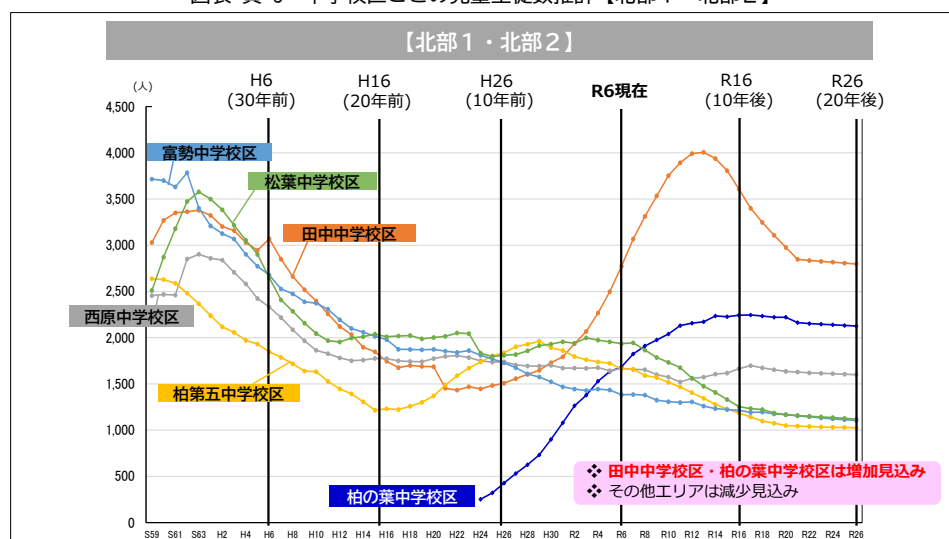
中圏域 (日常生活圏域)	該当する中学校区（中学校所在地を基準とする）
北部1	田中中学校区、西原中学校区、柏の葉中学校区
北部2	柏第五中学校区、富勢中学校区、松葉中学校区
中央1	柏中学校区、柏第三中学校区、豊四季中学校区
中央2	柏第二中学校区、柏第四中学校区
南部1	中原中学校区、土中学校区、逆井中学校区、南部中学校区
南部2	酒井根中学校区、光ヶ丘中学校区
沼南	大津ヶ丘中学校区、風早中学校区、高柳中学校区、手賀中学校区



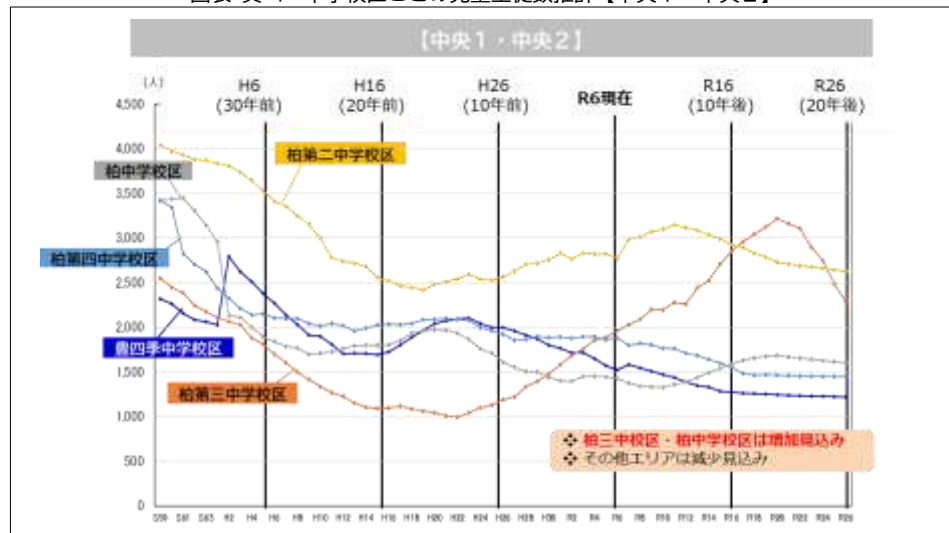
^(注1) 日常生活圏域：柏市では、介護保険法で定められた地域密着型サービスの基盤整備の単位として、7圏域を設定している

今後の児童生徒数の増減傾向をみると、北部及び中央地域では中学校区ごとに増減傾向が異なり、市北部の田中中学校区・柏の葉中学校区や、柏駅への徒歩圏内にあたる柏中学校区、柏第三中学校区などでは今後、児童生徒数が増加する見込みとなっています。一方で、南部及び沼南地域では、今後全エリアで減少する見込みとなっています。

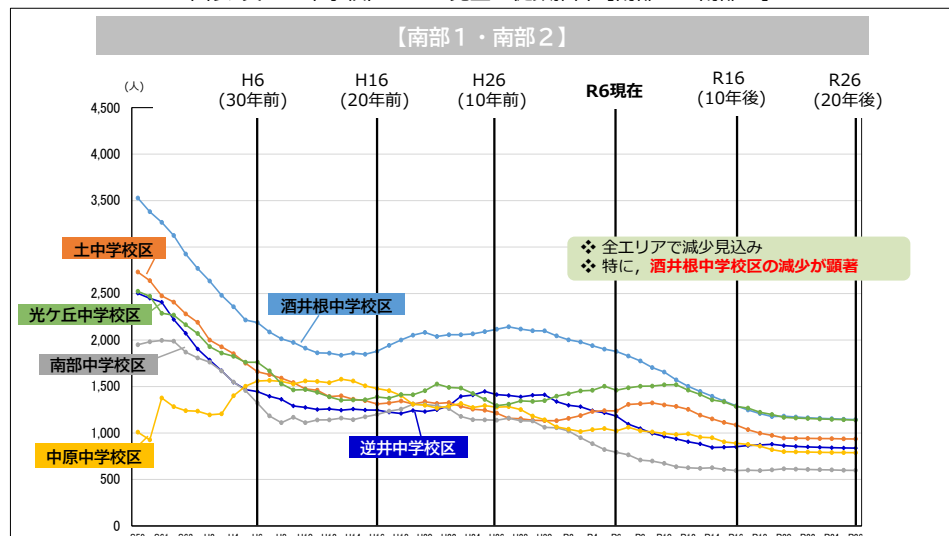
図表 資-3 中学校区ごとの児童生徒数推計【北部1・北部2】



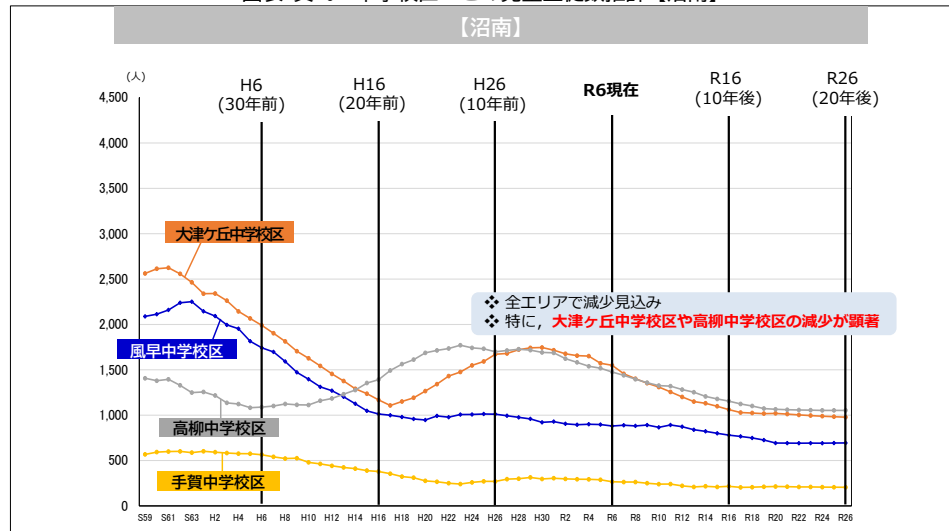
図表 資-4 中学校区ごとの児童生徒数推計【中央1・中央2】



図表 資-5 中学校区ごとの児童生徒数推計【南部1・南部2】



図表 資-6 中学校区ごとの児童生徒数推計【沼南】



資料 3-6 出典: 柏市教育委員会資料

コメントの追加 [修正6]: 出典を追記

図表 資-7 児童生徒数・学級数の推計【北部】

コメントの追加 [パブリックコメント7]: 本方針の児童生徒数推計において区分けしている中学校区がわかりやすくなるよう整理
(P9~P12)

		現在										10年後										20年後					
地域	学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26				
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044				
北部1	柏の葉中	370	374	435	481	518	550	573	590	594	636	656	680	662	647	627	616	609	606	604	602	600	598				
		12	12	13	14	16	17	18	18	18	19	20	21	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18				
北部1	柏の葉小	1,264	1,311	1,389	1,430	1,458	1,490	1,558	1,567	1,578	1,599	1,571	1,563	1,584	1,587	1,594	1,605	1,554	1,547	1,542	1,538	1,533	1,528				
		38	39	42	43	44	45	47	46	47	48	48	47	47	47	47	48	46	46	46	46	46	46				
	田中中	617	640	678	739	789	901	993	1,109	1,204	1,257	1,257	1,238	1,226	1,208	1,131	1,010	896	892	889	886	883	880				
		18	18	19	20	22	26	28	30	33	34	33	34	34	33	31	28	25	25	25	25	25	25				
北部1	田中北小	830	999	1,118	1,247	1,322	1,351	1,344	1,302	1,223	1,092	996	884	757	691	662	651	619	616	614	612	610	608				
		26	30	33	37	39	40	40	38	36	32	30	27	24	23	22	22	21	21	21	21	21	21				
北部1	田中小	772	840	1,007	1,069	1,166	1,252	1,312	1,322	1,312	1,301	1,245	1,165	1,085	1,021	992	995	1,015	1,010	1,007	1,004	1,000	997				
		24	25	30	32	35	37	39	39	39	39	37	36	33	31	30	31	32	32	32	32	32	32				
北部1	花野井小	278	294	265	258	257	249	244	258	267	288	309	321	332	327	323	320	318	317	316	315	314	313				
		12	12	12	11	10	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部1	西原中	492	516	518	522	492	517	509	536	501	503	452	439	397	391	386	382	380	378	377	376	375	374				
		13	14	15	15	15	16	15	16	15	15	14	13	13	12	12	12	12	12	12	11	11	11				
北部1	十倉二小	540	550	538	529	523	502	479	484	491	506	525	555	592	584	577	571	568	565	563	561	559	557				
		18	18	18	18	18	17	16	16	16	16	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
北部1	西原小	611	602	602	603	585	555	533	541	581	597	640	671	709	699	690	683	680	677	675	673	671	669				
		20	19	20	20	20	19	19	19	20	21	22	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24				
北部2	柏第五中	607	546	574	541	548	538	532	514	496	471	465	443	426	387	368	346	342	340	337	335	334	333				
		17	16	17	16	16	15	16	15	15	15	15	14	13	12	12	12	11	11	10	10	10	10				
北部2	柏第四小	680	659	614	585	546	514	483	468	442	419	407	394	389	388	387	387	387	386	385	384	383	381				
		22	20	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	高田小	436	458	470	465	475	465	453	423	406	388	356	348	328	323	320	317	315	313	312	312	312	311				
		14	15	18	18	18	17	17	16	15	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	富勢中	506	504	493	467	441	469	490	493	450	444	417	416	388	402	391	392	388	385	381	375	372	369				
		15	14	15	15	14	14	14	14	15	14	13	13	14	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	富勢小	634	606	649	670	637	601	583	597	596	585	609	609	623	615	607	600	593	586	581	576	571	566				
		19	19	20	21	23	21	20	21	20	19	20	20	20	20	19	18	18	18	18	18	18	18				
北部2	富勢西小	190	171	150	153	150	148	140	130	131	122	123	120	115	114	113	113	112	112	111	111	110	110				
		7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
北部2	富勢東小	104	102	93	89	96	90	86	86	83	82	73	69	66	65	64	63	62	61	60	60	60	60				
		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
北部2	松葉中	657	646	636	612	643	642	637	601	589	541	473	435	432	427	394	379	375	373	371	370	368	367				
		18	18	18	18	19	19	19	17	18	17	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	松葉第一小	718	700	724	695	616	593	550	499	448	435	426	404	387	386	384	383	380	377	375	371	367	363				
		22	21	25	24	22	21	20	18	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	松葉第二小	580	590	584	559	527	498	489	463	438	432	432	416	414	410	407	405	403	400	397	395	392	389				
		19	19	19	19	18	17	16	16	15	14	14	13	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12				

※上段:児童生徒数(人) 下段:通常学級数(学級)

※本推計は、令和5年5月1日時点の未就学児数、在籍児童生徒数、転出入率等を用いて算出
令和6年度は5月1日時点の実数を記載

【凡例】

小学校	～ 6学級	
	7 ～ 11学級	
	12 ～ 17学級	
	18 ～ 24学級	
	25 ～ 30学級	
	31学級～	
中学校	～ 3学級	
	4 ～ 5学級	
	6 ～ 11学級	
	12 ～ 18学級	
	19 ～ 24学級	
	25学級～	

図表 資-8 児童生徒数・学級数の推計【中央】

		現在		10年後																				20年後	
地域	学校名	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036	R19 2037	R20 2038	R21 2039	R22 2040	R23 2041	R24 2042	R25 2043	R26 2044		
中央1	豊四季中	565	514	537	524	538	536	523	520	498	496	457	457	447	450	446	441	435	432	429	427	426	426		
		16	14	16	15	16	15	15	16	15	14	15	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13		
中央1	旭小	556	548	598	586	554	519	496	462	439	423	413	412	411	409	409	408	408	408	408	407	407	405		
		18	18	19	20	19	17	17	15	14	13	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12		
中央1	柏第三小	450	461	448	436	418	417	419	406	411	413	415	407	405	400	398	397	396	395	394	393	391	389		
		15	16	16	15	14	14	14	13	14	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12		
中央1	柏第三中	537	554	558	598	646	649	687	656	674	682	723	755	774	822	851	949	996	1,042	977	972	922	896		
		15	16	16	17	19	19	20	19	20	20	20	21	22	23	25	27	28	28	27	27	25	24		
中央1	柏第七小	813	861	966	999	1,065	1,088	1,138	1,172	1,251	1,311	1,340	1,344	1,318	1,251	1,132	1,020	894	797	735	685	662	649		
		24	26	30	31	33	33	34	35	37	40	40	40	39	37	34	31	28	26	25	23	22	21		
中央1	柏第六小	539	546	507	494	490	458	454	431	519	529	644	752	865	971	1,142	1,250	1,271	1,267	1,183	1,090	802	748		
		18	18	17	16	17	16	16	15	18	18	21	24	27	30	35	38	38	38	36	33	28	24		
中央1	柏中	492	491	461	424	439	423	420	389	380	384	395	414	442	480	510	526	519	513	508	504	501	498		
		13	13	14	12	13	13	13	12	12	12	12	13	13	15	16	15	15	15	15	15	15	15		
中央1	旭東小	327	328	314	305	293	289	286	298	305	312	321	329	331	329	327	325	324	322	320	318	316	313		
		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12		
中央2	柏第一小	629	609	601	613	602	618	656	704	753	798	827	848	859	849	840	832	825	819	813	806	799	791		
		20	19	19	19	19	20	21	23	25	27	27	28	28	27	27	26	26	25	24	24	24	24		
中央2	柏第二中	863	808	861	863	904	907	950	950	984	980	975	958	985	942	907	860	850	844	840	836	832	828		
		23	22	25	25	26	26	27	28	27	28	27	27	28	27	26	25	25	24	24	24	24	24		
中央2	柏第五小	922	921	893	895	889	876	877	885	898	907	907	904	900	890	884	879	873	867	862	857	851	845		
		27	29	29	28	28	29	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	28	28	27		
中央2	柏第三小	1,038	1,043	1,232	1,255	1,278	1,315	1,320	1,282	1,204	1,172	1,109	1,062	1,007	1,002	997	991	986	980	973	967	961	955		
		31	31	38	39	41	41	42	40	37	36	34	32	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
中央2	柏第四中	428	427	410	404	413	395	398	389	391	400	372	339	293	281	292	292	290	290	290	290	290	290		
		12	12	12	12	13	12	12	12	12	13	12	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
中央2	柏第八小	492	511	484	489	466	449	451	441	427	410	407	412	401	400	399	398	398	398	398	397	397	397		
		17	18	18	18	17	16	16	15	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12		
中央2	豊小	525	514	508	523	539	553	573	572	571	567	569	552	537	533	529	525	522	518	516	516	515	515		
		17	18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
南部1	名戸ヶ谷小	417	431	396	404	387	369	341	308	295	264	252	251	252	251	250	250	250	249	249	249	248	248		
		13	14	14	15	14	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12		

※上段:児童生徒数(人) 下段:通常学級数(学級)

※本推計は、令和5年5月1日時点の未就学児数、在籍児童生徒数、転出入率等を用いて算出
令和6年度は5月1日時点の実数を記載

【凡例】

小学校	～ 6学級	
	7 ～ 11学級	
	12 ～ 17学級	
	18 ～ 24学級	
	25 ～ 30学級	
	31学級～	
中学校	～ 3学級	
	4 ～ 5学級	
	6 ～ 11学級	
	12 ～ 18学級	
	19 ～ 24学級	
	25学級～	

図表 資-9 児童生徒数・学級数の推計【南部】

		現在															10年後										20年後					
地域	学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26									
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044									
南部1	逆井中	615	617	554	540	517	507	489	453	423	383	377	370	378	390	402	390	385	381	379	377	376	376									
		17	16	16	16	15	16	15	14	13	12	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12									
南部1	逆井小	302	290	269	259	248	231	222	218	217	215	214	215	221	218	216	214	213	212	211	211	210	209									
		12	12	12	12	12	11	10	10	11	11	11	11	12	11	11	10	9	11	10	10	9	9									
南部1	藤心小	300	275	272	249	231	225	226	235	243	246	256	267	266	263	261	260	258	257	256	254	253	252									
		11	10	12	12	11	10	10	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12									
南部1	土中	226	238	249	266	264	290	287	284	252	256	271	277	276	243	223	195	193	192	192	192	192	192									
		7	8	8	9	9	10	9	9	9	9	9	9	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6									
南部1	増尾西小	570	546	597	587	588	567	560	559	540	522	500	483	455	452	450	450	449	449	448	447	446	445									
		18	18	21	20	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18									
南部1	土小	444	454	461	462	472	445	439	411	400	374	343	327	305	303	302	301	301	301	300	300	299	299									
		13	14	17	17	17	16	16	15	15	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12									
南部1	南部中	322	285	269	249	255	244	220	226	227	227	208	188	178	177	186	200	197	196	195	194	192	191									
		10	9	9	9	9	9	8	8	8	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6									
南部1	土南部小	500	507	496	460	443	429	417	400	393	399	400	408	422	419	417	415	414	412	410	409	407	407									
		16	16	17	16	15	14	14	14	13	14	14	15	15	14	14	14	14	13	13	12	12	12									
南部1	中原中	426	405	412	389	380	383	380	399	392	397	376	382	384	371	336	316	314	312	309	307	306	306									
		12	12	12	12	12	13	12	12	12	12	13	13	12	12	11	9	9	9	9	9	9	9									
南部1	中原小	622	617	650	635	631	612	603	592	563	552	528	508	493	488	485	483	483	483	483	483	483	482									
		20	20	22	22	21	20	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18									
南部2	酒井根中	666	660	662	632	615	608	602	581	567	559	533	506	445	413	387	394	391	389	386	383	381	380									
		18	18	20	19	19	18	18	18	18	17	15	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12									
南部2	酒井根小	613	602	568	553	527	511	475	442	430	409	390	370	365	363	361	361	359	357	357	356	355	353									
		19	19	19	19	18	18	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12									
南部2	酒井根西小	203	210	219	223	219	210	206	191	171	155	145	138	134	133	132	131	130	129	129	129	129	129									
		7	7	10	11	10	9	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6									
南部2	酒井根東小	420	405	379	367	343	327	288	288	279	272	275	278	304	300	297	295	292	289	286	285	283	282									
		14	13	14	13	12	12	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12									
南部2	光ヶ丘中	584	579	561	561	570	600	638	608	602	565	583	554	557	515	493	464	460	458	456	455	453	452									
		17	16	17	17	16	18	19	18	17	17	17	17	17	15	15	15	15	15	15	14	13	13									
南部2	光ヶ丘小	919	881	925	942	935	918	881	853	813	791	752	732	711	708	706	704	701	698	695	692	690	687									
		27	28	29	30	30	29	28	27	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24									

※上段:児童生徒数(人) 下段:通常学級数(学級)

※本推計は、令和5年5月1日時点の未就学児数、在籍児童生徒数、転出入率等を用いて算出
令和6年度は5月1日時点の実数を記載

【凡例】

小学校	～ 6学級	
	7 ～ 11学級	
	12 ～ 17学級	
	18 ～ 24学級	
	25 ～ 30学級	
中学校	31学級～	
	～ 3学級	
	4 ～ 5学級	
	6 ～ 11学級	
	12 ～ 18学級	
	19 ～ 24学級	
	25学級～	

図表 資-10 児童生徒数・学級数の推計【沼南】

地域	学校名	現在										10年後										20年後					
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26				
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044				
沼南	風早中	311	299	306	290	305	291	303	303	290	286	280	283	301	286	283	232	231	230	230	229	229	229				
		9	9	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9				
沼南	風早南部小	286	271	273	270	261	244	246	238	228	219	210	204	190	191	191	190	190	190	190	190	191	191				
		12	11	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
沼南	大津ヶ丘第二小	300	311	310	322	325	331	343	332	324	317	310	293	275	272	272	271	271	271	272	272	273	274				
		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
沼南	大津ヶ丘中	589	571	505	458	465	472	449	425	408	423	391	361	318	321	319	329	326	323	320	317	315	312				
		17	17	16	15	14	14	14	13	13	13	12	11	9	10	10	10	10	10	10	9	9	9				
沼南	風早北部小	673	667	643	633	585	542	536	516	488	461	463	465	458	454	452	449	446	443	441	439	436	435				
		22	22	21	20	19	18	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
沼南	大津ヶ丘第一小	310	312	308	311	302	296	271	260	254	247	244	235	253	249	246	242	240	237	235	233	232	231				
		12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
沼南	高柳中	558	529	529	484	470	434	460	452	451	427	416	420	404	384	358	352	349	348	347	346	345	345				
		15	15	15	14	14	13	14	14	13	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
沼南	高柳小	678	688	678	700	703	716	685	648	619	585	553	514	500	497	495	494	492	491	491	491	492	493				
		21	23	23	24	24	24	23	22	21	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
沼南	高柳西小	282	259	232	212	185	176	175	182	183	195	210	221	220	220	220	219	219	218	217	216	216	215				
		11	11	9	8	8	8	8	9	9	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
沼南	手賀中	107	81	100	84	92	100	99	87	68	86	75	76	61	64	71	74	74	73	73	72	71	70				
		3	3	3	3	4	5	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
沼南	手賀西小	112	105	122	131	122	104	102	92	98	93	99	102	105	105	103	103	102	101	101	101	101	101				
		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
沼南	手賀東小	69	70	41	48	36	36	40	42	43	37	35	38	38	37	37	37	36	35	35	34	34	34				
		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				

※上段:児童生徒数(人) 下段:通常学級数(学級)

※本推計は、令和5年5月1日時点の未就学児数、在籍児童生徒数、転出入率等を用いて算出
令和6年度は5月1日時点の実数を記載

【凡例】

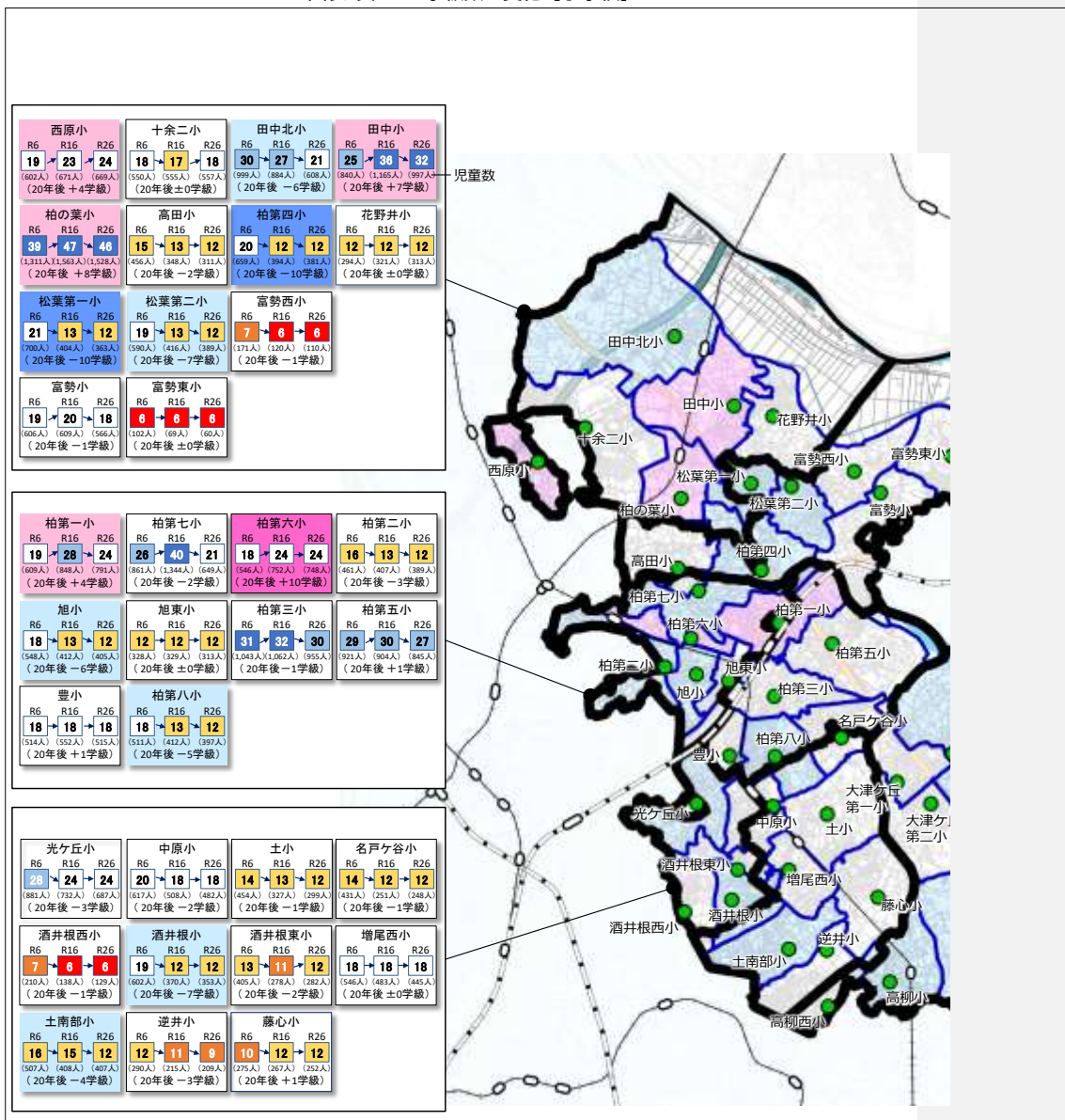
小学校	～ 6学級	
	7 ～ 11学級	
	12 ～ 17学級	
	18 ～ 24学級	
	25 ～ 30学級	
中学校	31学級～	
	～ 3学級	
	4 ～ 5学級	
	6 ～ 11学級	
	12 ～ 18学級	
	19 ～ 24学級	
	25学級～	

③学校別学級数の動向

1) 小学校の学級数の変化

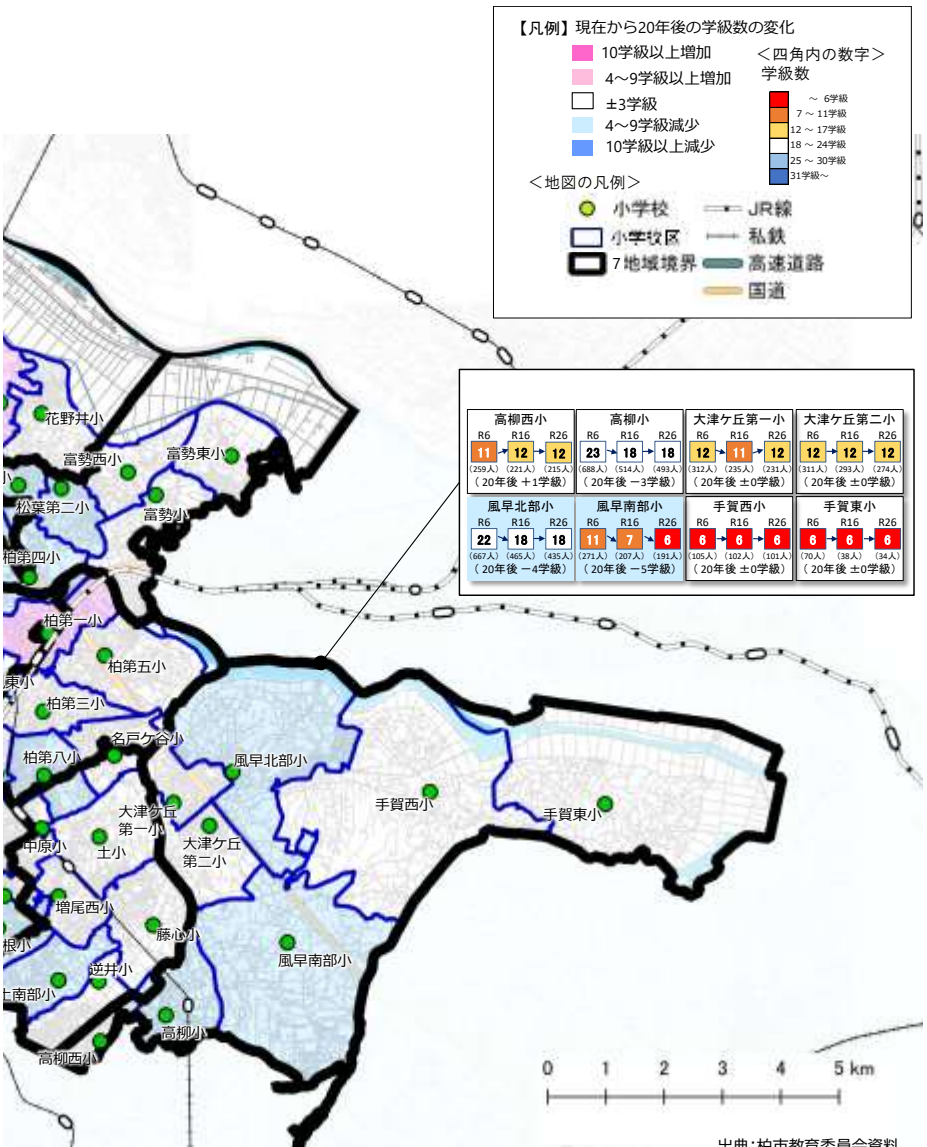
今後の学級数の変化動向は、学校ごとに大きな違いがあります。地域単位での増加が予測される北部地域であっても、学校単位では田中小学校区と田中北小学校区のように、増加予測校と減少予測校が隣り合っている例がみられます。

図表 資-11 学級数の変化【小学校】



一方で、南部や沼南地域の学校では、すでに小規模校化している学校に加え、今後クラス替えができなくなる単学級校が出現する見込みです。今後は、同じ地域の中でも増加と減少の両方への対応が求められます。

なお、小学校の学級数は、全学年35人学級を前提として算出しています（以下、本方針の学級数の算出について同様）。

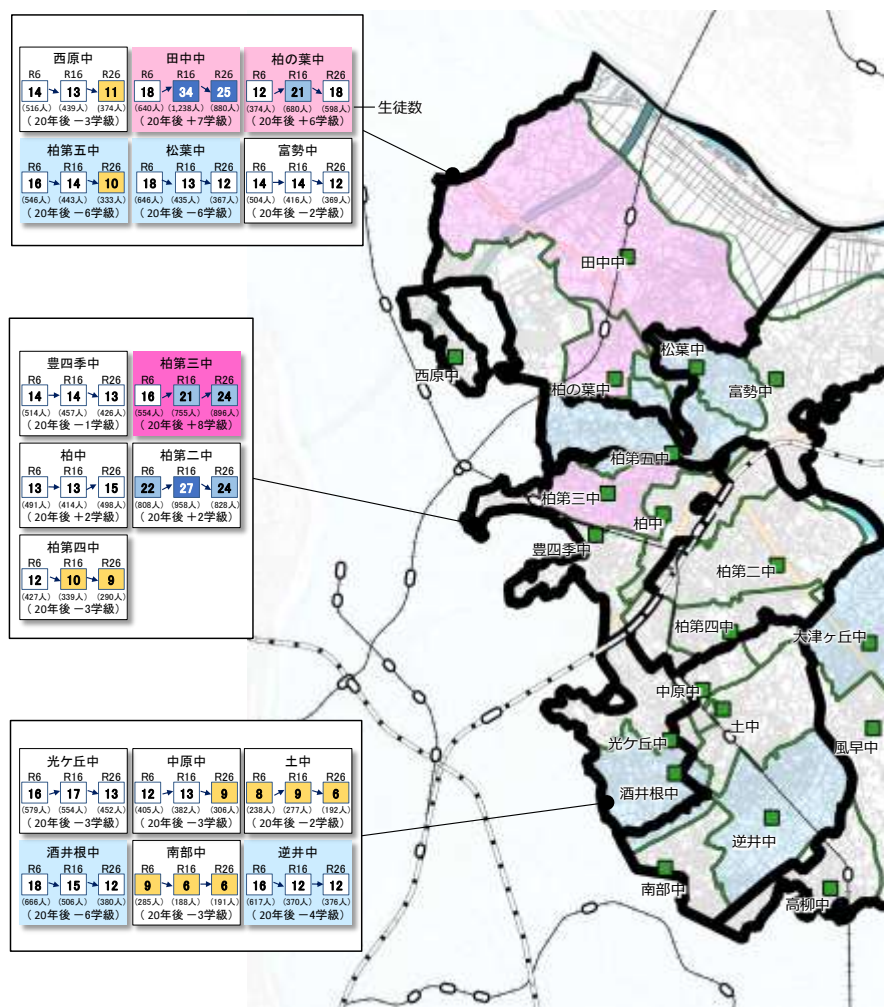


コメントの追加 [修正8]: 出典を追記

2) 中学校の学級数の変化

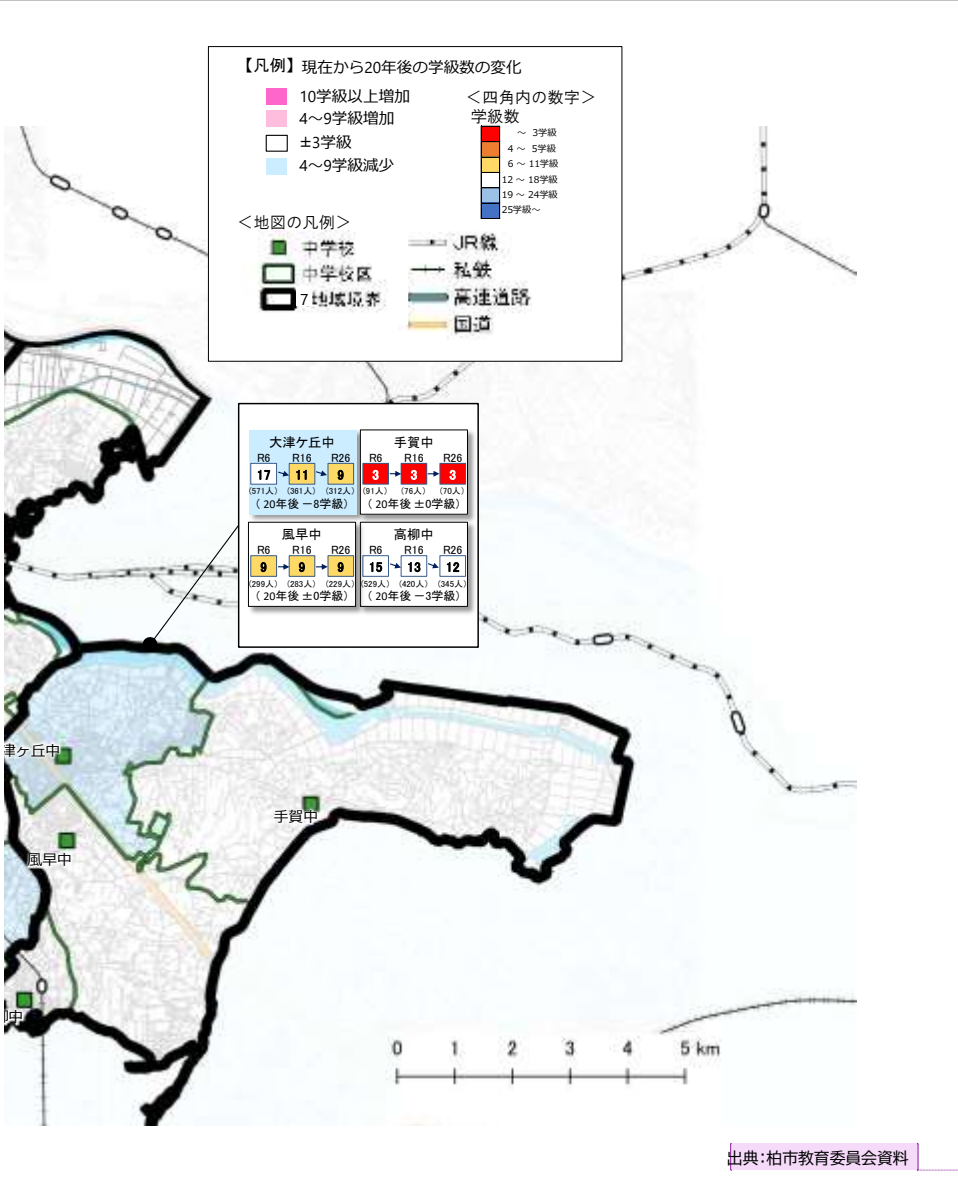
中学校においても、増加対応と減少対応の両方が求められます。特に学級数の変動が大きいのは北部の田中中学校区で、今後10年間は増加するものの、その後の10年間は減少に転じる見込みです。

図表 資-12 学級数の変化【中学校】



一方で、南部や沼南地域の学校では、すでに1学年3学級を割り込んでいる中学校もあり、
今後はさらに小規模校化が進行する見込みとなっています。

なお、中学校の学級数は、1年生が38人学級、2年生と3年生が40人学級を前提として算出
しています（以下、本方針の学級数の算出について同様）。

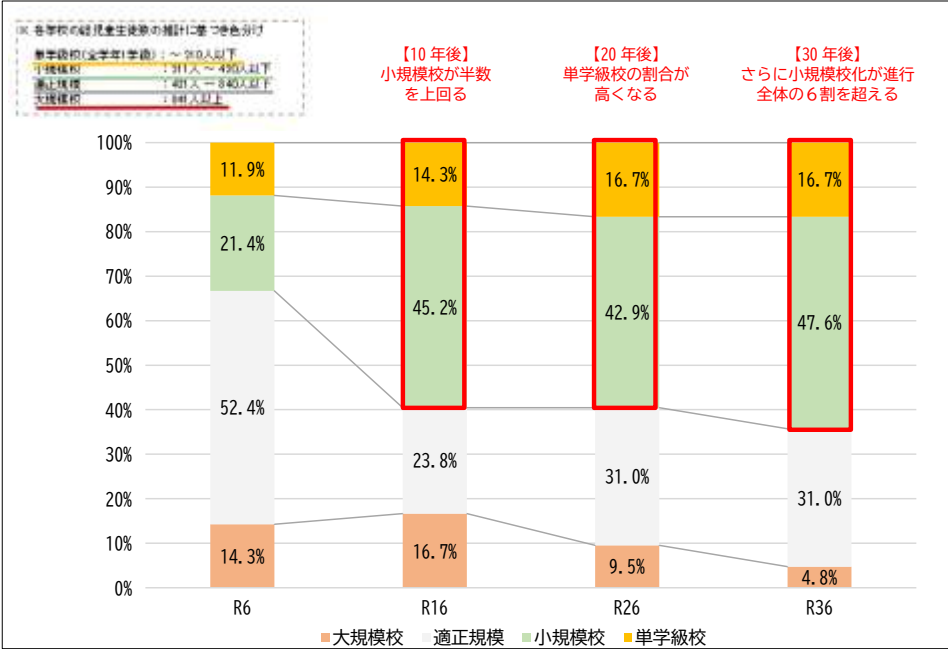


(2) 学校規模の現状と今後の見込み

①小学校

小学校の学校規模^(注2)について、全学年1学級の単学級校、1学年1～2クラスとなる小規模校、1学年2～4クラスとなる適正規模校、それ以上のクラス数となる大規模校に分類すると、令和6（2024）年度現在、本市の小学校は適正規模校が52.4%を占めていますが、10年後には小規模校が半数を上回り、30年後の令和36（2054）年には小規模校が全体の6割（64.3%）に達すると予測しています。

図表 資-13 学校規模の予測（R6～R36）【小学校】



出典：柏市教育委員会資料

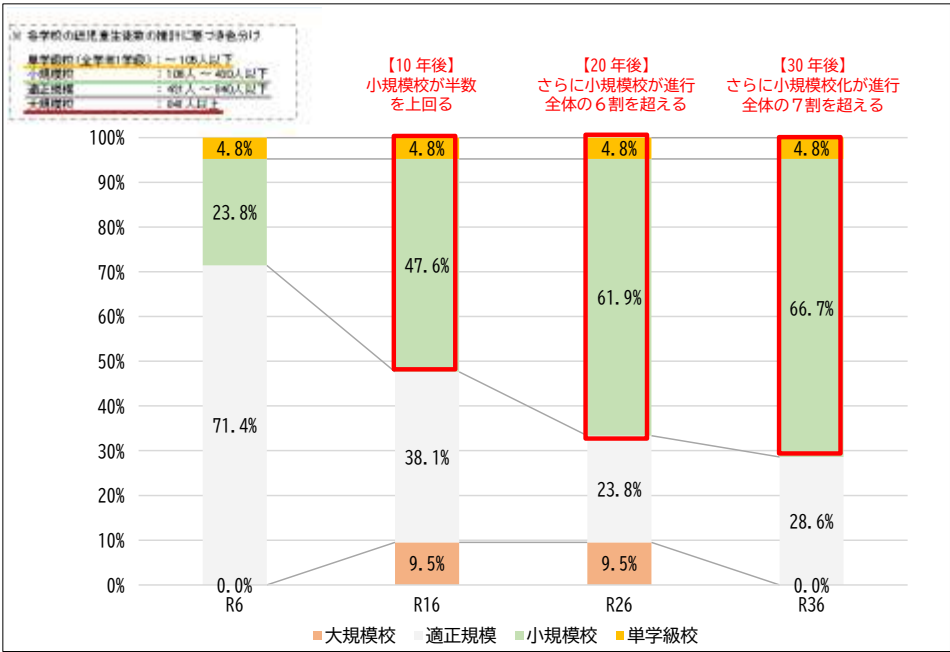
コメントの追加 [修正10]: 出典を追記

^(注2) 学校規模：「柏市立小学校及び中学校の適正配置に関する基本方針」（平成28年改訂）では、小・中学校共に12～24学級校を適正規模校としている

②中学校

中学校の学校規模について、全学年1学級の単学級校、1学年1～4クラスとなる小規模校、1学年4～8クラスとなる適正規模校、それ以上のクラス数となる大規模校に分類すると、令和6（2024）年現在、本市の中学校は適正規模校が71.4%を占めていますが、10年後には小規模校が大幅に増加して全体の半数を上回り、30年後には小学校より高い全体の7割（71.5%）が小規模校化となる予測となっています。

図表 資-14 学校規模の予測（R6～R36）【中学校】



出典：柏市教育委員会資料

コメントの追加 [修正11]: 出典を追記

(3) 学校施設の老朽化状況

①学校施設の概要

1) 小学校

小学校の延床面積の平均は6,208㎡となっています。このうち、最も大きいのは令和5（2023）年度に移転した田中北小学校で、約15,000㎡となっています。校舎棟が築40年以上の小学校は全42校中38校（全体の90.5%）となっており、このうち2校は築60年を経過しています。

図表 資-15 市立学校施設の概要【小学校】

	名称	住所	20地域	延床面積 (㎡)	建築 年度	建築 年度	築後 年数	児童生徒数 (人)	学級数(学級)		複合・併設
									普通 学級	特別 支援	
小学校	1 柏第一小学校	あけぼの1-7-6	柏中央	6,359	1963	S38	61	609	19	5	こどもルーム
	2 柏第二小学校	豊四季310	新富	5,618	1965	S40	59	461	16	4	こどもルーム
	3 柏第三小学校	若葉町4-54	富里	10,224	1965	S40	59	1,043	31	8	こどもルーム
	4 柏第四小学校	松ヶ崎1182-9	高田・松ヶ崎	6,149	1969	S44	55	659	20	3	こどもルーム
	5 柏第五小学校	柏932-7	柏中央	7,309	1968	S43	56	921	29	5	こどもルーム
	6 柏第六小学校	豊四季台4-2-1	豊四季台	5,105	1963	S38	61	546	18	4	こどもルーム
	7 光ヶ丘小学校	流山市向小金4-20-1	光ヶ丘	6,357	1966	S41	58	881	28	4	こどもルーム
	8 土小学校	増尾4-4-1	増尾	5,489	1966	S41	58	454	14	4	こどもルーム
	9 富勢小学校	布施925-1	富勢	5,686	1965	S40	59	606	19	5	こどもルーム
	10 田中小学校	大室1193-3	田中	10,787	1971	S46	53	840	25	6	こどもルーム
	11 田中北小学校	柏市船戸1-7-1	田中	14,970	2022	R4	2	999	30	6	こどもルーム
	12 土南部小学校	新逆井1-10-1	南部	5,699	1969	S44	55	507	16	4	こどもルーム
	13 柏第七小学校	篠籠田723-1	豊四季台	6,196	1970	S45	54	861	26	4	こどもルーム
	14 柏第八小学校	永楽台2-8-1	永楽台	5,880	1971	S46	53	511	18	4	こどもルーム
	15 酒井根小学校	酒井根19-2	酒井根	5,666	1971	S46	53	602	19	4	こどもルーム
	16 西原小学校	西原4-17-1	西原	6,522	1972	S47	52	602	19	5	こどもルーム
	17 旭小学校	旭町6-5-17	旭町	5,656	1973	S48	51	548	18	4	こどもルーム
	18 藤心小学校	藤心880-1	藤心	4,346	1974	S49	50	275	10	3	こどもルーム
	19 中原小学校	中原1821-1	増尾	6,285	1975	S50	49	617	20	4	こどもルーム
	20 酒井根西小学校	酒井根662-1	酒井根	5,098	1976	S51	48	210	7	2	こどもルーム
	21 高田小学校	高田376-3	高田・松ヶ崎	5,143	1977	S52	47	458	15	4	こどもルーム
	22 名戸ヶ谷小学校	名戸ヶ谷474-1	増尾	5,010	1976	S51	48	431	14	4	こどもルーム
	23 増尾西小学校	増尾台3-5-9	増尾	6,224	1978	S53	46	546	18	3	こどもルーム
	24 逆井小学校	逆井452-2	南部	5,957	1978	S53	46	290	12	2	こどもルーム
	25 富勢東小学校	布施2176-2	富勢	5,184	1979	S54	45	102	6	1	こどもルーム
	26 豊小学校	豊四季610-2	富里	5,125	1980	S55	44	514	18	4	こどもルーム
	27 酒井根東小学校	酒井根1-2-1	酒井根	5,378	1981	S56	43	405	13	3	こどもルーム
	28 旭東小学校	旭町5-3-9	旭町	4,011	1981	S56	43	328	12	3	こどもルーム
	29 松葉第一小学校	松葉町5-3	松葉	6,178	1981	S56	43	700	21	5	こどもルーム
	30 花野井小学校	花野井1652-34	田中	5,796	1982	S57	42	294	12	3	こどもルーム
	31 松葉第二小学校	松葉町2-16	松葉	5,944	1982	S57	42	590	19	6	こどもルーム
	32 富勢西小学校	布施84-2	富勢	5,524	1983	S58	41	171	7	3	こどもルーム
	33 十余二小学校	柏の葉4-4-1	田中	5,146	1987	S62	37	550	18	4	こどもルーム
	34 風早南部小学校	藤ヶ谷新田111-2	風早南部	5,595	2010	H22	14	271	11	3	こどもルーム
	35 風早北部小学校	大井1854-1	風早北部	6,102	1969	S44	55	667	22	5	こどもルーム
	36 手賀西小学校	泉541	手賀	2,996	1972	S47	52	105	6	2	こどもルーム
	37 手賀東小学校	手賀479-7	手賀	3,128	1984	S59	40	70	6	1	こどもルーム
	38 高柳小学校	高南台3-14-12	風早南部	6,087	1972	S47	52	688	23	4	こどもルーム
	39 大津ヶ丘第一小学校	大津ヶ丘3-50	風早北部	5,949	1978	S53	46	312	12	3	こどもルーム
	40 大津ヶ丘第二小学校	大津ヶ丘4-8	風早北部	4,850	1978	S53	46	311	12	3	こどもルーム
	41 高柳西小学校	しいの木台3-2	風早南部	4,850	1980	S55	44	259	11	3	こどもルーム
	42 柏の葉小学校	十余二348-51	田中	15,144	2012	H24	12	1,311	39	4	こどもルーム
小学校42校 計				260,722				22,125	729	161	

図表 資-16 築年数別の学校数【小学校】



柏市立学校施設個別施設計画より作成

コメントの追加 [修正12]: 出典を追記

写真 資-1 3面ホワイトボードの活用例（土小学校）



写真 資-2 田中北小学校図書館の活用例



写真 資-3 長寿命化改修時の図書館改修例（土小学校）



2) 中学校・高等学校

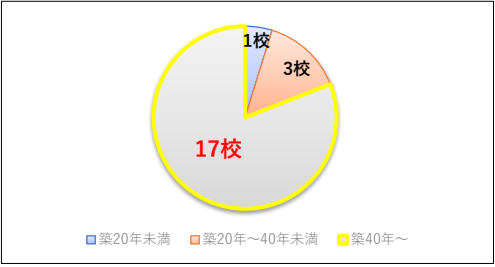
中学校の延床面積の平均は7,188㎡となっています。このうち、最も大きいのは柏中学校で、13,405㎡となっています。1970年代に建設された学校が多く、全学校の平均では小学校よりは5年程度新しい施設状況となっていますが、21校中17校（全体の81.0%）で築40年以上が経過しており、老朽化が進行しています。

市立柏高等学校の延床面積は20,604㎡となっています。建築年度は昭和52（1977）年で、築47年が経過しています。

図表 資-17 市立学校施設の概要【中学校・高等学校】

	名称	住所	20地域	延床面積 (㎡)	建築 年度	建築 年度	築後 年数	児童生徒 数(人)	学級数(学級)		複合・併設
									普通 学級	特別 支援	
中 学 校	1 柏中学校	明原4-1-1	豊四季台	13,405	2001	H13	23	491	13	3	
	2 柏第二中学校	弥生町6-6	新田原	8,318	1970	S45	54	808	22	4	
	3 土中学校	増尾1-23-1	増尾	6,210	1966	S41	58	238	8	2	
	4 富勢中学校	根戸467-1	富勢	7,335	1966	S41	58	504	14	3	
	5 田中中学校	大室249-9	田中	6,932	1970	S45	54	640	18	4	
	6 光ヶ丘中学校	光ヶ丘4-23-1	光ヶ丘	7,041	1968	S43	56	579	16	3	
	7 柏第三中学校	篠籠田987-1	豊四季台	7,527	1972	S47	52	554	16	3	
	8 柏第四中学校	名戸ヶ谷1-6-8	永楽台	6,400	1973	S48	51	427	12	3	
	9 南部中学校	南増尾6-16-1	南部	6,299	1974	S49	50	285	9	1	
	10 柏第五中学校	高田919-1	高田・松ヶ崎	6,824	1977	S52	47	546	16	2	
	11 酒井根中学校	酒井根1-3-1	酒井根	7,686	1978	S53	46	660	18	4	
	12 西原中学校	西原6-13-1	西原	6,985	1979	S54	45	516	14	3	
	13 逆井中学校	逆井555	藤心	7,270	1981	S56	43	617	16	4	
	14 松葉中学校	松葉町3-14	松葉	7,379	1981	S56	43	646	18	4	
	15 中原中学校	中原1816-2	増尾	6,520	1986	S61	38	405	12	4	
	16 豊四季中学校	豊四季287-7	新富	7,204	1990	H2	34	514	14	2	
	17 風早中学校	塚崎1319	風早北部	5,953	1967	S42	57	299	9	2	
	18 手賀中学校	柳戸690	手賀	3,966	1968	S43	56	91	3	2	
	19 大津ヶ丘中学校	大津ヶ丘1-25	風早北部	7,219	1978	S53	46	571	17	3	
	20 高柳中学校	高南台1-1-1	風早南部	6,297	1981	S56	43	529	15	3	
	21 柏の葉中学校	柏市十倉二337-93	田中	8,180	2018	H30	6	374	12	2	
中学校20校 計				150,950				10,294	292	61	
1	柏高等学校	船戸山高野325-1	田中	20,604	1977	S52	47	944	24	—	
高等学校1校 計				20,604				944	24	—	

図表 資-18 築年数別の学校数【中学校】



柏市立学校施設個別施設計画より作成

コメントの追加 [修正13]: 出典を追記

②学校施設の整備費用

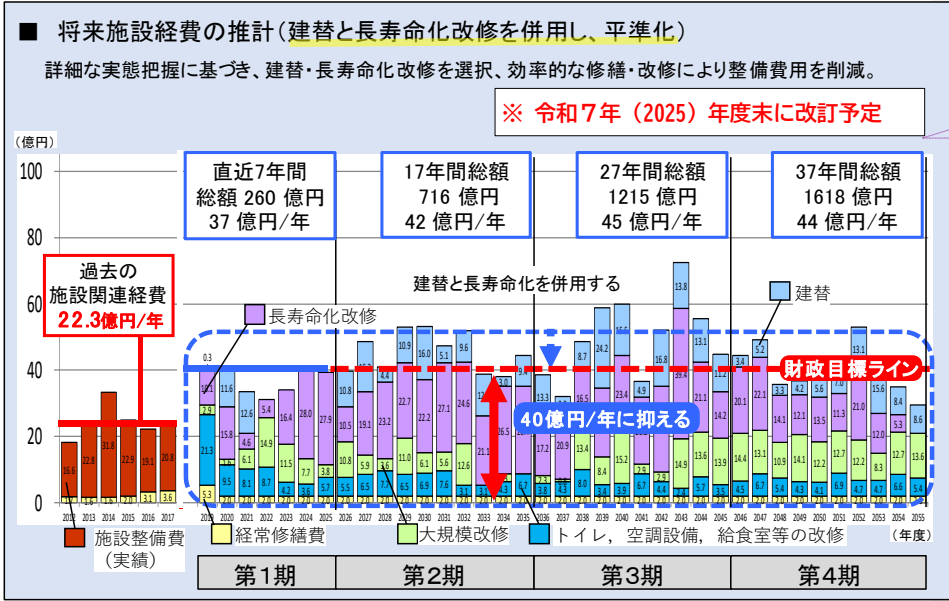
平成31（2019）年3月に策定された「柏市立学校施設個別施設計画^(注3)」によると、本市の小中学校の今後の施設経費は建替えと長寿命化改修を併用した場合には、平均44億円/年の施設経費が見込まれるものと推計されています。これは、平成24（2012）年からの6年間の実績、22.3億円/年と比較しておよそ2倍（197.3％）の金額となります。

令和5（2023）年度末までに、土小中学校及び田中小学校の校舎の長寿命化改良工事を行うなど、計画的かつ効率的な修繕・改修に取り組んでいる一方、他の優先して対応を要する施設工事や校舎等の新增築工事等の対応もあり計画どおりに実施することができていない現状があります。

建築費の高騰等、昨今の社会情勢の変化を踏まえつつ、施設の老朽化に対応し、安全・安心な学校施設として維持していくためには、更なる財政負担の増加が見込まれます。そのような将来にわたる財政負担の見込みや児童生徒数の減少、施設の老朽化状況等を踏まえ、「柏市立学校施設個別施設計画」を令和7（2025）年度末に改訂を行います。

コメントの追加 [修正14]: ここで示す長期整備費用は改訂前の計画に基づくものであり、令和7年度末に「学校施設個別施設計画」は改訂することを明記

図表 資-19 長期整備費用（平成31（2019）年3月「柏市学校施設個別施設計画」より）



コメントの追加 [修正15]: 上と同じ

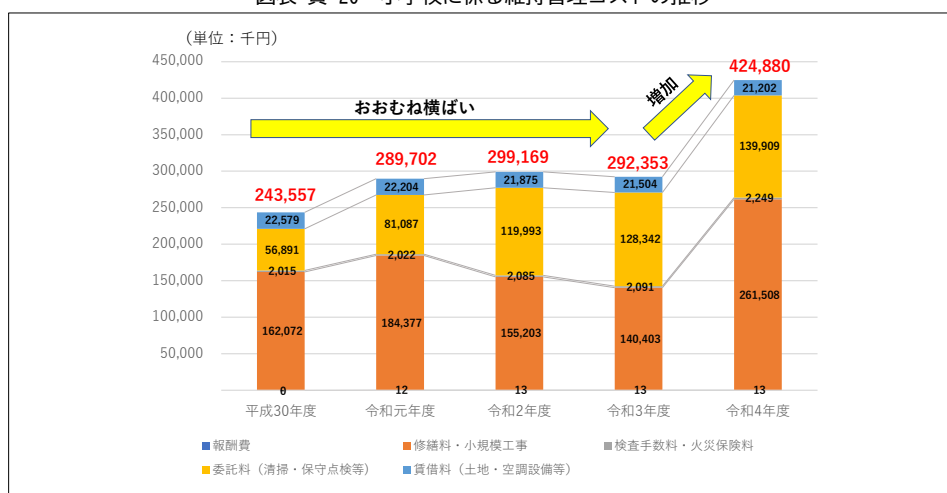
(注3) 柏市立学校施設個別施設計画：中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図りながら、施設の機能維持や安全性を確保するための計画

③学校施設の維持管理コスト概要

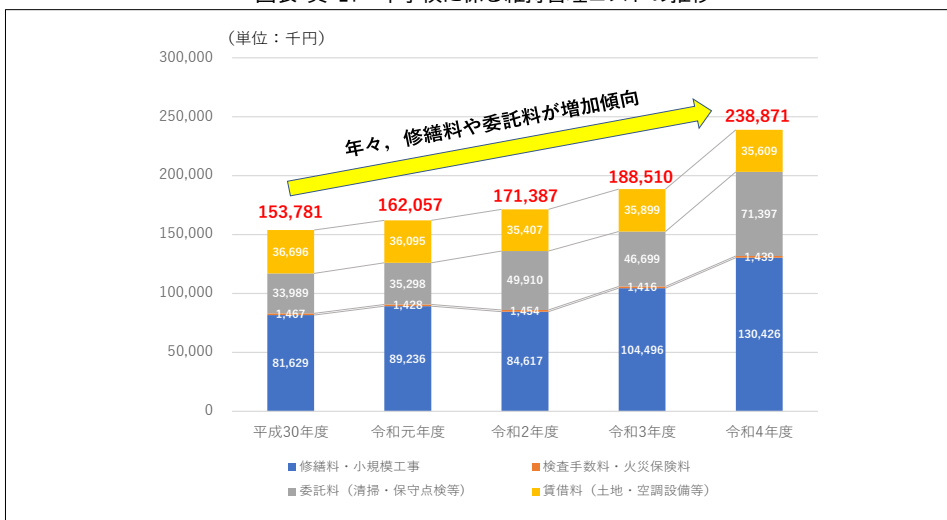
1) 学校に係る維持管理コスト

学校に係る維持管理コストには、修繕料や工事費だけでなく、清掃・保守点検等に係る委託料なども必要です。近年、小・中学校ともに、「修繕・小規模工事」「委託料」に関するコストが増加傾向にあります（令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休校期間等がありました、学校の維持管理にかかるコストには顕著な影響は確認されませんでした）。

図表 資-20 小学校に係る維持管理コストの推移



図表 資-21 中学校に係る維持管理コストの推移



2) 学校の光熱水費・使用量

本市の小学校が使用する電気・ガス・上水道の使用量は、電気使用量が増加傾向で、それ以外の使用量はおおむね横ばいであり、全体コストは、令和元（2019）年度からの5年で約1.4倍増加しています。

一方、中学校の電気・ガス・上水道の使用量は、おおむね横ばいとなっており、全体コストは、5年で約1.3倍増加しています。

図表 資-22 小学校の光熱水費用・使用量



図表 資-23 中学校の光熱水費・使用量



※光熱量使用量を基に作成

(4) 通学路の現状

①通学距離の現状

小中学校の通学区域は、柏市が規則によって規定しています。また、通学路は安全面を考慮し、各学校長が指定しています。柏市立小・中学校の通学距離は、小学校では最長通学距離が3.8kmで、各校ごとの最長通学距離の平均は1.95kmとなっています。中学校では最長5.0kmで、各校ごとの平均が2.69kmとなっています。全校ともに国が示す基準内の通学距離となっているものの、昨今の夏場の猛暑や台風等の気象状況の変化を踏まえ、子どもたちにとって「安全」かつ「過度な負担とならない」対策が必要です。

自転車通学については、現在、一部の中学校で認められています。各学校が定める一定の通学距離を超える生徒で自転車通学を希望する場合、学校長の判断により、自転車通学を認めています。

コメントの追加 [修正16]: 自転車通学許可の実態（自転車通学を許可する基準は学校ごとに異なること）を踏まえた表記に修正（本編 P25 も同様）

図表 資-24 市立小中学校における「最長通学距離」

No.	学校名	最長通学路	No.	学校名	最長通学路
1	柏第一小学校	2.30 km	1	柏中学校	1.40 km
2	柏第二小学校	2.50 km	2	柏第二中学校	2.50 km
3	柏第三小学校	1.10 km	3	土中学校	2.00 km
4	柏第四小学校	3.00 km	4	富勢中学校	2.60 km
5	柏第五小学校	2.50 km	5	田中中学校	4.00 km
6	柏第六小学校	2.50 km	6	光ヶ丘中学校	3.00 km
7	光ヶ丘小学校	2.00 km	7	柏第三中学校	2.00 km
8	土小学校	1.45 km	8	柏第四中学校	2.70 km
9	富勢小学校	3.40 km	9	南部中学校	2.10 km
10	田中小学校	2.50 km	10	柏第五中学校	2.70 km
11	田中北小学校	3.00 km	11	酒井根中学校	2.00 km
12	土南部小学校	2.10 km	12	西原中学校	3.30 km
13	柏第七小学校	1.30 km	13	逆井中学校	2.50 km
14	柏第八小学校	1.30 km	14	松葉中学校	1.40 km
15	酒井根小学校	1.30 km	15	中原中学校	2.70 km
16	西原小学校	1.20 km	16	豊四季中学校	1.80 km
17	旭小学校	1.00 km	17	風早中学校	5.00 km
18	藤心小学校	2.00 km	18	手賀中学校	4.20 km
19	中原小学校	1.85 km	19	大津ヶ丘中学校	4.20 km
20	酒井根西小学校	2.00 km	20	高柳中学校	2.50 km
21	高田小学校	1.20 km	21	柏の葉中学校	1.80 km
22	名戸ヶ谷小学校	1.90 km		1校あたり平均	2.69 km
23	増尾西小学校	2.50 km			
24	逆井小学校	2.00 km			
25	富勢東小学校	1.80 km			
26	豊小学校	1.50 km			
27	酒井根東小学校	2.00 km			
28	旭東小学校	1.00 km			
29	松葉第一小学校	1.80 km			
30	花野井小学校	1.50 km			
31	松葉第二小学校	1.50 km			
32	富勢西小学校	3.00 km			
33	十余二小学校	1.30 km			
34	風早南部小学校	2.10 km			
35	風早北部小学校	2.50 km			
36	手賀西小学校	3.80 km			
37	手賀東小学校	2.50 km			
38	高柳小学校	1.80 km			
39	大津ヶ丘第一小学校	1.50 km			
40	大津ヶ丘第二小学校	1.50 km			
41	高柳西小学校	1.10 km			
42	柏の葉小学校	1.90 km			
	1校あたり平均	1.95 km			

(各学校からの報告をもとに柏市が作成)

【国が示す通学距離の基準】

- 小学生：4 km以内
- 中学生：6 km以内

※通学時間は「おおむね1時間以内」
※文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月27日）」より

②通学距離と通学時間の関係性

児童生徒の通学距離と時間について、令和5（2023）年11月に市内小学校で調査を実施しました。その結果、小学校低学年が2.0 km歩くのに約29分を要し、大人より1.2倍の時間を要することが分かりました。

将来的に通学区域の見直し等を検討する際には、安全面はもちろん、通学距離だけでなく、子どもにとっての通学時間も配慮した検討が必要となります。

【調査概要】

- ・低学年(小1～小3)の児童のうち、最長距離を通学している児童の下校時における通学時間を調査
- ・各学年1名ずつを調査
- ・調査時間帯：小1・小2→14:30下校、小3→15:10下校
- ・機器による差異が生じないように、調査実施者3名が共通の距離及び時間計測アプリ（Samsung Health）を使用し計測

【調査結果】

対象児童	自宅までの距離（m）	要した時間（分）	2 kmに要する時間（分）	備考
小学1年生男子	2,540	37	29	・ 3～4人の集団で帰宅 ・ 時々ふざけながら（傘で遊びながら） ・ 1人になると歩くスピードが加速
小学2年生男子	2,710	43	32	
小学3年生男子	2,680	36	27	
3名の平均	2,643	39	29	

（参考：成人の所要時間）

※調査実施者が児童と同じ距離を歩いた際に要した時間

	距離（m）	要した時間（分）	2 kmに要する時間（分）
調査実施者A	2,540	30	24
調査実施者B	2,710	34	25
調査実施者C	2,680	30	22
3名の平均	2,643	31	24

- ❖ 小学校低学年が2 km歩くのに約29分を要する
- ❖ 小学校低学年は大人よりも約1.2倍の時間を要する

(5) 教育上の課題について

①学校の規模により生じる変化

1) 過小規模校・小規模校

本市における12学級未満の小規模校は、小学校が42校中8校、中学校が21校中4校（令和6年5月1日時点）となっています。文部科学省の手引きによると、小規模校には教員の目が届きやすい、児童生徒の発言の機会が増えるなどのメリットがある一方で、クラス替えができない、お互いに励まし合い向上していく教育活動がしにくいなどのデメリットがあるとされています。

図表 資-25 小規模校における考慮の必要な視点

コメントの追加 [パブリックコメント17]: 学校規模の表記について、わかりやすく修正。一部資料の脱字訂正

過小規模校（小：6学級以下、中：3学級以下）・小規模校（7～11学級）

【事象】

- ◆ 全ての学年または一部の学年でクラス替えができない
- ◆ クラス同士が切磋琢磨する教育活動がしにくい
- ◆ クラブ活動や部活動の種類の限定されやすい
- ◆ 全体の教職員数が少ない
- ◆ 進学等の際に大きな集団への適応に困難をきたす可能性がある
- ◆ 複式学級で運営する可能性がある

【小規模校における考慮の必要な視点】

子ども

- クラス内で男女比の偏りが生じやすい
- 多様な価値観に触れることが困難になりやすい
- 集団の中で自己主張したり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい
- 児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
- 特定の子どもの問題行動にクラス全体が影響を受けやすい

学校行事

- 運動会等の集団活動や行事の教育効果が確保しにくい
- 一人あたりの保護者の負担が大きくなりやすい

授業

- 班活動やグループ活動に制約が生じやすい
- 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じやすい
- 教科等が得意な子供の考えにクラス全体が引っ張られやすい

教職員

- 教職員と児童生徒との心理的な距離が近くなりやすい
- 1人あたりの校務事務の負担が大きくなりやすい
- 経験年数や専門性等バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難になりやすい

➡ 人間関係の固定化や多様な価値観に触れにくい等、児童生徒の教育環境として課題が多い

【市内の6学級以下の学校の様子】



出典: 柏市立学校 HP

【市内の7～11学級以下の学校の様子】



出典: 柏市立学校 HP

※文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月27日）」を基に作成

2) 大規模校

25学級以上の大規模校は、小学校で42校中7校（令和6年5月1日時点）となっています。大規模校には、多彩な人間関係に触れる機会や、児童生徒個人間で問題があった際のクラス替え対応等のメリットがある一方で、児童生徒数・学級数に見合った施設が必要、子ども一人一人の個性などの把握が難しくなることがある、など考慮すべき点も考えられます。

【図表 資-26 標準・大規模校における考慮の必要な視点】



コメントの追加 [パブリックコメント18]: 標準規模校の学級数を、文部科学省の手引きに合わせて24から18に修正。それに伴い、標準規模校の学校の様子を示す写真の変更。

※文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月27日）」を基に作成

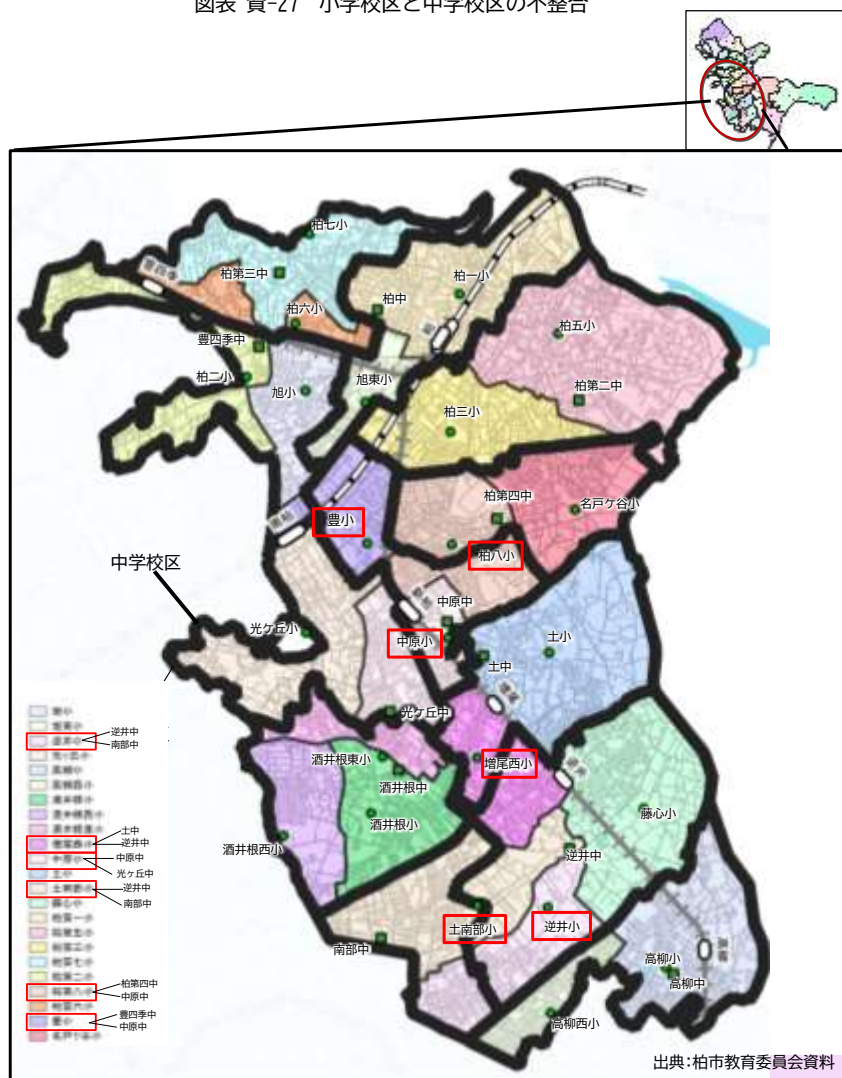
1) 小学校区と中学校区の不整合

1) 小学校区と中学校区の不整合

本市には、小学校から中学校へ進学する際、2校以上の中学校を進学指定校とする小学校が6校あります。南部地域において多くみられ、該当する小学校は豊小、柏第八小、中原小、増尾西小、土南部小、逆井小の各校です。

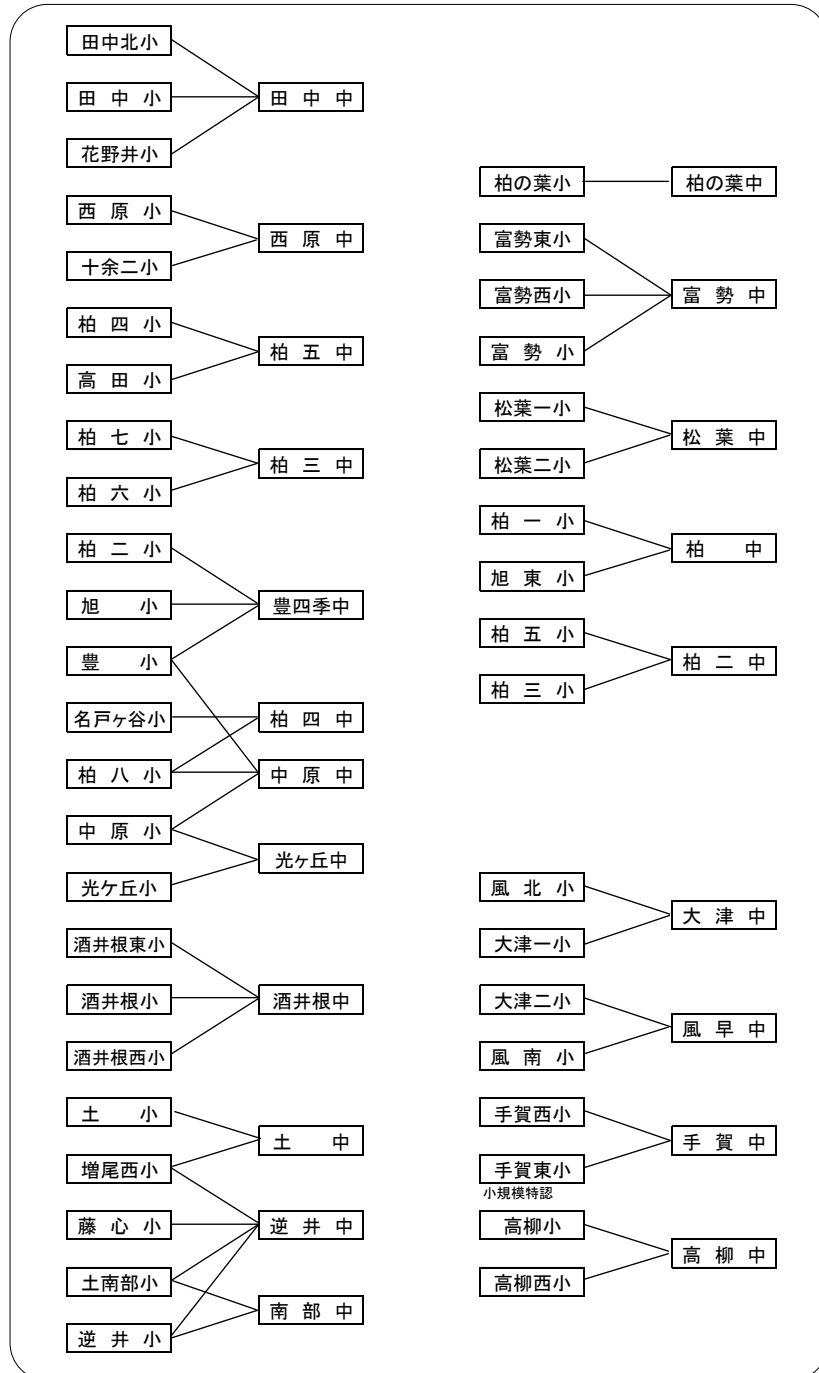
2校以上の中学校に分散進学する小学校では、中学校からの小学生への進学ガイダンスや小学校からの情報提供等の児童へのサポートなどの連携が難しく、1つの地域が複数の小・中学校との間でコミュニティ・スクール化することが増えるため、連携における地域側の負担などの課題も考えられます。

図表 資-27 小学校区と中学校区の不整合



コメントの追加 [修正19]: 出典を追記

図表 資-28 柏市立小・中学校 進学系統図

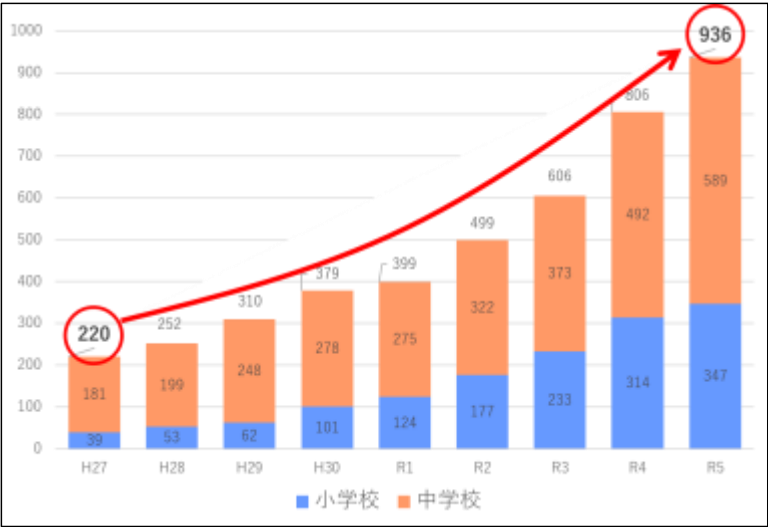


③不登校児童生徒への支援

1) 不登校児童生徒数

本市の不登校を理由とした長期欠席者^(注4)数は増加傾向にあります。令和5（2023）年度の不登校児童生徒数は、小学校が347人、中学校が589人となっています。

図表 資-29 不登校児童生徒数の推移



出典: 柏市教育委員会資料

2) 不登校の要因

学校に通いづらさを感じる要因は、個々の児童生徒の状況により異なり、複数の要因が影響している可能性もあります。文部科学省が行った「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、不登校となる主たる要因としては、「無気力・不安」が半分以上を占めています。

図表 資-30 不登校の要因（全国）

	人数	不登校児童生徒に占める割合
無気力・不安	154,772 人	51.8%
生活リズムの乱れ、あそび、非行	33,999 人	11.4%
いじめを除く友人関係をめぐる問題	27,510 人	9.2%
親子の関わり方	22,187 人	7.4%
上記に該当なし	14,814 人	5.0%

出典: 文部科学省「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」

^(注4) 長期欠席者：年間 30 日以上欠席した児童生徒

3) 不登校児童生徒への対応

ア 不登校児童生徒支援事業

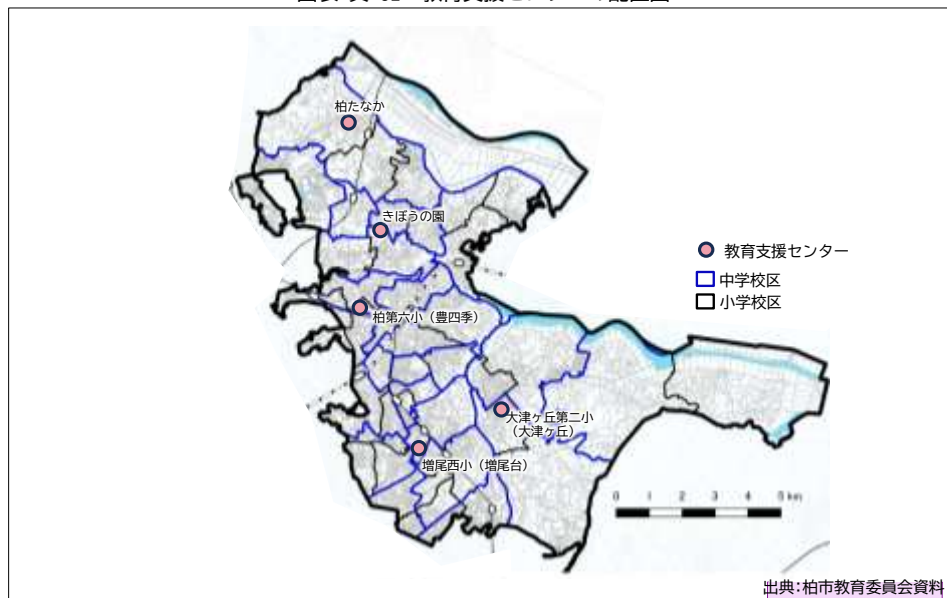
本市は、不登校児童生徒への対応として様々な支援事業を実施し、児童生徒一人一人の学ぶ機会の保障、友達と関わる機会の提供などを支援しています。

図表 資-31 不登校児童生徒支援事業

事業名	事業内容
①教育支援センター設置 (きぼうの園, 柏たなか, 豊四季台, 増尾台, 大津ヶ丘)	不登校児童生徒やその保護者に対し, 学習支援や教育相談, 訪問活動を行うことで学校と家庭以外の居場所として機能し, 社会的自立につなげることを目的として開設。 きぼうの園は学習支援を中心とした居場所づくり, また, 地区ごとの教育支援センターは, 田中北小学校(柏たなか), 柏第六小学校(豊四季台), 増尾西小学校(増尾台), 大津ヶ丘第二小学校(大津ヶ丘)の学校内に設置し, 各自のペースで通って過ごせる家庭と学校以外の居場所づくりの支援を行う。また, 訪問相談も実施している。
②校内教育支援センター設置	市内全中学校に校内教育支援センターを設置。個別支援教員を配置し, 学習支援, 教育相談を行っている。
③あすなろキャンプ・自然体験教室	不登校児童生徒への支援策として, 昭和 54 年度からあすなろキャンプを実施している。集団生活を体験させることにより, 社会性を培い, 自主性を身に付け, 生きる力の育成につなげていくことを目標に実施している。

出典: 柏市教育委員会資料

図表 資-32 教育支援センターの配置図



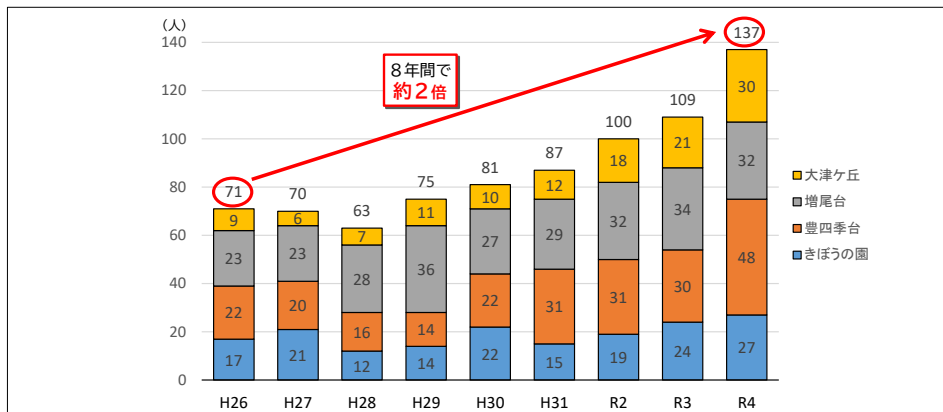
出典: 柏市教育委員会資料

コメントの追加 [修正20]: 出典を追記

イ 教育支援センターの利用者数推移

教育支援センターの利用者数は、平成26（2014）年度の71人から令和4（2022）年度の137人へと、不登校児童生徒数の増加に伴い利用者数も約1.9倍に増加しています。従来は、4施設の設置でしたが、利用者の増加に伴い令和5（2023）年度より「教育支援センター 柏たなか」を北部地区に開設しました。

図表 資-33 教育支援センター利用者数推移（旧適応指導教室・学習相談室）

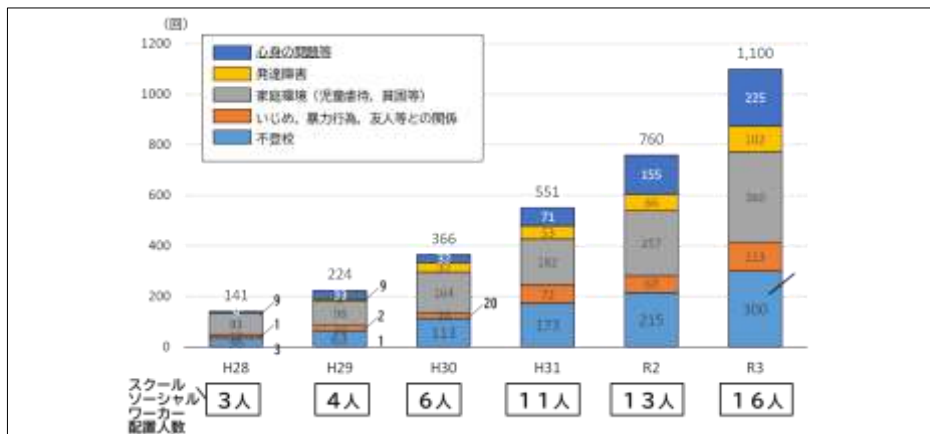


出典：柏市教育委員会資料

ウ スクールソーシャルワーカーの活動実績（相談件数の推移）

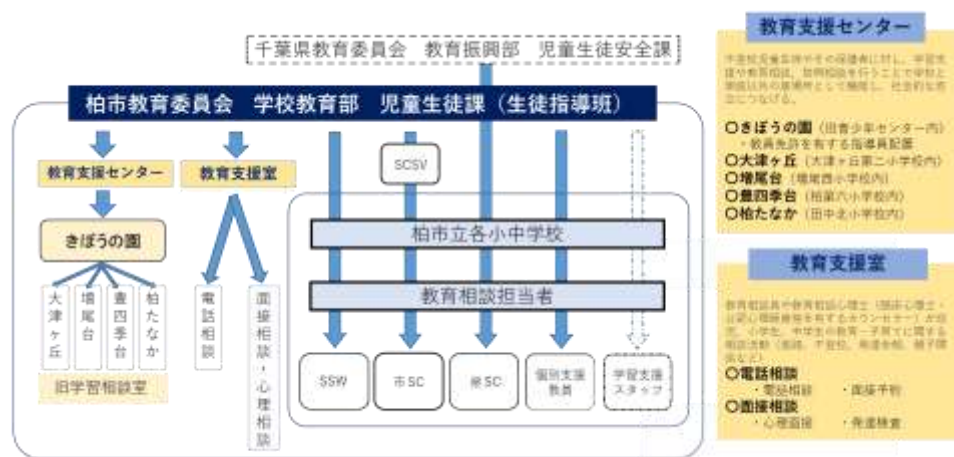
スクールソーシャルワーカーへの相談件数は、約7.8倍に増加しています。それに伴い、本市では人員体制を過去6年間で13人増員しています。SSW 1人当たりの相談件数は、47件から69件と年間約20件増加しています。

図表 資-34 スクールソーシャルワーカーへの相談件数の推移



出典：柏市教育委員会資料

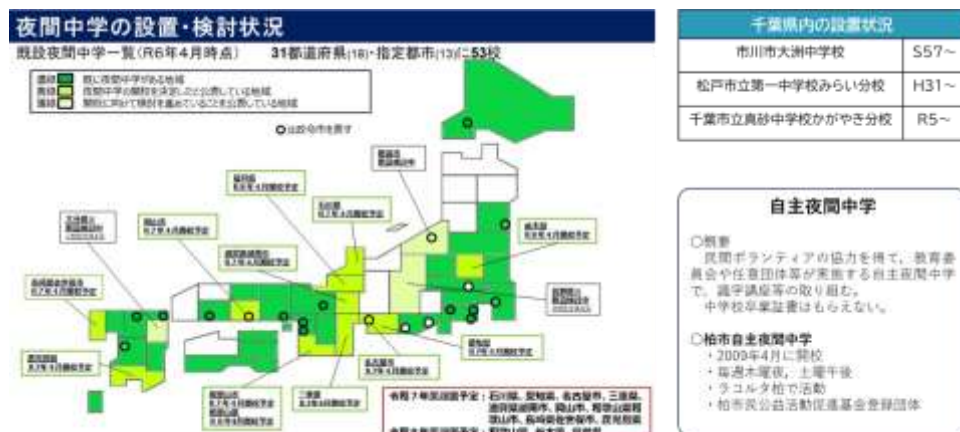
図表 資-35 柏市の教育相談体制



出典: 柏市教育委員会資料

コメントの追加 [修正21]: 出典を追記

図表 資-36 全国の夜間中学の設置・検討状況と自主夜間中学



出典:文部科学省「夜間中学の設置・検討状況一覧」(令和 6 年 4 月)

④子どもの居場所

1) 現状の取組

本市では、子どもの居場所についてこれまでに様々な取組を行ってきました。以下に、これまでの市の取組をまとめました。

コメントの追加 [修正22]: 事業の進捗に合わせて、(5)・(6)、及び写真について修正

取組み

(1) 児童センターでの中高生の居場所事業 (H17～)
①しこた児童センターで実施 (R4利用状況 計22人)
②豊四季台児童センターで実施 (R4利用状況 計222人)

(2) かしわ地域若者サポートステーション (H21～)
15歳から49歳までを対象に就労支援を実施 (R4新規登録者176人、就労決定者65人)

(3) 学習支援事業
①小中学生コース (小学4年生～中学2年生、計85人利用)
▶内容:生活習慣、読解、コミュニケーション能力等基礎的能力の向上を図る学習の土台づくりを中心に支援
②中高生等コース (中学3年生～高校3年生、計178人利用)
▶内容:「小中学生コース」での土台を生かした学力向上を中心に支援
③対象は、生活保護、児童扶養手当、就学援助、ひとり親家庭等医療費等女性、児童等養育手当のいずれかを受給する世帯の児童・生徒

(4) 学習スペース事業
①パレット館 (居場所84席 ※平日夕方、休日は満席。高校生の利用が目立つ)
②ラコルタ館 (R5利用登録者数 1,215人 ※R4平均利用人数(実績): 平日は16人、土日等は25人)

(5) 放課後子ども教室
①平日における補充学習 (H19～)
▶小学校2～3年生を中心に週1回程度、令和元年度より全校実施(現在、平日開催は40/42校)
②居場所型への移行準備として、昼休み期間に地域連携でのモデル事業を数校で実施 (R4～)
平日における居場所づくりとして『放課後子ども教室(居場所型)』のモデル事業を福柳小で実施 (R6～)
③昼休み子ども教室
▶児童団体や高校等と連携して講座を実施 (R6: 60講座1,144人受講)

(6) 柏市子ども・子育て支援総合施設 (TeToTe)
R6.12より、4階に未就学児から中学生までを対象とした「本の広場」を、5階に中高生世代を対象とした「中高生の広場」を開設



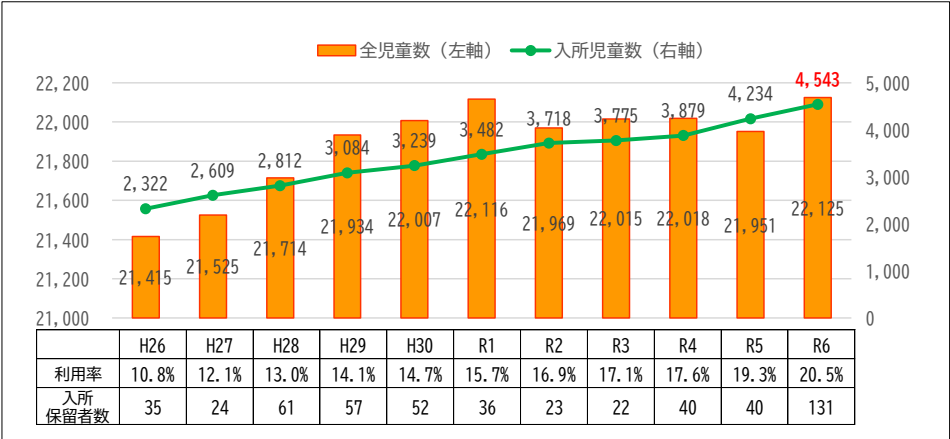
図 TeToTe内 中高生の広場

出典:柏市教育委員会資料

2) こどもルームの利用者数

市内の児童数は横ばい傾向にありますが、こどもルームの利用率は増加傾向にあります。こどもルームが増加することで、学校の教室数が不足する場合があります。

図表 資-37 こどもルームの入所児童数の推移



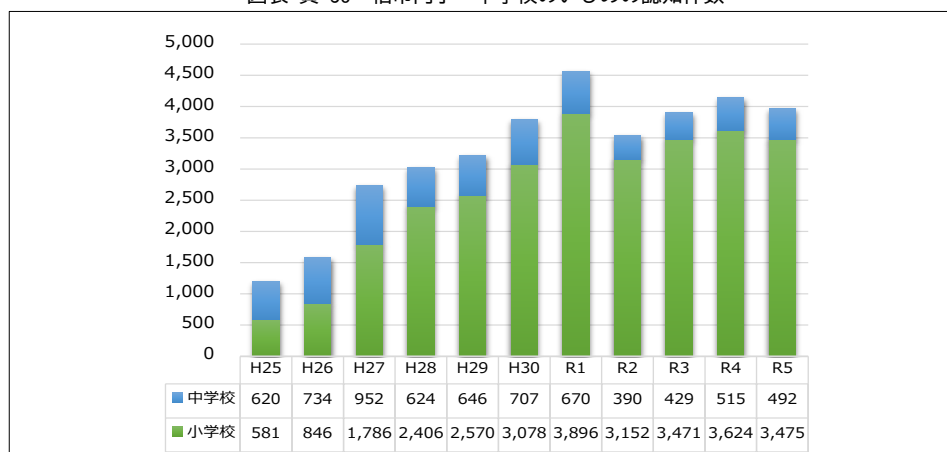
出典:柏市学童保育課調べ(各年5月1日現在)

⑤いじめ

1) いじめの認知状況と解消状況

本市のいじめの認知件数は、新型コロナウイルス感染症拡大等の要因で令和2（2020）年度に一時減少しましたが、小・中学校とともに増加傾向にあります。解消状況について、追跡調査を実施した結果、認知件数に対しての解消率は高い状況となっています。

図表 資-38 柏市内小・中学校のいじめの認知件数



出典: 柏市教育委員会調べ

図表 資-39 いじめ解消状況

R4年度末いじめ未解消状況（R5 3/31現在）					
	児童生徒数	R4年度いじめ認知件数	解消	未解消	解消率
小学校	22,018	3,624	2,415	1,209	66.6%
中学校	10,459	515	381	134	74.0%
高等学校	890	18	13	5	72.2%

R4年度末いじめ未解消追跡調査（R5 8/31現在）					
	児童生徒数	R4年度いじめ認知件数	解消	未解消	解消率
小学校	22,018	3,624	3,575	49	98.6%
中学校	10,459	515	508	7	98.6%
高等学校	890	18	13	5	72.2%

R4年度末いじめ未解消追跡調査（R5 12/28現在）					
	児童生徒数	R4年度いじめ認知件数	解消	未解消	解消率
小学校	22,018	3,624	3,617	7	99.8%
中学校	10,459	515	514	1	99.8%
高等学校	890	18	18	0	100.0%

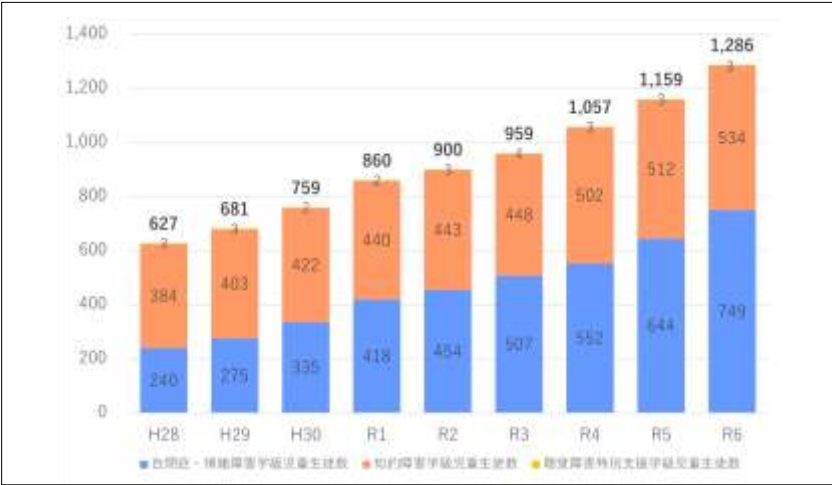
出典: 柏市教育委員会「令和5年度 いじめの状況調査」

⑥特別支援教育

1) 特別支援学級

本市では、小学校40校、中学校21校に知的障害特別支援学級^(注5)を、小学校42校、中学校19校に自閉症・情緒障害特別支援学級^(注6)を、柏第三小学校に聴覚障害特別支援学級^(注7)を設置しています。本市の特別支援学級の在籍児童生徒数は、全国と同様に増加傾向となっています。

図表 資-40 特別支援学級在籍児童生徒数の推移



出典：柏市教育委員会資料

2) 通級指導教室

通級指導教室では、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒に、個々の課題に応じた指導を週1～2時間程度実施しています。

図表 資-41 通級指導教室の実施状況

設置教室	対象と指導内容	設置校（R6年度）
きこえの教室 （小学生対象）	難聴のある児童を対象とし、きこえにくさから生じる困難を軽減し、学校生活における学習や諸活動に参加していくことを目指した指導・支援を行う。（週1時間程度）	柏第三小
ことばの教室 （小学生対象）	発音が明瞭でなかったり、話し言葉を繰り返したり、伸ばしたりするなど、ことばによるコミュニケーションが苦手という児童を対象とし、課題の改善を目指した指導・支援を行う。（週1時間程度）	柏第三小、柏第八小、旭小、増尾西小、逆井小、富勢西小、大津ヶ丘第一小、柏の葉小
情緒の教室	通常の学級の学習におおむね参加することができ、一部分特別な指導を必要とする児童生徒を対象とし、気持ちのコントロールのしづかさから生じる困難を解決し、在籍学級での学習や活動に参加していくことを目指した指導・支援を行う。（週1～2時間程度）	中原小、十倉二小、土中

出典：柏市教育委員会資料

^(注5) 知的障害特別支援学級：日常生活において使用される言葉を活用しての会話や身近な日常生活動作にはほとんど支障がない児童生徒を対象に、実際の生活場面に即しながら、繰り返して学習することにより、必要な知識や技能等を身に付けられるようにする継続的、段階的な指導を行う学級

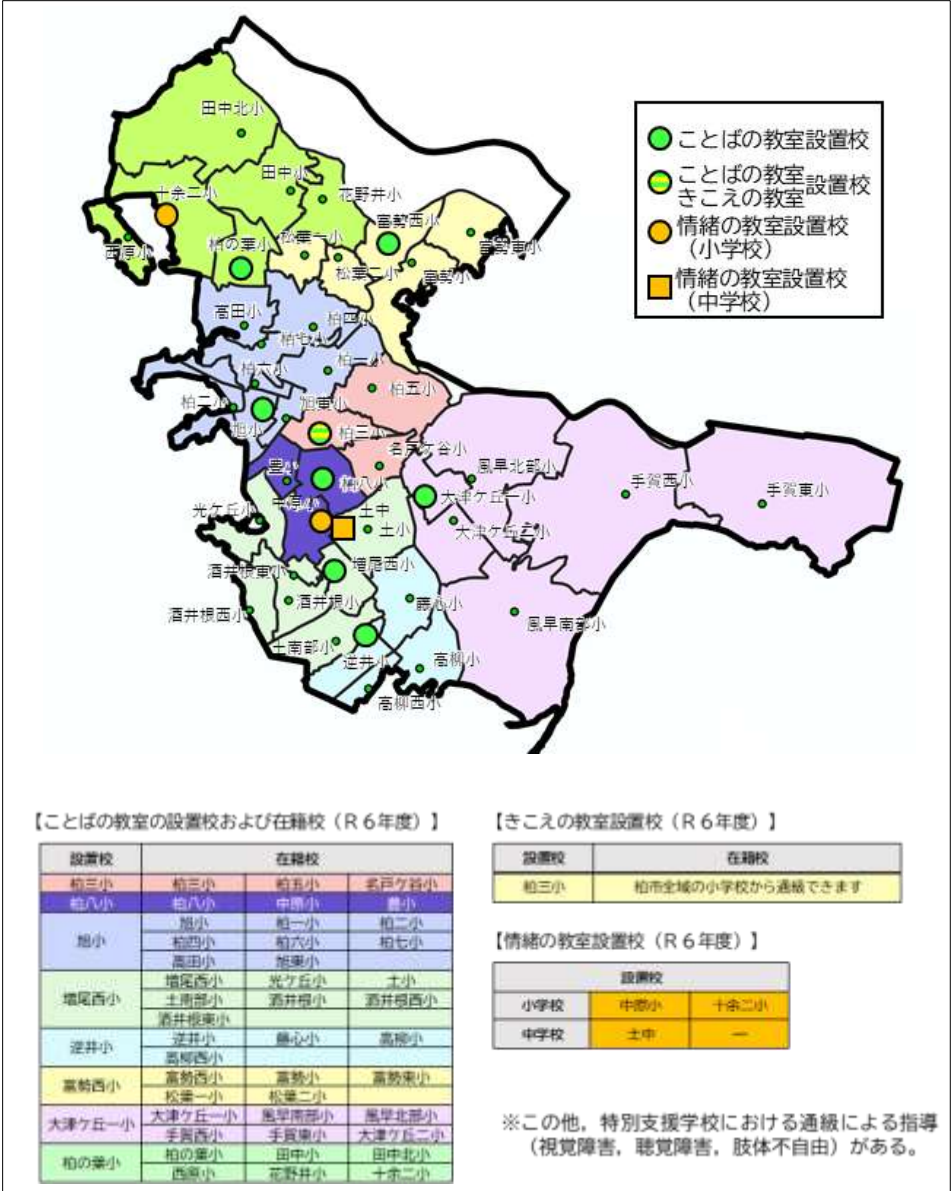
^(注6) 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症やそれに類するものや心理的な要因による選択性かん黙等がある児童生徒を対象に、情緒的に不安定になってしまった際に、具体的な方法を通して落ち着きを取り戻すことができるよう、児童生徒一人一人の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、適切な指導を行う学級。

^(注7) 聴覚障害特別支援学級：補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが困難な児童生徒を対象に、一人一人の障害の状態等に応じ、聴覚活用に関する指導や音声の受容と表出に関する指導を行う学級

この他に、特別支援学校における通級による指導（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由）も実施しています。

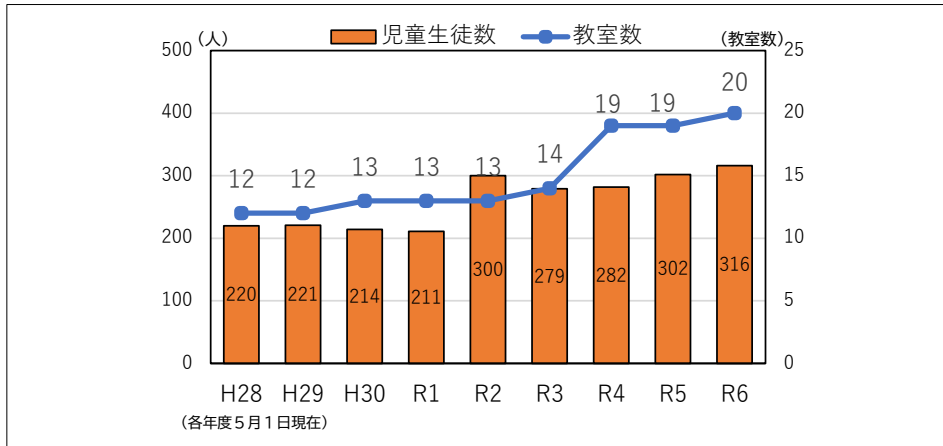
本市の通級による指導を受けている児童生徒数は全国と同様、増加しております。

図表 資-42 通級指導教室の実施状況



出典: 柏市教育委員会資料

図表 資-43 通級指導教室数と児童生徒数の推移



出典：柏市教育委員会資料

⑦教職員の多忙化

1) 教職員の現状

ア 教職員数

本市の教職員数は、令和6（2024）年度で小学校が1,230人、中学校が644人となっています。段階的な35人学級への移行や、特別支援学級数の増加に伴い、学級数は増加傾向にあるため、それに伴い教職員数も増加傾向にあります。

図表 資-44 教職員数の推移

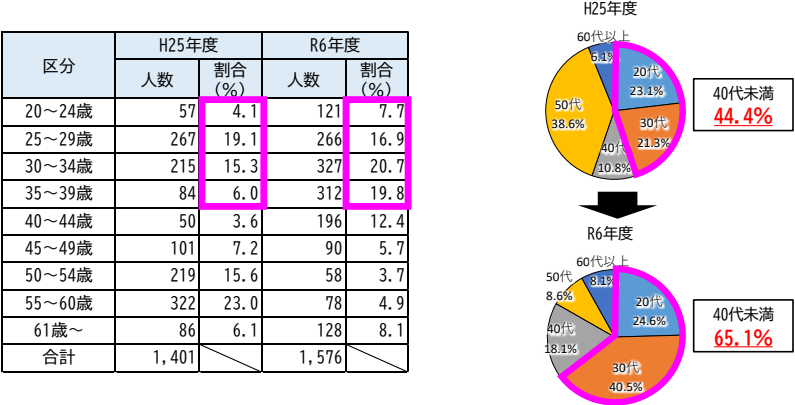


出典：柏市教育委員会資料「教職員数・年齢等調査」

イ 教職員の年齢構成

令和 6（2024）年度における教員の年齢は、40歳未満の教員が全体の 6 割(65.1%)を占め、年齢層に偏りのある状況になっています。このような状況から、教育技術の伝達が難しく、人材育成が課題となっています。また、短い経験年数で責任のある立場を任される教員が増えており、負担感も増大しています。

図表 資-45 教職員数の年齢構成（教諭のみ）

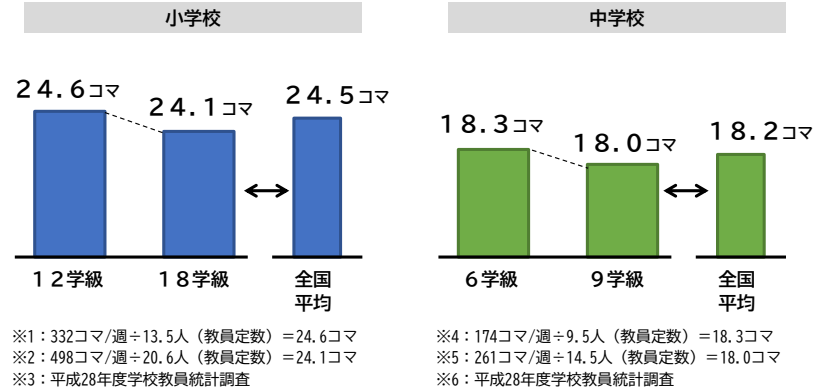


出典：柏市教育委員会資料「教職員数・年齢等調査」

ウ 教員 1 人当たりの平均担当授業時数（週）

教員 1 人当たりの平均授業時間数は、小規模校では配置教員が少なくなることもあり、1 人当たりの授業時数が多くなる傾向にあります。

図表 資-46 教員 1 人当たりの平均担当授業時間数



出典：柏市教育委員会資料

コメントの追加 [修正23]: 出典を追記

2) 教職員の勤務について

ア 教職員の超過勤務について

教職員の月45時間を超える時間外労働割合は、令和6（2024）年度において、小学校教員の40.52%、中学校教員の47.53%となっており、前年度より減少し、5割以下となっています。

図表 資-47 在校等時間45時間超の割合（令和6年度と令和5年度の同月比較（6月））

対象年月	対象月	45時間超の割合（％）＊管理職を除く	
		小学校教員等＊	中学校教員等＊
令和5年度	6月	48.44	50.54
令和6年度	6月	40.52	47.53
前年比		-7.92	-3.01

出典：柏市教育委員会資料

図表 資-48 在校等時間45時間超の割合（国・県・市平均）

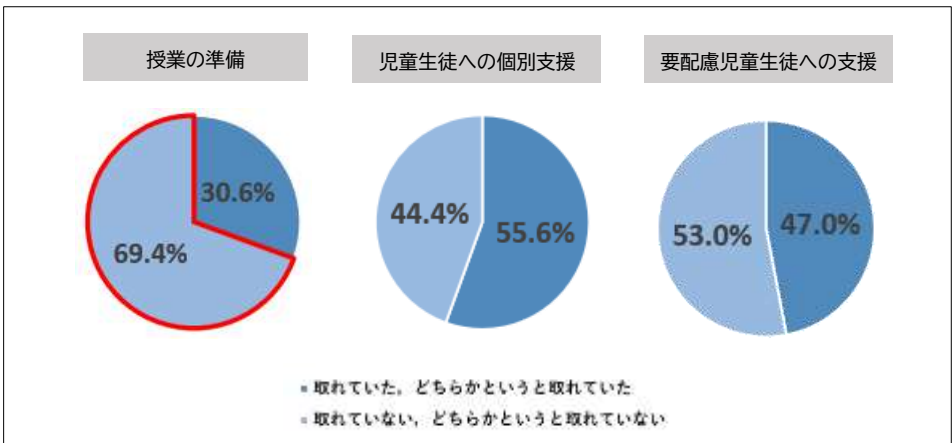
対象	45時間超の割合（％）＊管理職を除く	
	小学校教員等＊	中学校教員等＊
国平均	64.5	77.1
県平均	39.9	53.7
市平均	41.0	46.2

出典：国 平均：文部科学省「教員勤務実態調査」（令和4年11月分調査）
県・市平均：柏市教育委員会資料（令和5年11月）

イ 教職員の子どもに向き合う時間について

令和5（2023）年度働き方に関する調査によると、教職員の約7割が授業の準備について勤務時間内に時間が取れていないとなっています。

図表 資-49 教職員の子どもに向き合う時間



出典：柏市教育委員会資料

⑧学力・学習状況

1) 柏市学力・学習状況調査の結果について（教科）

本市では児童生徒の学力・学習状況を把握し、各学校における学習指導及び生徒指導等の改善並びに教育委員会の施策・事業の改善等に資する目的で、学力・学習状況調査を毎年実施しています。（令和6年度より小学校は学力調査と生活・学習意識調査を実施。中学校は生活・学習意識調査のみ実施）

調査結果を、柏市平均正答率と全国平均正答率の差で評価基準表^(注8)に照らし合わせ比較すると、中学生は数学でやや上回り、理科はほぼ同等の結果となりました。一方で小学生は、4年生までの算数でやや下回る結果となり、更に応用では下回る結果となる学年もありました。本市では本調査結果をもとに、2～4年生を中心に算数支援推進事業^(注9)を進めているところです。

国語は、柏市平均正答率と全国平均正答率の差を評価基準表に照らし合わせたところ、ほぼ同等となる学年が多い結果となりましたが、応用問題ではやや下回る学年もありました。英語は、中学1年生、2年生とも上回る結果となっています。

なお、令和6（2024）年度より小学校のみ学力調査を実施します。中学校は学力調査がなくなり、生活・学習意識調査のみになります。

図表 資-50 柏市学力・学習状況調査結果（令和5年度）

国語	教科総合	基礎	応用
小1	≒	≒	≒
小2	≒	≒	≒
小3	≒	≒	≒
小4	≒	≒	≒
小5	≒	≒	▽
小6	≒	≒	≒
中1	≒	≒	▽
中2	≒	≒	≒
算数・数学	教科総合	基礎	応用
小1	▽	≒	▼
小2	≒	≒	▽
小3	▽	▽	▽
小4	▽	▽	▽
小5	≒	▽	≒
小6	≒	≒	≒
中1	≒	≒	≒
中2	○	○	≒

理科	教科総合	基礎	応用
中1	≒	≒	≒
中2	≒	≒	≒
英語	教科総合	基礎	応用
中1	○	○	◎
中2	○	○	○

<評価基準>

記号	意味	全国値との差
◎	上回る	4.0以上
○	やや上回る	2.1 ～ 3.9
≒	ほぼ同等	-2 ～ 2
▽	やや下回る	-3.9 ～ -2.1
▼	下回る	-4.0以下

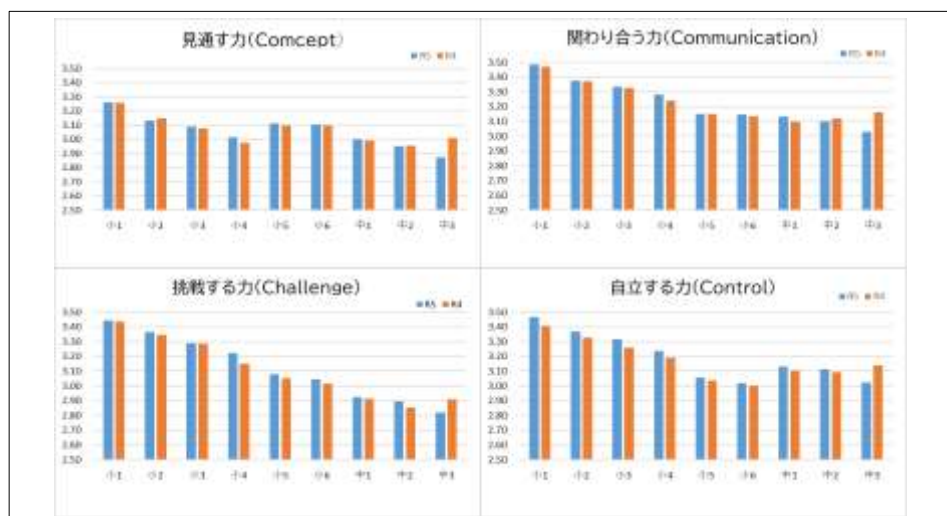
出典：令和5年度柏市学力・学習状況調査 結果報告

^(注8) 評価基準表：柏市平均正答率と全国平均正答率の差を評価基準表に照らし合わせて決定したもの
^(注9) 算数支援推進事業：児童の学び意欲の向上のため、算数科における児童のつまづき解消を目指し、担任と協働で児童への指導・支援を行うために算数支援教員を配置（令和6年度は、小学校14校に14名が配置）

2) 子どもたちに身に付けさせたい4つの力

柏市教育委員会では、第2次柏市教育振興計画を受け、柏市の子どもたちに身に付けさせたい力を「4つのC」として示し、「柏市学力・学習状況調査」において、この「4つのC」から児童生徒の現状を毎年度把握し、目指す姿に向けて各種取組を進めています。4つの力の調査結果について、令和4（2022）年度と令和5（2023）年度を比較すると、挑戦する力、自立する力については、ほぼ全ての学年で令和5（2023）年度の数値が高くなっています。

図表 資-51 子どもたちに身に付けさせたい4つの力の調査結果（令和4年度と5年度の比較）



出典：令和4、5年度柏市学力・学習状況調査 結果報告

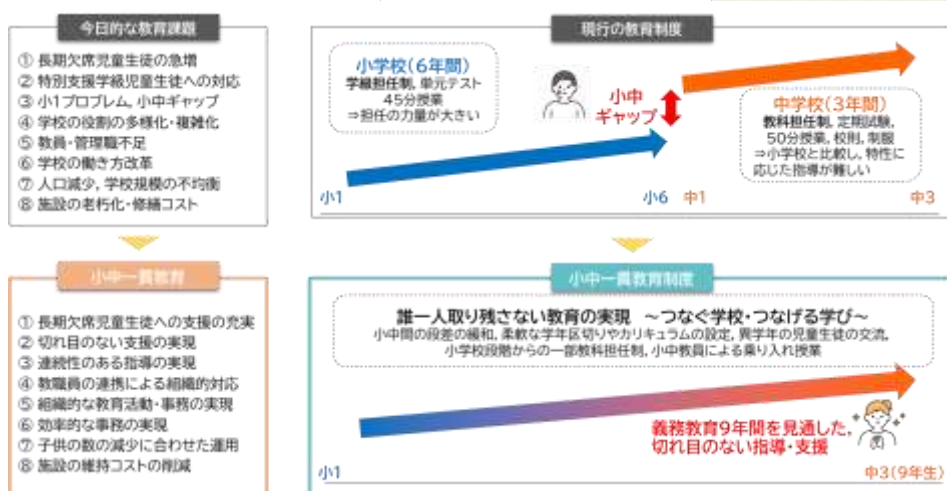
図表 資-52 子どもたちに身に付けさせたい4つの力（柏市教育振興計画）

4つの力 (C)	見出し	項目
見通す力 (Concept)	夢・目標	将来の夢や目標を持つことができる。
	計画	物事に取り組むときに、計画を立てることができる。
	振り返り	学んだ結果、よく分かったこと、あまり分からなかったことを整理することができる。
	分かる努力	分からなかったことを友達や先生に聞いたり、調べたりすることができる。
	改善	物事に取り組んだ時に、どうすればもっと良くできるか考えることができる。
挑戦する力 (Challenge)	目標への努力	夢や目標に向かって、近づくための努力をすることができる。
	粘り強さ	諦めずに粘り強く取り組むことができる。
	挑戦	失敗を恐れずに挑戦することができる。
関わり合う力 (Communication)	相手の立場に立って考える力	自分が相手の立場だったら、どう思うかと想像することができる。
	思いやり	誰に対しても、温かい心で接することができる。
	伝える力	友達に自分の考え・意見を説明することができる。
	傾聴	話し合い活動の際に、他人の意見を最後まで聞くことができる。
	相談する力	悩んでいることや心配していることを、先生、友達、保護者などに相談することができる。
	協働	自分だけでは解決できない問題について、友達や先生の助けを求めて、一緒に取り組むことができる。
	地域との関わり	自分が学んだことを、自分が住んでいる地域や社会の問題解決に役立てようとするすることができる。
自立する力 (Control)	主体性	課題に自ら取り組むことができる。
	自己肯定感	自分の長所・短所を含め、自分自身を認めることができる。
	規範意識	ルールが必要となる理由や、なぜ守らなければならないかを考えることができる。

3) 小中連携教育から小中一貫教育へ

本市では、「小1プロブレム」「小中ギャップ」の解消・緩和を目指し、幼保こ小の円滑な接続や、小中学校での連携教育について進めてきました。誰一人取り残さない教育を実現するため、全市的な小中一貫教育を進めていくことで、子どもたちにとってより良い学びを深めていくとともに、学校が抱えているさまざまな課題の解消につなげていきます。これまで以上に小中学校間の連携を深め、小中連携教育から小中一貫教育へ推進していきます。

図表 資-53 現行の教育制度と小中一貫教育制度

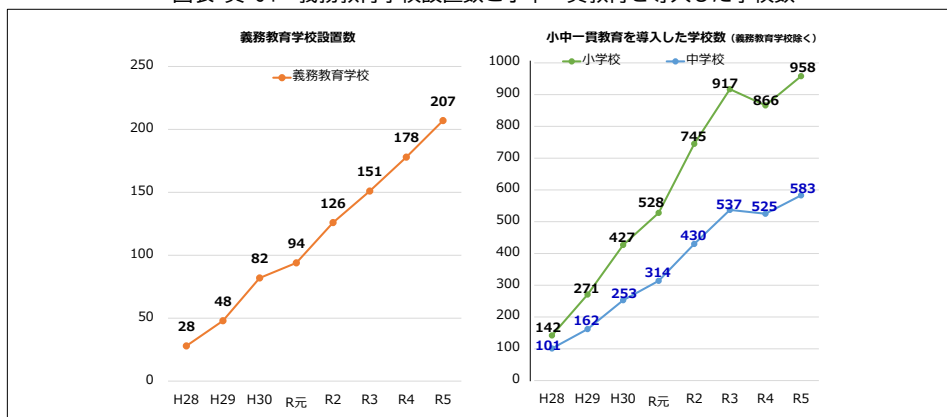


コメントの追加 [パブリックコメント24]: 意見を踏まえ、タイトルの変更と資料を見やすく整理

出典: 柏市教育委員会資料

コメントの追加 [修正25]: 出典を追記

図表 資-54 義務教育学校設置数と小中一貫教育を導入した学校数



出典: 文部科学省「学校基本調査」

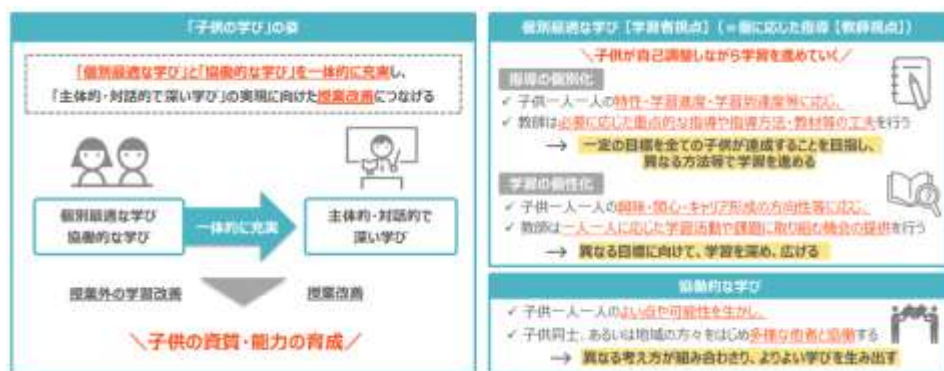
4) 令和の日本型学校教育への対応

新しい学びに対応し、子どもたちが自ら学び続ける力を育成するためにも、これまで本市で取り組んできた学びをさらにアップデートさせていくことが求められています。

GIGA スクール構想における一人一台端末の活用や、文部科学省が掲げる「令和の日本型学校教育」を実現するための「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを進めています。

また、認知能力のみならず、学校の状況を4つのCを指標にして分析し、非認知能力の育成を図っています。

図表 資-55 個別最適な学び・協働的な学びのイメージ



出典：中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)【総論解説】

コメントの追加 [修正26]: 出典の追記

図表 資-56 各試験団体のデータによる CEFR との対照表

CEFR	Cambridge English	英検	GTEC CBT	GTEC for STUDENTS	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEFL Junior Comprehensive	TOEIC / TOEIC S&W
C2	CPE (200+)				8.5-9.0					
C1	CAE (180-199)	1級 (2630-3400)	1400		7.0-8.0	400	800	95-120		1305-1390 L&R 945~ S&W 960~
B2	FCE (160-179)	準1級 (2304-3000)	1250-1399	980 L&R&W 810	5.5-6.5	334-399	600-795	72-94	341-352	1095-1300 L&R 785~ S&W 810~
B1	PET (140-159)	2級 (1980-2600)	1000-1249	815-979 L&R&W 675-809	4.0-5.0	226-333	420-595	42-71	322-340	790-1090 L&R 550~ S&W 240~
A2	KET (120-139)	準2級 (1284-1800)	700-999	565-814 L&R&W 485-674	3.0	150-225	235-415		300-321	385-785 L&R 225~ S&W 160~
A1		3級-5級 (819-1650)	-699	-564 L&R&W -484	2.0					200-380 L&R 120~ S&W 80~

出典：文部科学省「各試験団体のデータによる CEFR との対照表」

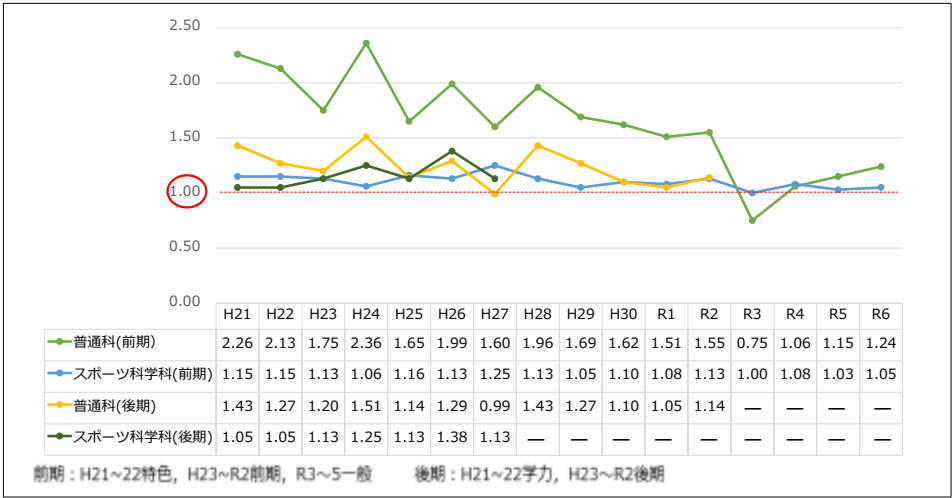
⑨市立柏高等学校

1) 入学選抜志願者の状況（推移）

市立柏高等学校の入学選抜志願者の状況をみると、普通科の志願者は減少傾向でしたが、近年は増加傾向にあります。スポーツ科学科の志願者は、横ばい傾向にあります。

千葉県内における市立柏高等学校の倍率の推移をみると、市立柏高等学校の普通科の倍率は、千葉県内の市立高等学校に比べ倍率が特に低いということはなく、スポーツ科学科とともに定員を維持しています。

図表 資-57 市立柏高等学校の入学選抜志願者の状況（推移）



図表 資-58 千葉県内における市立高等学校の倍率の推移

出典：柏市教育委員会資料

高校名	学科名	偏差値	R2前期	R2後期	R3	R4	R5	R6
千葉	普通科	71	2.70	1.98	1.49	1.58	1.71	1.52
	理数科	73	2.70	2.40	1.50	1.50	1.73	1.78
稲毛	普通科	67	2.16	1.69	1.41	1.38	1.32	1.13
	国際教養科	66	2.03	2.10	1.23	1.78	0.98	1.40
習志野	普通科	56	1.72	1.14	1.11	1.27	1.10	1.22
	商業科	50	1.78	2.00	1.33	1.38	1.25	1.51
船橋	普通科	52	1.84	1.59	1.00	1.27	1.28	1.19
	商業科	47	1.93	—	1.18	1.31	1.43	1.34
	体育科	43	1.01	—	1.05	1.09	1.08	1.03
松戸	普通科	49	2.53	1.64	1.23	1.44	1.65	1.63
	国際人文科	53	1.85	—	1.23	1.13	1.28	1.53
柏	普通科	48	1.55	1.21	0.76	1.06	1.15	1.24
	スポーツ科学科	43	1.13	—	1.00	1.08	1.03	1.05
流子	普通科・理数科	データなし	1.60	0.95	0.97	1.06	0.97	1.06

「—」：算出なし ※令和3年度で入学試験制度変更

出典：千葉県 HP「一般入学者選抜等の志願者確定数（特別入学者選抜及び地域連携アクティブスクールの入学者選抜を含む）」
偏差値出典：みんなの高校情報千葉

前年度より増加 前年度より減少 前年度と同等（±0.05以内）

4. 教育環境に関するアンケート

柏市教育委員会では、令和6年（2024年）4月から5月にかけて、柏市立学校に通う児童生徒と保護者、教職員、学校運営協議会委員を対象とした「柏市立小中学校の教育環境に関するアンケート」を実施し、いただいた意見を基本方針に反映させています。

図表 資-59 調査概要

調査対象	・ 柏市立学校に通う小学校3・6年生、中学校2年生 ・ 柏市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者 兄弟姉妹がいる場合、個別に回答を求めたため在籍児童生徒数と同一 ・ 柏市立学校の教職員 ・ 学校運営協議会委員				
調査期間	・ 令和6（2024）年4月25日～令和6年(2024)年5月17日まで ※学校運営協議会委員の回答期限は、5月31日まで				
調査方法	児童生徒：一人一台タブレット端末上で回答 保護者：学校連絡システム（sigfy）で周知。アンケートフォームから回答 教職員：校務支援システムで周知。アンケートフォームから回答 学校運営協議会委員：各学校経由で周知。アンケートフォーム（もしくは紙媒体）から回答				
配布・回収	カテゴリー		対象者総数	回収者総数	回収率
	児童生徒	小学校3年生	3,630人	3,066人	84.5%
		小学校6年生	3,518人	2,880人	81.9%
		中学校2年生	3,370人	2,480人	73.6%
	保護者		32,419人	14,941人	46.1%
	教職員		2,868人	1,346人	46.9%
	学校運営協議会委員		351人	177人	50.4%
主な設問	児童生徒	学校で大切なことや楽しいこと、大変なことや心配なこと			
		楽しい授業			
		学校生活に関すること（大切なことや楽しいこと、大変なことや心配なこと）			
		学校に行きたくないとき、安心する場所			
	保護者 教職員 学校運営協議会委員	学校教育に関すること	これからの学校教育で重視すること		
			子どもに身に付けて欲しい力		
		学校規模に関すること	1学年あたりの望ましい学級数とその理由		
			通学時間に関すること	望ましい通学時間（片道）の許容範囲 許容範囲を超えた場合の必要な対策	
		学校施設に関すること		これからの学校施設について重要だと思うもの	
			これからの学校施設に必要と思うもの		

■ アンケート結果

【小学3年生-P1】

柏市立小中学校の教育環境に関するアンケート

・アンケート回答数： 3,066 件・
・アンケート配布数： 3,638 件・
・回答率： 84.3%・

(1) 児童生徒向け (小学校3年生)

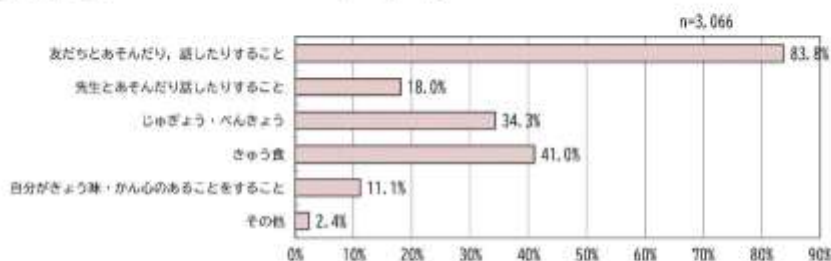
学校生活について

Q2. 学校で大切なことや楽しいことは、どんなことですか？2つえらんでください。必須

	回答数	%
友だちとあそんだり、話したりすること	2,589	83.8%
先生とあそんだり話したりすること	563	18.0%
じゅぎょう・べんぎょう	1,052	34.3%
きゅう食	1,259	41.0%
自分がきょう理・かん心のあることをすること	340	11.1%
その他	73	2.4%
計	3,066	

	回答数	%
2つ回答	2,783	90.7%
1つ回答	289	9.3%
無回答	3	0.0%
計	3,066	100.0%

その他 自由記述あり	73	2.4%
------------	----	------

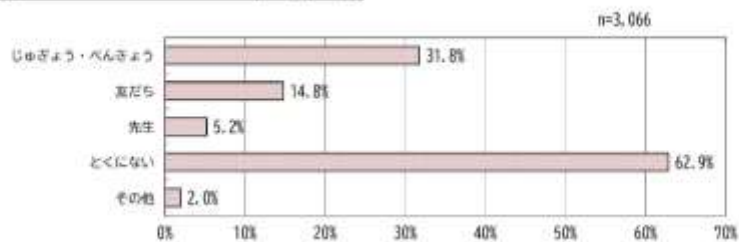


Q3. 学校で大へんなことや心ばいなことはどんなことですか。あてはまるものをすべてえらんでください。必須

	回答数	%
じゅぎょう・べんぎょう	974	31.8%
友だち	453	14.8%
先生	160	5.2%
とくにない	1,927	62.9%
その他	63	2.0%
計	3,514	

	回答数	%
3つ回答	1	0.0%
4つ回答	11	0.4%
3つ回答	65	2.1%
2つ回答	343	11.1%
1つ回答	2,648	86.4%
無回答	3	0.0%
計	3,066	100.0%

その他 自由記述あり	63	2.0%
------------	----	------



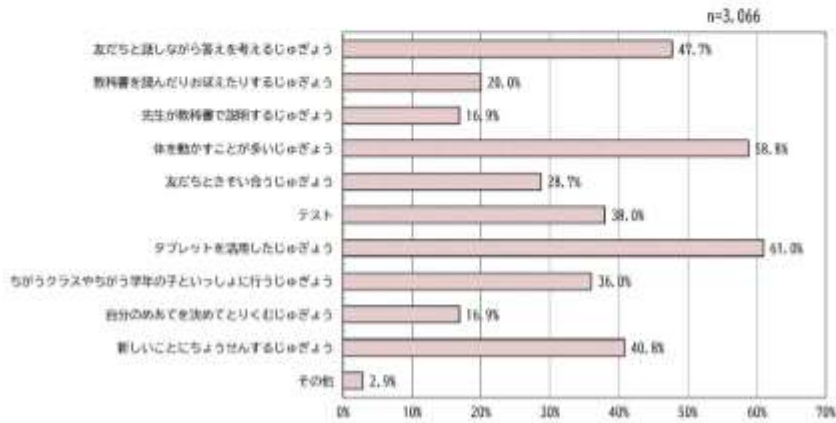
楽しいじゅ業

94. どんなじゅ業が楽しいですか。あてはまるものをすべてえらんでください。必須

	回答数	%
友達と一緒にしながら答えを考えるじゅぎょう	1,443	47.7%
教科書を読んだりおぼえたりするじゅぎょう	634	20.0%
先生が教科書で説明するじゅぎょう	538	16.9%
体を動かすことが多いじゅぎょう	1,882	58.8%
友達とききあい合うじゅぎょう	683	21.7%
テスト	1,164	36.0%
タブレットを活用したじゅぎょう	1,879	61.0%
ちがうクラスやちがう学年の子といっしょに行うじゅぎょう	1,185	36.0%
自分のめあてを決めてとりくむじゅぎょう	538	16.9%
新しいことにチャレンジするじゅぎょう	1,252	40.8%
その他	89	2.9%
計	3,066	

その他 自由記述あり

	回答数	%
1.1 単回書	8	0.3%
1.0 単回書	114	3.7%
9つ回書	63	2.1%
8つ回書	94	3.1%
7つ回書	123	4.0%
6つ回書	274	9.0%
5つ回書	338	11.0%
4つ回書	578	18.8%
3つ回書	634	20.7%
2つ回書	482	15.7%
1つ回書	759	24.8%
無回答	8	0.3%
計	3,066	100.0%

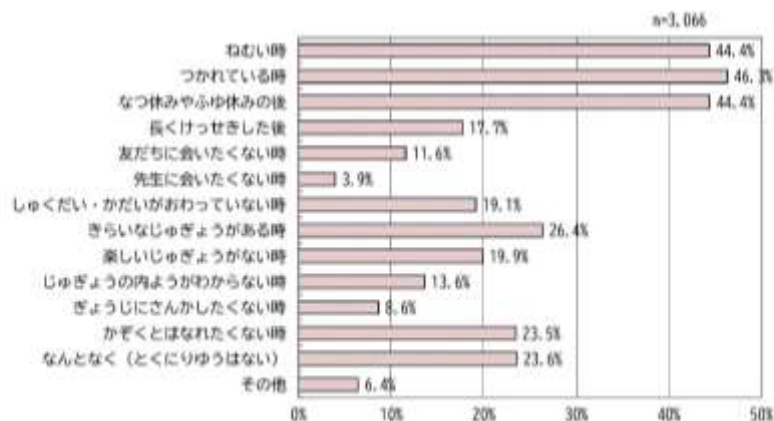


学校に行きたくない時

Q5. 学校に行きたくないと思うことはありますか。あてはまるものをすべてえらんでください。必須

	回答数	%
休み時間	1,459	48.4%
授業中	1,459	48.4%
放課後	1,459	48.4%
登校時	1,459	48.4%
下校時	1,459	48.4%
授業中・休み時間の両方	1,459	48.4%
放課後・下校時の両方	1,459	48.4%
授業中・下校時の両方	1,459	48.4%
授業中・放課後の両方	1,459	48.4%
放課後・下校時の両方	1,459	48.4%
授業中・放課後・下校時の両方	1,459	48.4%
その他	1,459	48.4%
合計	3,352	100.0%

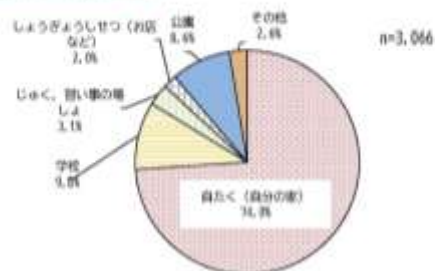
	回答数	%
授業中	1,459	48.4%
休み時間	1,459	48.4%
放課後	1,459	48.4%
登校時	1,459	48.4%
下校時	1,459	48.4%
授業中・休み時間の両方	1,459	48.4%
放課後・下校時の両方	1,459	48.4%
授業中・下校時の両方	1,459	48.4%
授業中・放課後の両方	1,459	48.4%
放課後・下校時の両方	1,459	48.4%
授業中・放課後・下校時の両方	1,459	48.4%
その他	1,459	48.4%
合計	3,352	100.0%



安心する場所

Q6. 一番安心する場所や楽しい場所はどんなところですか。必須

	回答数	%
自分（自分の家）	1,459	48.4%
学校	1,459	48.4%
公園	1,459	48.4%
図書館	1,459	48.4%
その他	1,459	48.4%
合計	3,352	100.0%



【小学6年生-P1】

柏市立小中学校の教育環境に関するアンケート

・アンケート回答数： 2,880 件
・アンケート配布数： 3,518 件
・回答率： 81.55%

【2】児童生徒健向け（小学校6年生）

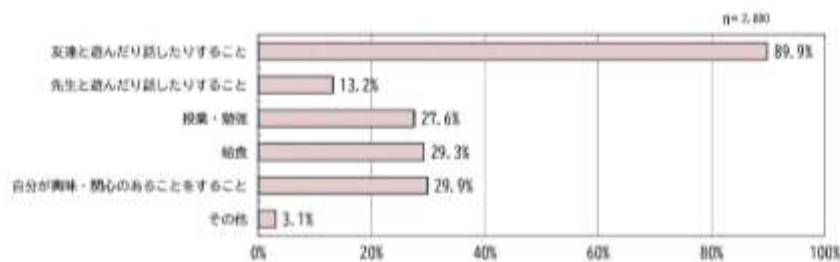
学校生活について

92. 学校で大切なことや楽しいことはどんなことですか？2つ選んでください。必須

	回答数	%
友達と遊んだり話したりすること	2,589	89.9%
先生と遊んだり話したりすること	389	13.5%
授業・勉強	794	27.6%
給食	843	29.3%
自分が興味・関心のあることをすること	842	29.3%
その他	88	3.1%
計	2,880	

	回答数	%
2つ程度	2,675	92.9%
1つ程度	205	7.1%
無回答	0	0.0%
計	2,880	100.0%

その他 自由記述あり	88	3.1%
------------	----	------



93. 学校で大変なことや心配なことはどんなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

	回答数	%
授業・勉強	1,427	49.9%
友達	579	20.1%
先生	222	7.7%
特になし	1,284	44.6%
その他	88	3.1%
計	3,600	

	回答数	%
5つ程度	0	0.0%
4つ程度	11	0.4%
3つ程度	94	3.1%
2つ程度	517	18.0%
1つ程度	2,262	78.5%
無回答	0	0.0%
計	2,880	100.0%

その他 自由記述あり	88	3.1%
------------	----	------



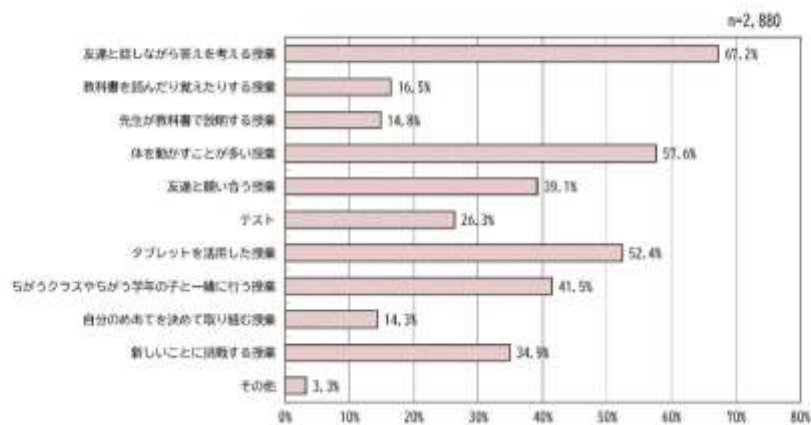
楽しい授業

Q4. どんな授業が楽しいですか。あてはまるものをすべて選んでください。…必須

	回答数	%
友達と話しながら答えを考える授業	1,918	67.7%
教科書を読みんだり覚えたりする授業	474	16.5%
先生が教科書で説明する授業	427	14.4%
体を動かすことが多い授業	1,669	57.6%
友達と競い合う授業	1,127	39.1%
テスト	758	26.3%
タブレットを活用した授業	1,568	52.4%
ちがうクラスやちがう学年の子と一緒にやる授業	1,195	41.5%
自分のめあてを決めて取り組む授業	413	14.3%
新しいことに挑戦する授業	1,084	36.9%
その他	84	3.3%
計	2,880	

その他 自由記述あり	84	3.3%
------------	----	------

	回答数	%
11個回答	2	0.1%
10個回答	35	1.2%
9つ回答	34	1.2%
8つ回答	47	2.3%
7つ回答	169	3.4%
6つ回答	262	9.1%
5つ回答	396	13.8%
4つ回答	528	18.3%
3つ回答	517	18.0%
2つ回答	588	20.4%
1つ回答	424	14.7%
無回答	8	0.3%
計	2,880	100.0%



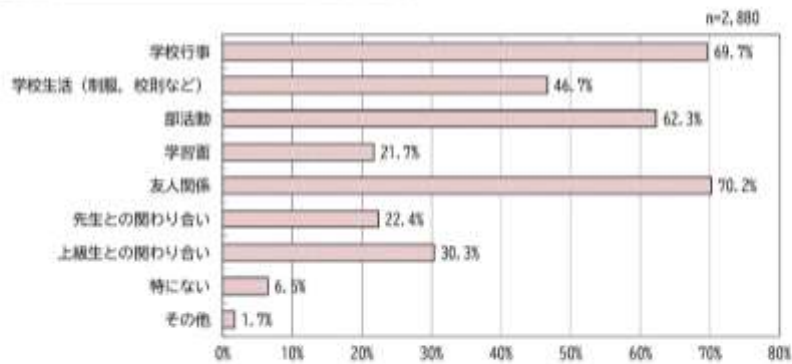
進学について

05. 中学校に進学したらどんなことが楽しみですか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

	回答数	%
学校行事	2,185	69.7%
学校生活（制服、校則など）	1,192	46.7%
部活動	1,154	62.3%
学習面	2,103	70.2%
友人関係	2,103	70.2%
先生との関わり合い	1,148	46.7%
上級生との関わり合い	1,148	46.7%
特になし	113	4.1%
その他	113	4.1%
計	3,123	100.0%

そのほか 自由記述あり 1 31.3 1.5%

	回答数	%
学校行事	2,185	69.7%
学校生活（制服、校則など）	1,192	46.7%
部活動	1,154	62.3%
学習面	2,103	70.2%
友人関係	2,103	70.2%
先生との関わり合い	1,148	46.7%
上級生との関わり合い	1,148	46.7%
特になし	113	4.1%
その他	113	4.1%
計	3,123	100.0%

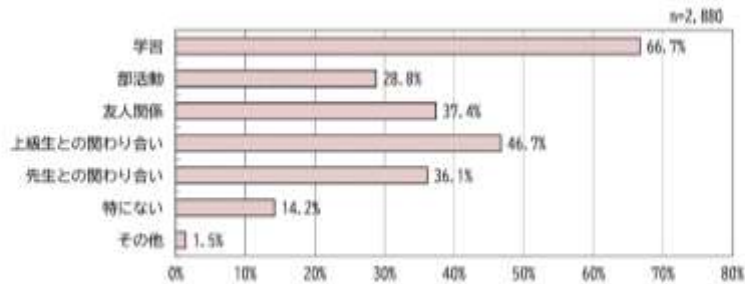


06. 中学に進学したらどんなことが不安ですか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

	回答数	%
学習	1,871	66.7%
部活動	1,192	46.7%
友人関係	1,192	46.7%
先生との関わり合い	1,148	46.7%
上級生との関わり合い	1,148	46.7%
特になし	113	4.1%
その他	113	4.1%
計	2,880	100.0%

そのほか 自由記述あり 1 42.3 1.5%

	回答数	%
学習	1,871	66.7%
部活動	1,192	46.7%
友人関係	1,192	46.7%
先生との関わり合い	1,148	46.7%
上級生との関わり合い	1,148	46.7%
特になし	113	4.1%
その他	113	4.1%
計	2,880	100.0%



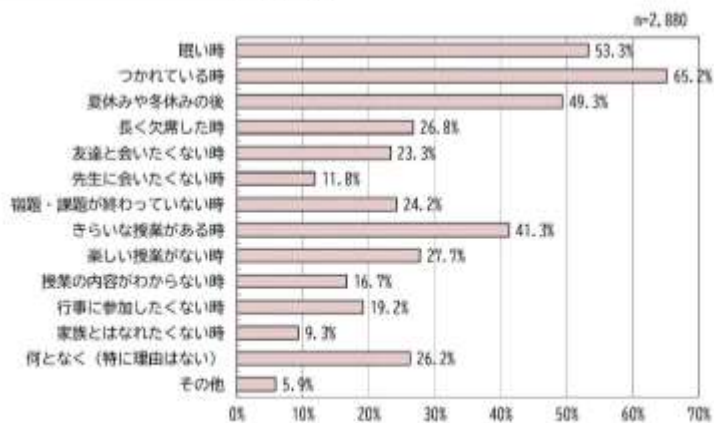
学校に行きたくない時

Q7. 学校に行きたくないと思うことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

	回答数	%
休み時	1,243	55.4%
つられていいる時	1,243	55.4%
夏休みや冬休みの後	1,421	63.5%
長く欠席した時	71	3.1%
友達と会いたくない時	54	2.4%
先生に会いたくない時	54	2.4%
授業・課題が終わっていない時	288	12.8%
きらいな授業がある時	1,189	53.1%
楽しい授業がない時	285	12.7%
授業の内容がわからない時	252	11.3%
行事に参加したくない時	252	11.3%
家族とはなれたくない時	252	11.3%
何となく（特に理由はない）	252	11.3%
その他	110	4.9%
計	2,280	

その他 自由記述あり 110 4.9%

	回答数	%
1. 友達と会いたくない時	54	2.4%
2. 先生に会いたくない時	54	2.4%
3. 授業・課題が終わっていない時	288	12.8%
4. きらいな授業がある時	1,189	53.1%
5. 楽しい授業がない時	285	12.7%
6. 授業の内容がわからない時	252	11.3%
7. 行事に参加したくない時	252	11.3%
8. 家族とはなれたくない時	252	11.3%
9. 何となく（特に理由はない）	252	11.3%
10. その他	110	4.9%
計	2,280	

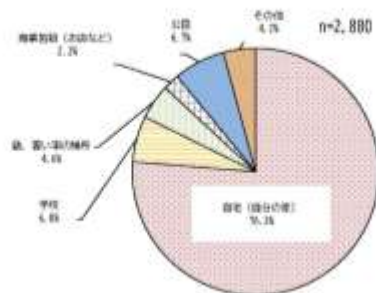


安心する場所

Q8. 一番安心する場所や楽しい場所はどんなところですか。必須

	回答数	%
自宅（自分の部屋）	1,171	51.3%
学校	117	4.0%
公園・児童館（お友達など）	117	4.0%
図書館（お友達など）	117	4.0%
公園	117	4.0%
その他	117	4.0%
計	2,280	

その他 自由記述あり 117 4.0%



柏市立小中学校の教育環境に関するアンケート

(3) 児童生徒向け(中学校2年生)

・アンケート実施数： 2,480 件・
 ・アンケート配布数： 3,378 件・
 ・回収率： 73.8%

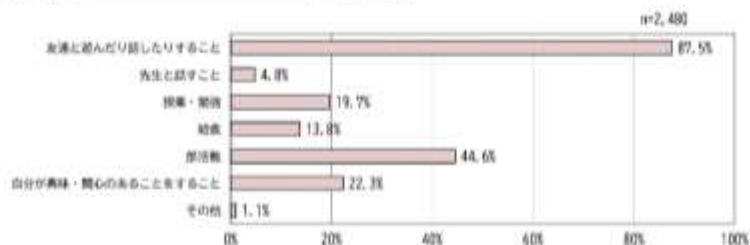
学校生活について

Q2. 学校で大切なことや楽しいことはどんなことですか？2つ選んでください。(必須)

	回答数	%
友達と遊んだり話したりすること	2,111	85.1%
先生と話すこと	123	5.0%
授業・勉強	321	13.0%
給食	123	5.0%
部活動	123	5.0%
自分が興味・関心のあることをする	123	5.0%
その他	21	0.9%
計	2,480	100.0%

	回答数	%
友達と遊んだり話したりすること	2,111	85.1%
先生と話すこと	123	5.0%
授業・勉強	321	13.0%
給食	123	5.0%
部活動	123	5.0%
自分が興味・関心のあることをする	123	5.0%
その他	21	0.9%
計	2,480	100.0%

【その他】回答はなしあり 1 27.1 3.1%

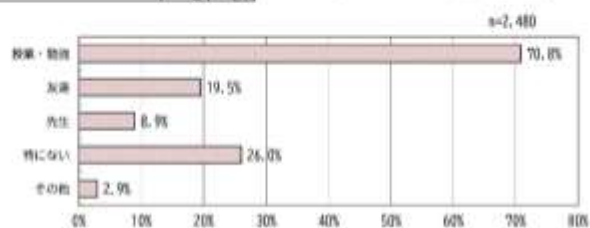


Q3. 学校で大切なことや心配なことはどんなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

	回答数	%
授業・勉強	1,721	69.4%
友達	321	13.0%
先生	211	8.5%
特になし	321	13.0%
その他	123	5.0%
計	2,480	100.0%

	回答数	%
授業・勉強	1,721	69.4%
友達	321	13.0%
先生	211	8.5%
特になし	321	13.0%
その他	123	5.0%
計	2,480	100.0%

【その他】回答はなしあり 1 32.1 2.9%



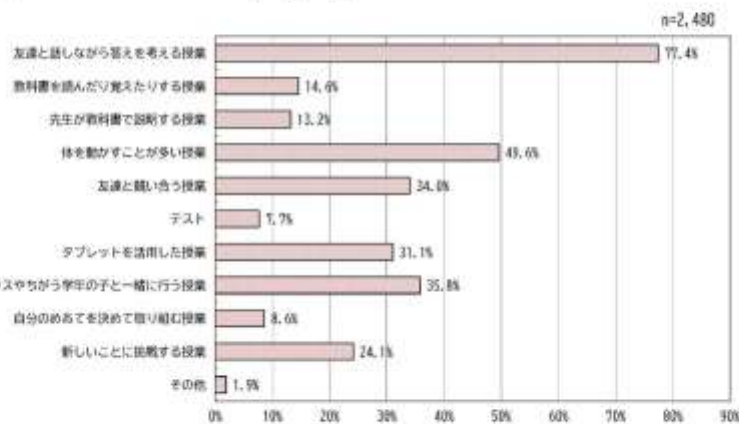
【中学2年生-P2】

Q4. どんな授業が楽しいですか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

	回答数	%
先生と話し合いながら答えを考える授業	1,323	77.4%
教科書を読んでみたり見たりする授業	36	2.1%
先生の教科書で説明する授業	29	1.7%
先生が教科書で説明する授業	1,221	70.8%
友達と話し合う授業	44	2.6%
テスト	111	6.4%
タブレットを使用した授業	271	15.7%
ちがうクラスやちがう学年の子と一緒にいる授業	282	16.4%
自分のためを決めて取り組む授業	34	2.0%
新しいことに挑戦する授業	63	3.7%
その他	49	2.8%
合計	1,704	

※この数値は、自由回答あり 1,704 2.8%

	回答数	%
先生と話し合いながら答えを考える授業	1,323	77.4%
教科書を読んでみたり見たりする授業	36	2.1%
先生の教科書で説明する授業	29	1.7%
先生が教科書で説明する授業	1,221	70.8%
友達と話し合う授業	44	2.6%
テスト	111	6.4%
タブレットを使用した授業	271	15.7%
ちがうクラスやちがう学年の子と一緒にいる授業	282	16.4%
自分のためを決めて取り組む授業	34	2.0%
新しいことに挑戦する授業	63	3.7%
その他	49	2.8%
合計	1,704	



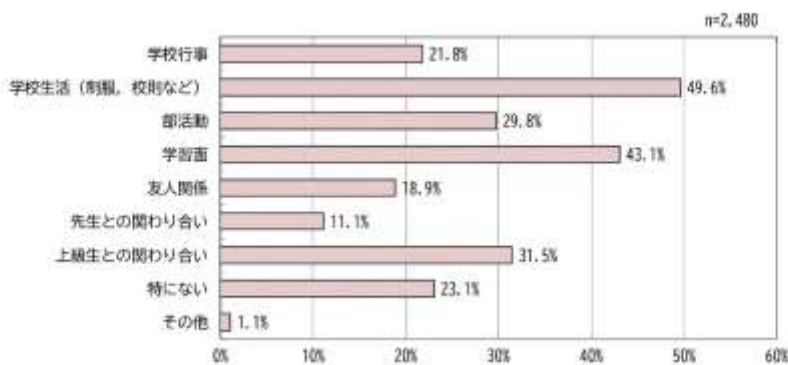
進学について

Q5. 小学校との違いで戸惑ったことはどんなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

	回答数	%
学校行事	24	1.1%
学校生活（制服、校則など）	1,221	60.4%
部活動	29	1.5%
学習面	1,063	53.1%
友人関係	84	4.1%
先生との関わり合い	34	1.7%
上級生との関わり合い	29	1.4%
特になし	24	1.2%
その他	49	2.4%
合計	2,000	

※この数値は、自由回答あり 2,000 2.4%

	回答数	%
学校行事	24	1.1%
学校生活（制服、校則など）	1,221	60.4%
部活動	29	1.5%
学習面	1,063	53.1%
友人関係	84	4.1%
先生との関わり合い	34	1.7%
上級生との関わり合い	29	1.4%
特になし	24	1.2%
その他	49	2.4%
合計	2,000	



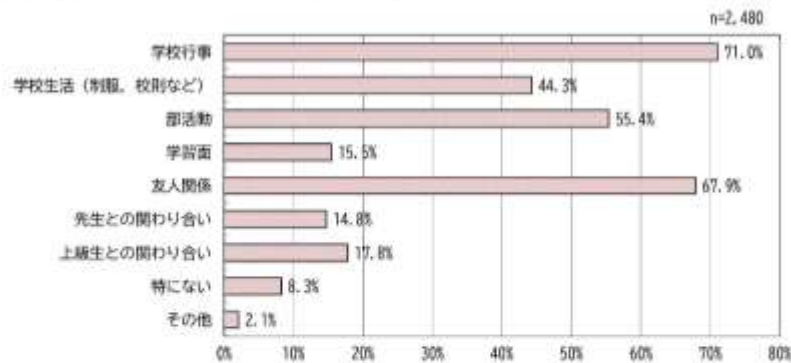
【中学2年生-P3】

Q6. 高校に進学したらどんなことが楽しみですか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

項目	回答数	%
学校行事	1,135	71.0%
学校生活（制服、校則など）	1,109	69.5%
部活動	1,170	72.4%
学習面	181	11.2%
友人関係	1,181	72.9%
先生との関わり合い	442	27.4%
上級生との関わり合い	285	17.6%
特になし	42	2.6%
その他	12	0.7%
計	1,587	

項目	回答数	%
学校行事	1	0.0%
学校生活（制服、校則など）	1	0.0%
部活動	35	2.2%
学習面	112	7.0%
友人関係	274	16.9%
先生との関わり合い	289	18.2%
上級生との関わり合い	529	33.3%
特になし	529	33.3%
その他	2	0.0%
無回答	2	0.0%

※その他：自由記述あり

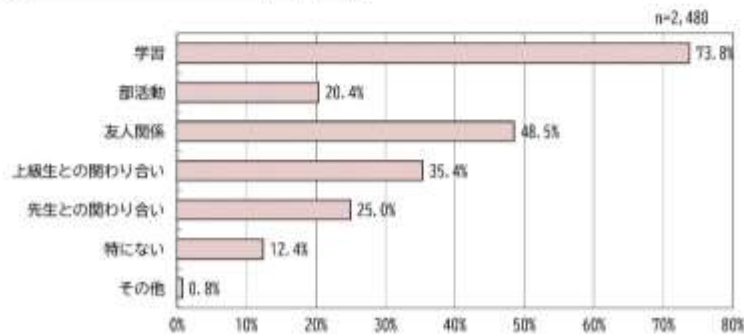


Q7. 高校に進学したらどんなことが不安ですか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

項目	回答数	%
学習	1,872	73.8%
部活動	1,215	48.5%
友人関係	1,177	46.9%
上級生との関わり合い	679	26.9%
先生との関わり合い	623	24.7%
特になし	388	15.4%
その他	12	0.4%
計	2,502	

項目	回答数	%
学習	2	0.0%
部活動	2	0.0%
友人関係	177	6.8%
上級生との関わり合い	275	10.7%
先生との関わり合い	623	24.7%
特になし	584	23.2%
その他	582	23.1%
無回答	2	0.0%

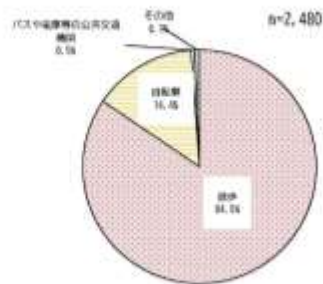
※その他：自由記述あり



通学方法

Q8. 学校にはどんな方法で通っていますか。必須

	回答数	%
徒歩	2,377	64.5%
自転車	326	14.4%
バスや電車等の公共交通機関	19	0.5%
その他	19	0.5%
計	2,450	100.0%
注：回答数に空白あり	17	0.7%

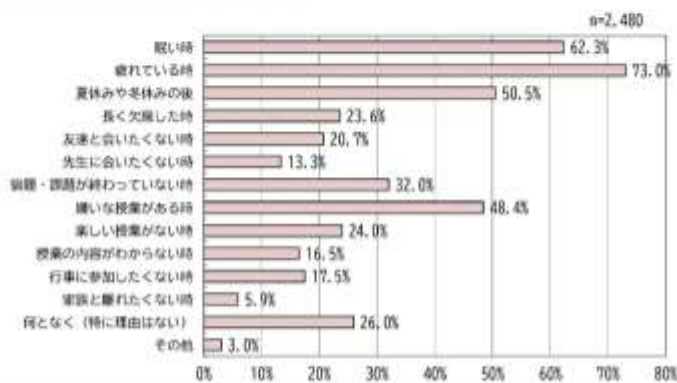


学校に行きたくない時

Q9. 学校に行きたくないと思うことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。必須

	回答数	%
疲れている時	1,243	50.9%
夏休みや冬休みの後	1,232	50.3%
長く欠席した時	765	31.2%
友達と会いたくない時	614	25.1%
先生と会いたくない時	333	13.8%
授業・課題が終わっていない時	334	13.8%
嫌いな授業がある時	1,202	49.3%
楽しい授業がない時	424	17.5%
行事に参加したくない時	249	10.2%
友達と遊ぶことができない時	213	8.7%
友達と遊ぶことができない時	177	7.2%
何となく（特に理由はない）	64	2.6%
その他	75	3.0%
計	65,724	100.0%
注：回答数に空白あり	15	0.0%

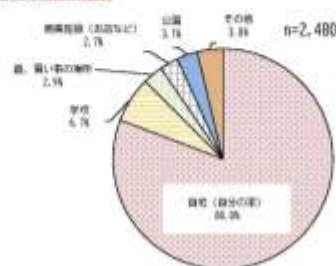
	回答数	%
1. 友達と会いたくない時	38	0.6%
2. 先生と会いたくない時	27	0.4%
3. 授業・課題が終わっていない時	23	0.3%
4. 嫌いな授業がある時	33	0.5%
5. 楽しい授業がない時	16	0.2%
6. 行事に参加したくない時	14	0.2%
7. 友達と遊ぶことができない時	13	0.2%
8. 友達と遊ぶことができない時	12	0.2%
9. 何となく（特に理由はない）	11	0.2%
10. その他	10	0.2%
計	2,480	100.0%



安心する場所

Q10. 一番安心する場所や楽しい場所はどこですか。必須

	回答数	%
自宅（自分の家）	3,401	68.2%
学校	61	1.2%
塾、習い事の場所	72	1.4%
商業施設（お店など）	56	1.1%
公園	70	1.4%
その他	51	1.0%
計	3,500	100.0%
注：回答数に空白あり	3	0.0%



コメントの追加 [修正27]: 図形の不具合を修正

柏市立小中学校の教育環境に関するアンケート

※アンケート回答数： 14,941 件※

※アンケート有効数： 32,419 件※

※回答率： 46.1%※

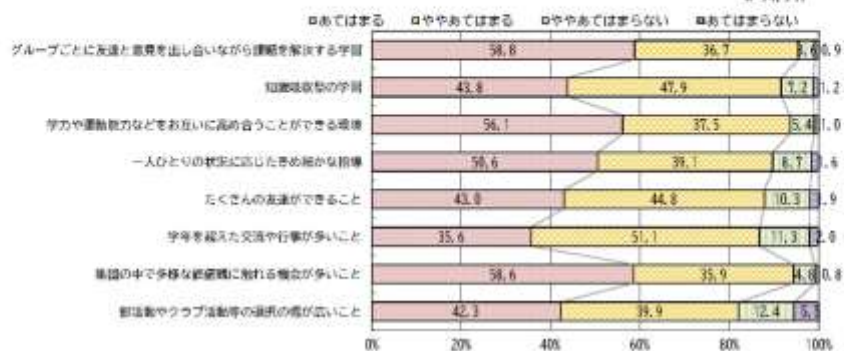
(4) 保護者向け

学校教育で重視して取り組むべき項目

04. 学校教育ではどのような点を重視して取り組む必要があると思いますか。それぞれの項目で最も当てはまるもの（または考え）を1つ選んでください。必須

	とてもはまる	ややとてもはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	計
グループごとにお互いを見学を出し合いながら課題を解決する学習	5,790 38.8	5,481 36.7	947 6.3	475 3.2	14,941 100.0
知識吸収型の学習	6,542 43.8	7,153 47.9	1,873 12.7	773 5.2	14,941 100.0
学力や運動能力などをお互いに高め合うことができる環境	5,389 36.1	5,590 37.5	926 6.4	145 1.0	14,941 100.0
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	7,557 50.6	5,846 39.1	1,383 9.2	229 1.6	14,941 100.0
たくさんの友達ができること	6,438 43.0	6,695 44.8	1,527 10.2	279 1.9	14,941 100.0
学年を超えた交流や行事が多いこと	5,324 35.6	7,638 51.1	1,883 12.6	296 2.0	14,941 100.0
集団の中で多様な価値観に触れる機会が多いこと	6,759 45.2	5,397 36.1	710 4.7	175 1.2	14,941 100.0
部活動やクラブ活動等の選択の幅が広いこと	6,317 42.3	5,956 39.9	1,853 12.4	815 5.4	14,941 100.0

n=14,941



1学年あたりの学級数

05. 1学年あたりの学級数は、どのくらいが適当だと思いますか。必須

	回答数	%
1学級	21	0.15
2学級	784	5.25
3学級	5,735	38.39
4学級	5,441	36.42
5学級	7,725	51.74
6学級以上	1,722	11.47
合計	14,941	100.00

n=14,941

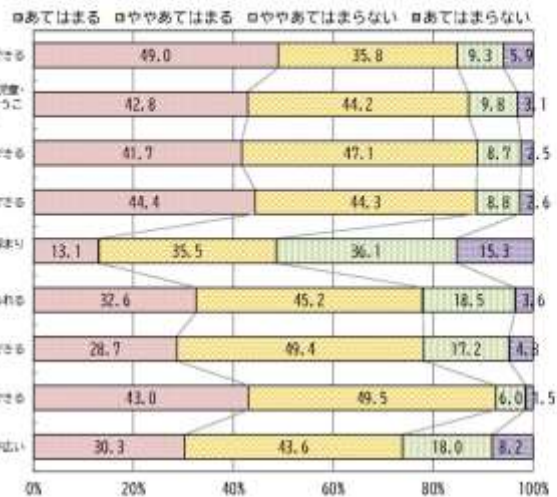


【保護者-P2】

06.「05」の選択肢を選んだ理由について、それぞれの調査項目で最も当てはまるもの（または考え）を1つ選んでください。必須

	とてもはまる		ややとてもはまる		ややあてはまらない		あてはまらない		計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
クラス替えができる	5,322	46.9	5,350	46.8	1,183	10.3	886	7.9	14,941	100.0
グループ学習や個別指導（教科の習熟度に応じて授業内容をグループ分けし、それぞれに合わせた学習を行うこと）など多様な学習形態を行うことができる	6,400	47.8	6,607	44.2	1,467	9.8	466	3.1	14,941	100.0
学力や運動能力をお互いに高め合うことができる	6,229	41.7	7,036	47.1	1,383	8.7	371	2.5	14,941	100.0
たくさんの友達ができる	6,627	44.4	6,621	44.3	1,386	8.8	385	2.6	14,941	100.0
クラスのメンバーが固定され、子ども達の人間関係が深まりやすい	1,953	13.1	5,297	35.5	5,389	36.1	2,292	15.3	14,941	100.0
一人ひとりの状況に合わせたきめ細かな指導が受けられる	4,876	32.6	6,757	45.2	2,767	18.5	541	3.6	14,941	100.0
学年を超えた交流や行事ができる	4,788	38.7	7,336	49.4	2,563	17.2	714	4.8	14,941	100.0
異学年の中で多様な価値観に触れる機会を持つことができる	6,438	43.0	7,386	49.5	833	6.0	223	1.5	14,941	100.0
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広い	4,525	30.3	6,587	43.6	2,689	18.0	1,220	8.2	14,941	100.0

n=14,941



学校施設について

07. 学校施設は安全・安心だけでなく様々な機能や役割が求められています。これからの学校施設について、重要だと思うものを3つ選んでください。必須

	回答数	%
多様な活動が可能な学習空間の確保	1,633	12.7%
数値施設が数値に動くことができる環境	3,075	24.1%
防災・防犯機能の強化	1,637	12.7%
バリアフリー・ユニバーサルデザイン（文化、芸術、運動、学術、性別等の違いに関わらず、できる限り多くの人が利用できるように設計したデザイン）の推進	2,940	23.2%
地域の活性化	1,152	9.1%
児童生徒が利用できる学習空間としての機能	2,116	16.5%
地域の活性化に資する多様なスペースの確保	64	0.5%
防災・防犯機能の強化	2,941	23.2%
他の公共施設との連携性	73	0.6%
その他	63	0.5%
合計	14,941	100.0%

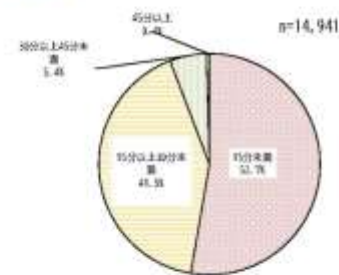
	回答数	%
多様な活動が可能な学習空間の確保	1,633	12.7%
数値施設が数値に動くことができる環境	3,075	24.1%
防災・防犯機能の強化	1,637	12.7%
バリアフリー・ユニバーサルデザイン（文化、芸術、運動、学術、性別等の違いに関わらず、できる限り多くの人が利用できるように設計したデザイン）の推進	2,940	23.2%
地域の活性化	1,152	9.1%
児童生徒が利用できる学習空間としての機能	2,116	16.5%
地域の活性化に資する多様なスペースの確保	64	0.5%
防災・防犯機能の強化	2,941	23.2%
他の公共施設との連携性	73	0.6%
その他	63	0.5%
合計	14,941	100.0%



お子様の通学について

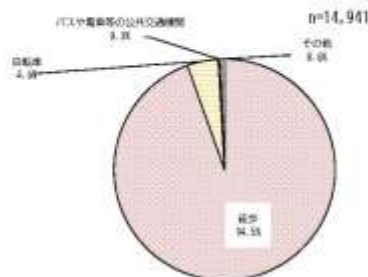
09. お子様のおおむねの通学時間（片道）を教えてください。必須

	回答数	%
15分未満	1,633	12.7%
15分以上30分未満	1,637	12.7%
30分以上45分未満	1,637	12.7%
45分以上	1,637	12.7%
合計	14,941	100.0%



010. お子様の通学手段を教えてください。必須

	回答数	%
徒歩	1,633	12.7%
自転車	1,637	12.7%
バスや電車等の公共交通機関	1,637	12.7%
その他	1,637	12.7%
合計	14,941	100.0%



通学時間について

Q11. 通学時間（片道）はどのくらいの時間が許容範囲ですか。 必須

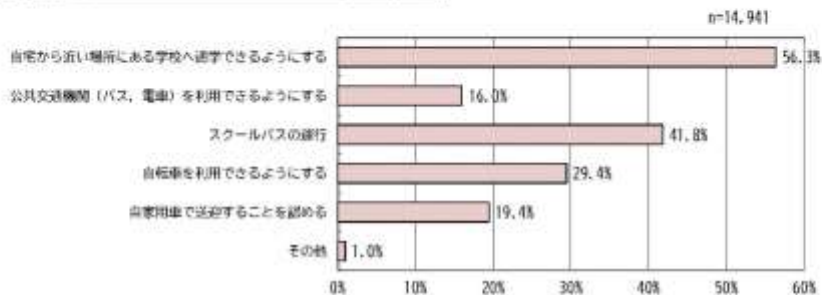
	件数	%
15分未満	4,457	34.33
15分以上30分未満	4,457	34.33
30分以上45分未満	4,457	34.33
45分以上	4,457	34.33
その他	4,457	34.33
計	14,941	100.00



Q12. 「Q11」で回答した時間内に徒歩で通学することが難しい場合、どのような配慮・対策が必要と考えますか。必要だと考える対策を2つ選んでください。 必須

	件数	%
自宅から近い場所にある学校へ通学できるようにする	8,455	56.59
公共交通機関（バス、電車）を利用できるようにする	7,487	50.18
スクールバスの運行	6,747	45.16
自転車を利用できるようにする	4,751	31.80
自家用車で送迎することを目指す	2,521	16.87
その他	144	1.00
計	14,941	100.00

	件数	%
バス	1,702	11.40
電車	0	0.00
その他	14,941	100.00

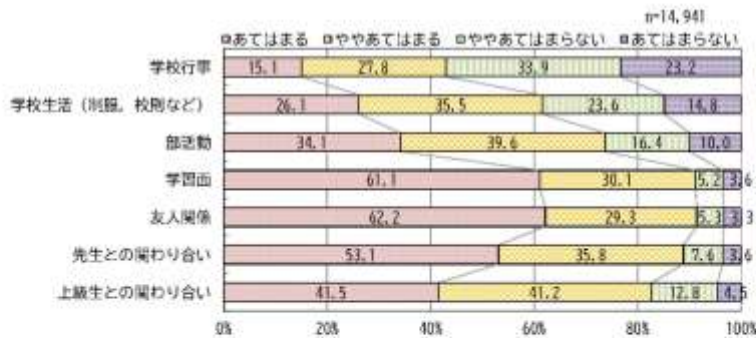


進学について

Q13.【小学生保護者向け】 お子様が中学校へ進学するにあたって、どのようなことが不安ですか。それぞれの項目で最も当てはまるもの（または考え）を1つ選んでください。必須

	あてはまる		ややあてはまる		ややあてはまらない		あてはまらない		計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
学校行事	1,582	15.1	2,896	27.8	3,550	33.9	2,454	23.2	10,484	100.0
学校生活（制服、校則など）	2,734	26.1	3,721	35.5	2,473	23.6	1,554	14.6	10,484	100.0
部活動	2,572	24.1	4,151	39.6	1,776	16.4	1,045	10.0	10,484	100.0
学習面	4,404	41.1	3,198	30.1	549	5.2	373	3.6	10,484	100.0
友人関係	6,516	62.2	3,067	29.3	554	5.3	347	3.3	10,484	100.0
先生との関わり合い	5,563	53.1	3,752	35.8	786	7.4	373	3.6	10,484	100.0
上級生との関わり合い	4,350	41.5	4,309	41.2	1,139	10.8	476	4.5	10,484	100.0

※小中学校のみ回答



Q13.【中学生保護者向け】 お子様が中学校へ進学した後で感じた小学校との変化について、それぞれの項目で最も当てはまるもの（または考え）を1つ選んでください。必須

	あてはまる		ややあてはまる		ややあてはまらない		あてはまらない		計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
学校行事	1,123	25.2	2,047	45.9	950	21.3	337	7.6	4,457	100.0
学校生活（制服、校則など）	2,721	61.1	1,453	32.6	285	6.4	78	1.8	4,457	100.0
部活動	2,770	62.1	1,324	29.7	241	5.4	122	2.7	4,457	100.0
学習面	2,639	59.2	1,547	34.7	213	4.8	58	1.3	4,457	100.0
友人関係	1,399	31.4	2,193	49.2	785	17.6	769	17.2	4,457	100.0
先生との関わり合い	1,438	32.3	2,250	50.5	653	14.7	116	2.6	4,457	100.0
上級生との関わり合い	1,595	35.8	2,093	46.6	676	15.2	153	3.4	4,457	100.0

※中学校のみ回答

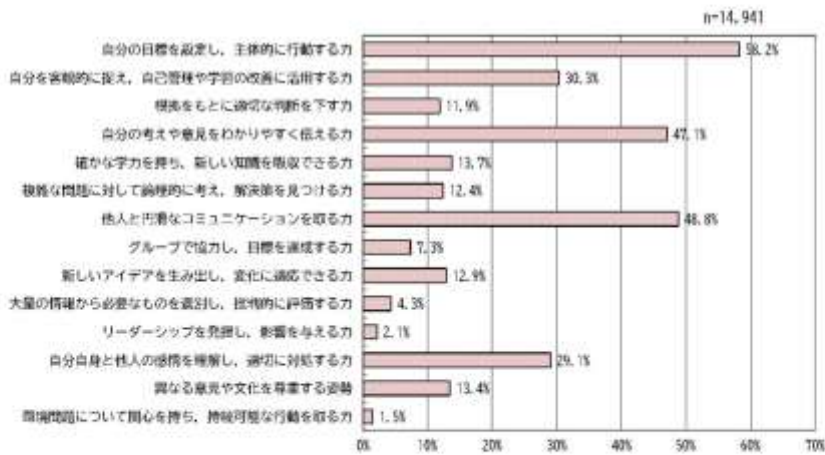


子供が身に付ける力について

Q14. これからの時代を見据え、お子様にどのような力を身に付けてほしいですか。考えに当てはまるもの（または近いもの）を3つ選んでください。必須

	回答数	%
自分の目標を設定し、主体的に行動する力	4,532	38.2%
自分を客観的に捉え、自己管理や学習の改善に活用する力	3,072	30.3%
根拠をもとに適切な判断を下す力	1,072	11.9%
自分の考えや意見をわかりやすく伝える力	3,074	47.1%
自分の考えや意見をわかりやすく伝える力	2,044	18.3%
複雑な問題に対して論理的に考え、解決策を見つける力	1,072	12.4%
他人と円滑なコミュニケーションを取る力	3,071	48.8%
グループで協力し、目標を達成する力	1,071	7.3%
新しいアイデアを生み出し、変化に適応できる力	1,071	12.9%
大量の情報から必要なものを選別し、批判的に評価する力	431	4.3%
リーダーシップを発揮し、影響を与える力	211	2.1%
自分自身と他人の感情を理解し、適切に対処する力	3,071	29.1%
異なる意見や文化を尊重する姿勢	1,071	13.4%
環境問題について関心を持ち、持続可能な行動を取る力	124	1.5%
合計	43,191	

	回答数	%
1-自分自身	14,771	34.4%
2-仲間・周囲	261	7.3%
3-社会全体	211	2.1%
合計	15,243	34.8%



柏市立小中学校の教育環境に関するアンケート

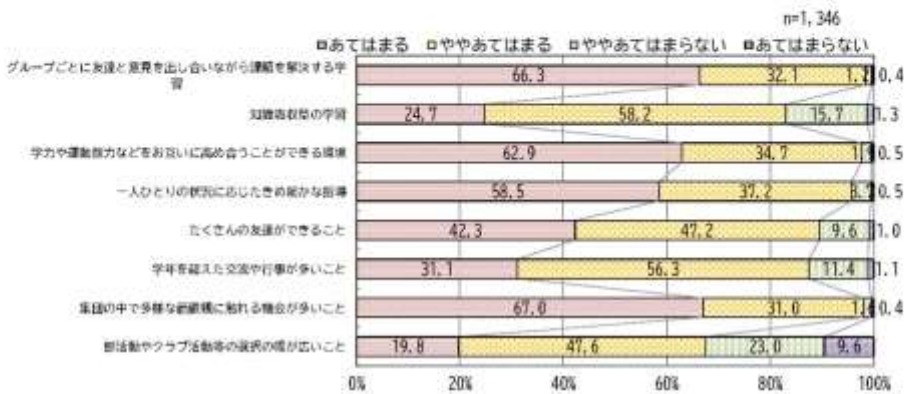
※アンケート回答数： 1,346 件
 ※アンケート配布数： 2,868 件
 ※回答率： 46.9%

(5) 教職員向け

学校教育で取り組むべき項目

Q4. 学校教育ではどのような点を重視して取り組む必要があると思いますか。それぞれの項目で最も当てはまるもの(または考え)を1つ選んでください。必須

	あてはまる		ややあてはまる		ややあてはまらない		あてはまらない		計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
グループごとに友達と意見を話し合いながら課題を解決する学習	893	66.3	432	32.1	16	1.2	5	0.4	1,346	100.0
知識吸収型の学習	323	24.1	784	58.2	211	15.7	18	1.3	1,346	100.0
学力や運動能力などをお互いに高め合うことができる環境	896	62.9	467	34.7	26	1.9	5	0.5	1,346	100.0
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	788	58.5	581	39.2	58	3.7	1	0.1	1,346	100.0
たくさんの友達ができること	569	42.3	435	32.2	129	9.6	33	2.4	1,346	100.0
学年を超えた交流や行事が多いこと	419	31.1	758	56.3	154	11.4	15	1.1	1,346	100.0
集団の中で多様な価値観に触れる機会が多いこと	582	43.2	417	30.9	21	1.6	8	0.6	1,346	100.0
部活動やクラブ活動等の選択の幅が広いこと	267	19.8	441	32.8	389	28.9	129	9.6	1,346	100.0



1学年あたりの学級数

Q5. 1学年あたりの学級数は、どのくらいが適当だと思いますか。必須

	回答数	%
1学級	2	0.15
2学級	37	2.75
3学級	122	9.06
4学級	129	9.58
5学級	133	9.95
6学級	97	7.20
7学級以上	58	4.31
計	1,346	100.00



【教職員-P2】

06. 「Q5」の選択肢を選んだ理由について、それぞれの調査項目で最も当てはまるもの（または考え）を1つ選んでください。必須

	とてもはまる		ややあてはまる		ややあてはまらない		あてはまらない		計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
クラス替えができる	123	53.7	475	35.2	187	7.9	42	3.1	1,346	100.0
グループ学習や習熟度別指導など多様な学習形態を行うことができる	595	42.7	599	44.5	124	9.2	48	3.4	1,346	100.0
学力や運動能力をお互いに高め合うことができる	561	41.7	657	48.8	98	7.3	38	2.7	1,346	100.0
たくさんの友達ができる	523	38.9	685	50.9	106	7.9	32	2.4	1,346	100.0
クラスのメンバーが固定され、子ども達の人間関係が保たれやすい	123	9.1	371	27.6	561	43.2	251	20.1	1,346	100.0
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる	324	24.2	667	49.6	383	22.5	59	3.7	1,346	100.0
学年を超えた交流や行事ができる	379	28.2	681	50.6	233	17.3	53	3.9	1,346	100.0
家庭の中で多様な価値観に触れる機会を持つことができる	632	47.0	646	48.0	57	4.2	11	0.8	1,346	100.0
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広い	238	17.7	599	43.0	342	25.4	187	13.9	1,346	100.0



学校施設について

07. 学校施設は安全・安心だけではなく様々な機能や役割が求められています。これからの学校施設について、重要だと思うものを1つ選んでください。必須

	回答数	%
児童生徒が快適に学習できる環境	1,240	83.9%
教職員が快適に働くことができる環境	1,128	83.9%
防災・防災機能の強化	500	40.1%
バリアフリー・ユニバーサルデザイン（文化、芸術、国際、年輪、性別等の違いに関わらず、できるだけ多くの人が利用することができることを目指したデザイン）の推進	565	41.2%
環境への配慮	191	12.7%
放課後等における子どもの居場所としての機能	125	9.2%
地域の活性化につながるようなスペースの活用	38	2.8%
近隣関係の強化	125	9.3%
他の公共施設との連携	92	5.3%
その他	8	0.6%
計	1,346	

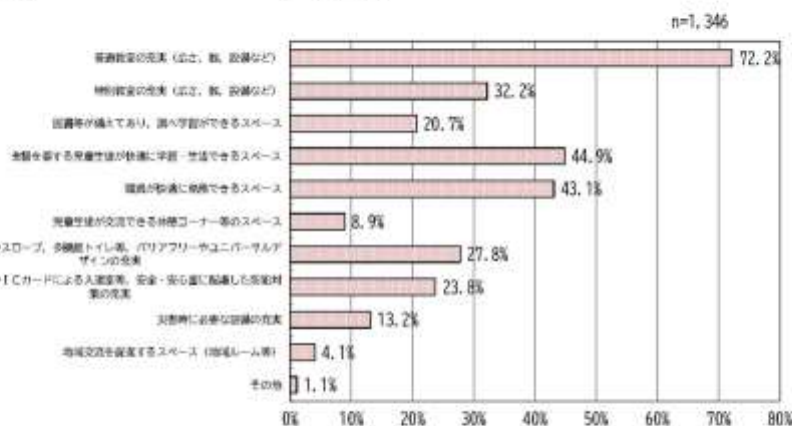
	回答数	%
1つ選択	1,346	100.0%
2つ選択	0	0.0%
3つ選択	0	0.0%
4つ選択	0	0.0%
計	1,346	100.0%



Q8. これからの学校施設に必要と思うものを3つまで選んでください。必須

	回答数	%
普通教室の充実（広さ、数、設備など）	272	72.2%
特別教室の充実（広さ、数、設備など）	272	72.2%
図書等が揃っており、調べ学習ができるスペース	207	56.9%
全学年が利用できる図書・学習スペース	600	162.8%
児童生徒が利用できる図書・学習スペース	500	134.1%
児童生徒が利用できる図書・学習スペース	170	45.3%
エレベーターやロープ、多機能トイレ等、バリアフリーやユニバーサルデザインの充実	294	79.8%
防犯カメラやICカードによる入退室等、安全・安心面に配慮した防犯対策の充実	320	86.8%
災害時に必要な設備の充実	197	53.4%
地域交流を促進するスペース（地域ルーム等）	42	11.3%
その他	15	4.1%
合計	375	100.0%

	回答数	%
普通教室の充実（広さ、数、設備など）	1,262	92.1%
特別教室の充実（広さ、数、設備など）	98	7.2%
図書等が揃っており、調べ学習ができるスペース	20	1.5%
全学年が利用できる図書・学習スペース	0	0.0%
児童生徒が利用できる図書・学習スペース	0	0.0%
児童生徒が利用できる図書・学習スペース	0	0.0%
エレベーターやロープ、多機能トイレ等、バリアフリーやユニバーサルデザインの充実	0	0.0%
防犯カメラやICカードによる入退室等、安全・安心面に配慮した防犯対策の充実	0	0.0%
災害時に必要な設備の充実	0	0.0%
地域交流を促進するスペース（地域ルーム等）	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	1,380	100.0%



通学時間について

Q10. 子ども達の通学時間（片道）はどのくらいの時間が許容範囲だと思いますか。必須

	回答数	%
15分未満	115	7.1%
15分以上30分未満	351	22.9%
30分以上45分未満	98	6.3%
45分以上	5	0.3%
合計	569	100.0%



【教職員-P4】

Q11. 「Q10」で回答した時間内に徒歩で通学することが難しい場合、どのような配慮・対策が必要と考えますか。必要だと考える対策を2つ選んでください。必須

	回答数	%
自宅から近い場所にある学校へ通学できるようにする	1,052	80.6%
公共交通機関（バス、電車）を利用できるようにする	523	40.3%
スクールバスの運行	462	35.6%
自転車を利用できるようにする	312	23.3%
自家用車で送迎することを認める	236	17.5%
その他	22	1.6%
計	1,346	100.0%
※初回、目録記載あり	22	1.6%

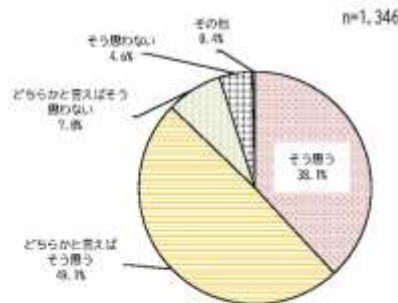
	回答数	%
必要	1,346	100.0%
不要	0	0.0%
計	1,346	100.0%



小中一貫教育について

Q12. 柏市では、義務教育9年間を見通した連続性や系統性を担保した「小中一貫教育」について、調査・研究を進めています。小学校と中学校で途切れがちな指導や支援を、小・中学校教員相互の交流や連携を行うことにより、連続性を持った指導としていく必要があると思いますか。必須

	回答数	%
そう思う	513	38.1%
どちらかと言えばそう思う	481	35.7%
どちらかと言えばそう思わない	302	22.4%
そう思わない	81	6.0%
その他	5	0.4%
計	1,346	100.0%
※初回、目録記載あり	5	0.4%



子供が身に付ける力について

Q13. これからの時代を見据え、学校では子ども達にどのような力を身に付ける必要があるか、考えに当てはまるもの（または近いもの）を3つ選んでください。必須

	回答数	%
自分の目標を設定し、主体的に行動する力	195	55.3%
自分を客観的に捉え、自己管理や学習の改善に活用する力	53	15.1%
根拠をもとに適切な判断を下す力	21	6.0%
自分の考えや意見をわかりやすく伝える力	43	12.4%
確かな学力を持ち、新しい知識を吸収できる力	11	3.1%
複雑な問題に対して論理的に考え、解決策を見つける力	10	2.9%
他人と円滑なコミュニケーションを取る力	50	14.3%
グループで協力し、目標を達成する力	11	3.1%
新しいアイデアを生み出し、変化に対応できる力	11	3.1%
大量の情報から必要なものを選別し、批判的に評価する力	9	2.6%
リーダーシップを発揮し、影響を与える力	1	0.3%
自分自身と他人の感情を理解し、適切に対処する力	24	7.0%
異なる意見や文化を尊重する姿勢	14	4.0%
課題問題について関心を持ち、持続可能な行動を取る力	1	0.3%
計	350	

	回答数	%
3つ選んだ	1,346	100.0%
2つ選んだ	0	0.0%
1つ選んだ	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	1,346	100.0%



柏市立小中学校の教育環境に関するアンケート

・アンケート回答数： 177 件
 ・アンケート配布数： 354 件
 ・回答率： 50.0%

(6) 学校運営協議会委員向け

学校教育で取り組むべき項目

Q3. 学校教育ではどのような点を重視して取り組む必要があると思いますか。それぞれの項目で最も当てはまるもの（または考え）を1つ選んでください。必須

	あてはまる		ややあてはまる		ややあてはまらない		あてはまらない		計
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	
グループごとに友達と意見を出し合いながら課題を解決する学習	130	73.4	43	24.3	4	2.3	0	0.0	177
知識吸収型の学習	59	33.5	90	50.8	15	8.5	2	1.1	177
学力や運動能力などをお互いに高め合うことができる環境	116	65.5	56	31.4	5	2.8	0	0.0	177
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	110	62.1	62	35.0	4	2.3	1	0.6	177
たくさんの友達ができること	96	54.2	66	37.3	14	7.9	1	0.6	177
学年を超えた交流や行事が多いこと	85	47.5	82	46.2	6	3.3	2	1.1	177
集団の中で多様な価値観に触れる機会が多いこと	123	69.5	47	26.4	2	1.1	1	0.6	177
部活動やクラブ活動等の選択の幅が広いこと	67	37.9	88	49.7	18	10.2	4	2.3	177

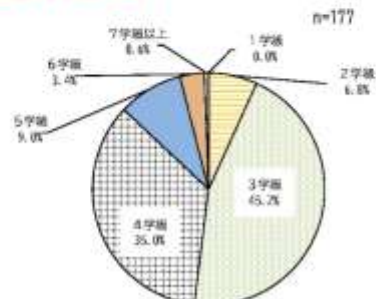
n=177



1学年あたりの学級数

Q4. 1学年あたりの学級数は、どのくらいが適当だと思いますか。必須

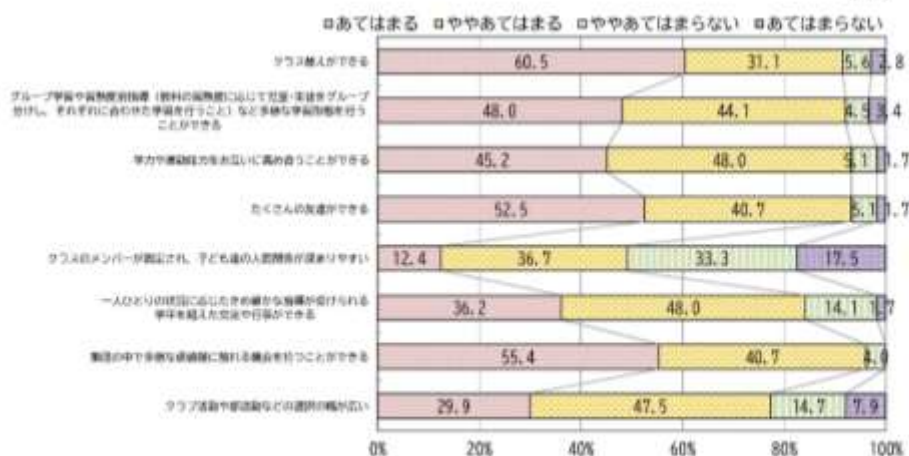
1学年あたりの学級数	回答数	%
1学級	1	0.6%
2学級	12	6.8%
3学級	81	45.8%
4学級	57	32.2%
5学級	19	10.7%
6学級	8	4.5%
7学級以上	9	5.0%
合計	177	100.0%



05. 「04」の選択肢を選んだ理由について、それぞれの調査項目で最も当てはまるもの（または考え）を1つ選んでください。必須

	とてもはまる		ややとてもはまる		ややあてはまらない		あてはまらない		計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
クラス替えができる	107	60.5	55	31.1	10	5.6	5	2.8	177	100.0
グループ学習や異熟度別指導（教科の習熟度に応じて児童・生徒をグループ分けし、それぞれに合わせた学習を行うこと）など多様な学習形態を行うことができる	85	48.0	70	44.1	8	4.5	6	3.4	177	100.0
学力や運動能力をお互いに高め合うことができる	80	45.2	65	48.0	9	5.1	3	1.7	177	100.0
たくさんの友達ができる	93	52.5	72	40.7	9	5.1	3	1.7	177	100.0
クラスのメンバーが固定され、子ども達の人間関係が深まりやすい	22	12.4	65	36.7	50	33.3	31	17.5	177	100.0
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる 学年を超えた交流や行事ができる	64	36.2	85	48.0	25	14.1	3	1.7	177	100.0
集団の中で多様な価値観に触れる機会を持つことができる	66	37.3	72	40.7	7	4.0	0	0.0	177	100.0
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広い	53	29.9	64	47.5	26	16.7	14	7.9	177	100.0

n=177



学校施設について

06. 学校施設は安全・安心だけではなく様々な機能や役割が求められています。これからの学校施設について、重要だと思うものを3つ選んでください。必須

項目	回答数	%
児童生徒が快適に学習できる環境	150	84.7%
教職員が快適に働くことができる環境	119	66.7%
防災・緊急時の対応	50	27.1%
バリアフリー・ユニバーサルデザイン（文化、芸術、健康、年齢、性別等の違いに関わらず、できるだけ多くの人が利用できるように設計したデザイン）の推進	48	27.1%
児童への配慮	15	7.9%
教職員等における子どもの居場所としての機能	56	32.8%
地域の方が使うことのできるスペースの充実	18	10.2%
避難所機能の強化	25	16.4%
他の公共施設との連携性	15	8.5%
その他	2	1.1%
計	177	100.0%

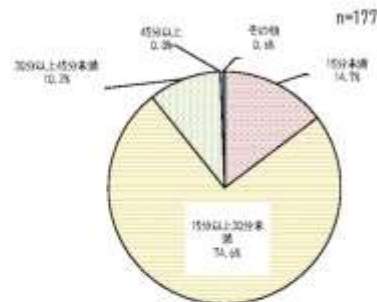
項目	回答数	%
子ども専用	177	100.0%
教職員専用	2	1.1%
その他	0	0.0%
計	179	100.0%



通学時間について

Q8. 子ども達の通学時間（片道）はどのくらいの時間が許容範囲だと思いますか。必須

回答範囲	回答数	%
15分未満	78	31.7%
15分以上30分未満	132	51.4%
30分以上45分未満	58	22.5%
45分以上	9	3.4%
その他	21	8.0%
合計	197	100.0%



Q9. 「Q8」で回答した時間内に徒歩で通学することが難しい場合、どのような配慮・対策が必要と考えますか。必要だと考える対策を2つ選んでください。必須

回答範囲	回答数	%
自宅から近い場所にある学校へ通学できるようにする	178	67.5%
公共交通機関（バス、電車）を利用できるようにする	107	41.2%
スクールバスの運行	95	35.1%
自転車を利用できるようにする	82	30.5%
自家用車で送迎することを認める	36	13.2%
その他	9	3.4%
合計	262	100.0%

回答範囲	回答数	%
バス・電車	117	100.0%
スクールバス	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	117	100.0%



学校運営への関わり方

Q10. 学校運営協議会の委員として、どのような面で学校運営に関わり協力していきたいと思いますか。考えに当てはまるもの（または近いもの）を2つ選んでください。必須

回答範囲	回答数	%
登下校に関する対応	52	24.5%
児童の生活・学習・遊びの環境整備	59	27.8%
学校行事等の準備・運営	40	19.1%
環境整備に関する対応（校内清掃、花壇の管理等）	28	13.3%
授業準備・サポート	56	26.6%
学校関係者以外で活動している子どもへの支援	53	25.0%
合計	212	100.0%

回答範囲	回答数	%
バス・電車	117	100.0%
スクールバス	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	117	100.0%



子供が身に付ける力について

Q11. これからの時代を見据え、学校では子ども達にどのような力を身に付ける必要があるか、考えに当てはまるもの（または近いもの）を3つ選んでください。必須

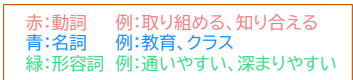
	回答数	%
自分の目標を設定し、主体的に行動する力	91	52.0%
自分を客観的に捉え、自己管理や学習の改善に活用する力	18	10.1%
他者をもとに適切な判断を下す力	15	8.5%
自分の考えや意見をわかりやすく伝える力	49	27.7%
確かな学力を持ち、新しい知識を吸収できる力	14	8.0%
様々な問題に対して論理的に考え、解決策を見つける力	9	5.1%
他人と円滑なコミュニケーションを取る力	58	32.8%
グループで協力し、目標を達成する力	14	8.0%
新しいアイデアを生み出し、変化に対応できる力	12	6.8%
大量の情報から必要なものを選別し、批判的に評価する力	8	4.5%
リーダーシップを発揮し、刺激を与える力	1	0.6%
自分自身と他人の感情を理解し、適切に対応する力	23	13.0%
異なる意見や文化を尊重する姿勢	21	12.0%
環境問題について関心を持ち、持続可能な行動を取る力	2	1.1%
	177	100.0%

	回答数	%
コミュニケーション能力	117	66.1%
自己管理能力	18	10.2%
批判的思考力	15	8.5%
創造力	14	8.0%
その他	17	9.6%
	177	100.0%

n=177

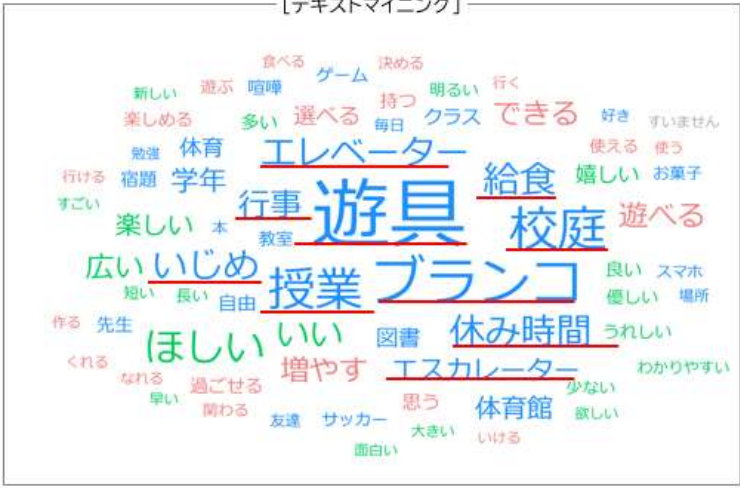


【小学校 3 年生】 Q7 将来,どんな大人になりたいですか？



- ・子どもにもおとなにもやさしいおとな。
- ・やさしい人思いな、大人になりたい。みんなのやくにたちたい。
- ・みんなや、動物、自然に優しいおとなで、将来は、獣医師になって殺処分される猫や犬や怪我をした犬猫や捨てられた犬猫を助けたいです。
- ・みんなにすごいと言われるサッカー選手になりたいです。
- ・サッカー選手になりたいです。人に優しくになりたいです。
- ・しょうらいみんながよろこんでくれるおいしいものをつくりたい{シェフ, パティシエ}。
- ・パティシエになってお店をもちたい。
- ・野球選手(投手)になって、年俸 7500 万円以上になって、有名投手になりたい。そして WBC(ワールドベースボールクラシック)で優勝したい。
- ・優しく、勉強ができる野球選手になりたいです。
- ・ヒカキンのような有名なユーチューバーになりたいです。
- ・だいしんゆうと、ユーチューバーになる。

【小学校 6 年生】 Q10 「こんな学校だったらいいな」と思うことは？

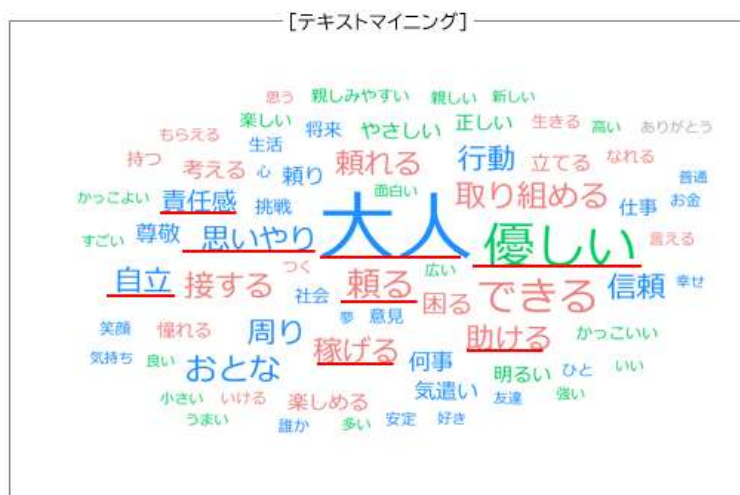


赤:動詞 例:取り組める、知り合える
青:名詞 例:教育、クラス
緑:形容詞 例:通いやすい、深まりやすい

【意見】

- ・遊具が校庭にもっとあったり、年に一度学校全体を使った行事などがあってほしいです。
- ・ブランコやシーソーなど公園にあるような遊具が欲しい。
- ・一人ひとりの意見を大事にして、他学年との交流がたくさんあり、どの学年も楽しんで遊べる遊具がたくさんある学校。
- ・滑り台があると嬉しいです。理由は、低学年から高学年まで一緒に楽しむことができる遊具だと思うからです。
- ・エレベーターなどがあると便利だから良いと思います。理由は、学校内で階段をよく使うからです
- ・外の遊具が多かったり、アスレチックみたいな遊具もあって校庭が広くて遊ぶ道具とかがめっちゃあって楽しめる学校。
- ・校庭の遊具などをもっと多く楽しいものにしてほしい。
- ・校庭の遊具にブランコがあってほしい。エアコンを各教室で管理できるようにしてほしい。
- ・階段登って疲れて気持ち悪くなる事があるのでエスカレーターとかエレベーターがほしい。
- ・学校に、クーラーを付けたり、エレベーターやエスカレーターがあればいいと思う。
- ・他のクラスの人と、一緒に授業や、給食が食べられる学校がいいです。
- ・タブレットを使う授業を多くしてほしい。
- ・仲間はずれとか、いじめとか、陰口がないような平和な学校だったらいいなと思います。
- ・部活、兄弟や他学校の友達などと遊べる行事、イベントなど。
- ・学校行事がたくさんあって、文化祭のようなお祭りをやりたいです！

【中学校 2 年生】 Q11 将来, どんな大人になりたいですか？

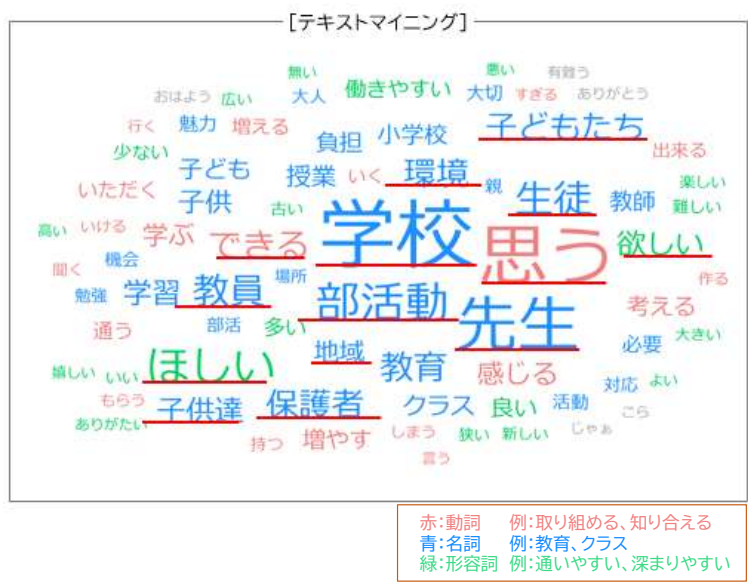


赤:動詞 例:取り組める、知り合える
 青:名詞 例:教育、クラス
 緑:形容詞 例:通しやすい、深まりやすい

【意見】

- ・責任感があり, 頼られる人。
- ・様々なことにどんどん挑戦していったり, 物事を責任感を持って取り組める大人。
- ・優しい大人になりたい・責任感がある大人になりたい。
- ・困っている人がいたら気づいて声をかけて相談に乗ったりすることのできる優しい大人になりたいです。
- ・困っている人を助ける勇気のある, 優しい人であつ, その人の悩みをなんとかできる手助けになる知識を持つ人。
- ・信頼される大人。頼られる大人や優しいって思ってもらえるような大人。
- ・大人になっても優しくて思いやりがある人。
- ・思いやりがあって何事にも全力で取り組める人。
- ・優しくて責任感があり何事にも真剣に取り組めるような大人になりたい。
- ・家族が自分にお金を使ってくれているのでそれを2, 3倍でかえせるようにお金が稼げる大人
- ・お金を稼げる仕事に就いて, 安定した暮らしをしたい。
- ・自分で考えて行動でき, 自立心が高い大人になりたい。
- ・人に頼ってもらえて自立できている大人になりたいです
- ・責任感と自信のある大人になりたい。友達を作って勉強して, 両親に誇りに思ってもらいたい。
- ・責任感があり周りを自ら引っ張っていけるような大人になりたいです。

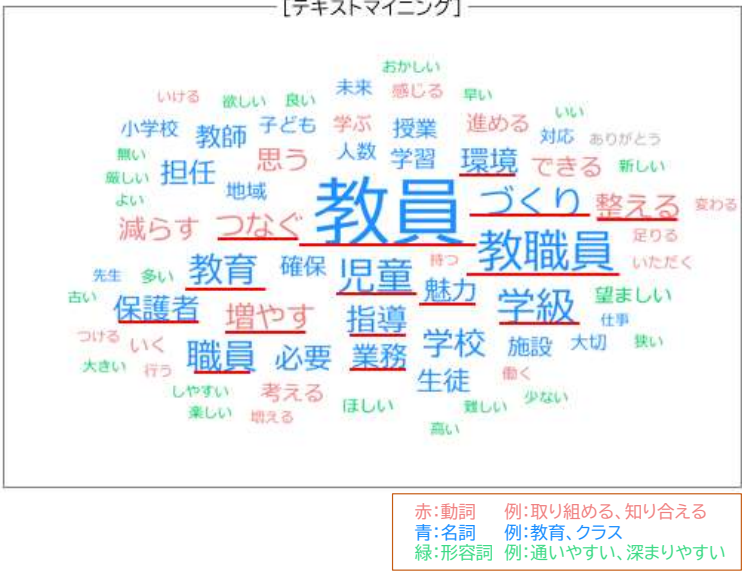
【保護者】 Q15 「未来につなぐ魅力ある学校づくり」についてのご意見は？



【意見】

- ・画一的な教育よりも個性を大事にし生徒と向き合おうような学校が望ましい。
- ・固定したクラスで過ごす時間を少なくし、学力に合わせて授業を選択できる。
- ・部活動の廃止に疑問を感じています。残念に思う子供もさることながら、先生方の中にも残念に思う方は多いと感じています。
- ・今年から部活動が廃止されてしまった。先生方の働き方改革も大切かと思うが、子どもが夢中になれるものを探さきっかけを奪わないでほしい。
- ・子供同士の関わり合い方が難しくなっている学校生活の中で、先生も含めて見通しの良い繋がりが出来る様希望します。
- ・小学校の担任の先生だけでは、子供達全ての生活を細かく見るのは大変なので、保護者や地域の方と子供達が一緒に過ごせる場を作るのはどうでしょうか。
- ・地域の方(生徒の保護者のみではなく、比較的年配の方も含め)が授業のサポートができるような仕組みの導入。
- ・先生方がより良い環境で働けることで子どもたちに質の良い教育を与えることができると思うので、私たち保護者も協力していきたい。
- ・多様性に適応していく学校づくりが理想です。障害や働く親に寄り添った環境やシステムが増えて欲しいです。
- ・学校でやる ICT 教育が常に新鮮であってほしい。学校でやるのが古いものでなく、新しいものであれば子どもたちも意欲的になると思う。
- ・先生方の仕事の負担を減らし、生徒と向き合える環境を整えていただきたい。

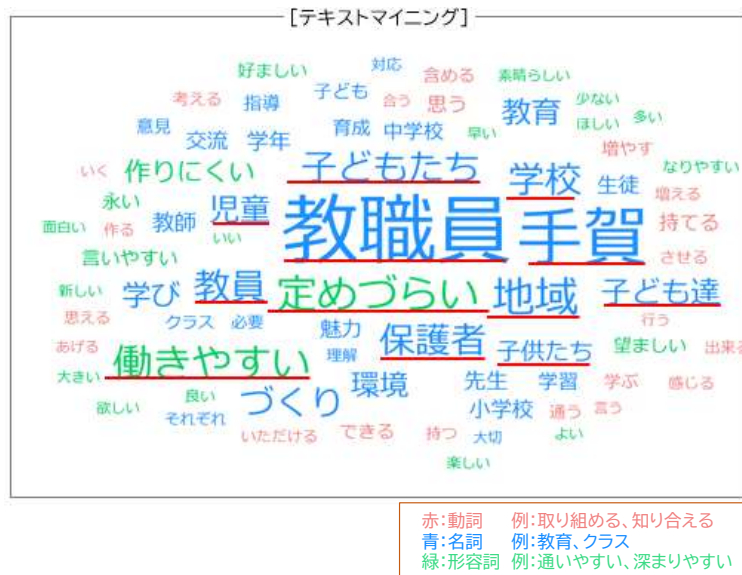
【教職員】 Q14 「未来につなぐ魅力ある学校づくり」についてのご意見は？



【意見】

- ・担任以外で**職員**の配置を充実。例えば、支援学級支援員、個別指導教員、低学年指導教員、ICT支援員など思います。
- ・まず、**教員**を**増やす**ことが第一優先だと思います。各学年に**小学校**にも副担任が必要。
- ・**教員**の意識改革が必要。30年前と現在の若手は変わっていないように**感じる**。
- ・一人一人と向き合えるように、**教員**の働き方改革はさらに進めるべきかと思います。
- ・**教職員の業務量を減らすこと**。**教員**がやらなくても良い業務は切り離す。
- ・生徒も**教員**も挨拶が爽やかに元気でできると**魅力**的な学校づくりに繋がると**考えます**。
- ・**教員**のモチベーションなくして、**魅力**ある学校づくりはなし。私どもが自分自身のポジティブな強みを本当に活かせる職場に**していきたい**。
- ・**教員**がしっかりライフワークバランスをとり、ゆとりを持って教科指導、学級指導ができる働く環境を整えて**ほしいです**。
- ・**保護者**対応が年々難しくなっていると思う。
- ・**教育委員会**、**学校**、**地域**(保護者等)が積極的にコミュニケーションをとり、建設的に事を**進めていく**ことが重要。
- ・**教職員**や**子供たち**、**保護者**たちのさまざまな想いをお互いに共有する場や機会を設け、手立てを考えて実行できるような見通しの良いしくみがあればよい。
- ・**教員**の指導力と**児童**に対して親身に関わる姿勢の向上が必要。
- ・子どもの学習環境を**整える**ためには、**教員**の働く環境を**整える**ことも大切であると思う。

【学校運営協議会委員】 Q12 「未来につなぐ魅力ある学校づくり」についてのご意見は？



【意見】

- ・教職員の方々の労働環境(特に長時間労働を無くす)の改善が急務と考えます。
- ・学校教職員だけで学校教育を請け負うのではなく、地域が担える部分は任せることで、教職員の働き方改革に繋がるだけでなく、子どもたちが日常的に教職員や親以外の大人と接点を持つことができ、より子どもたちの世界が広がると考える。
- ・卒業生や卒業生の保護者が気軽に交流出来る場があるといい。
- ・教師の負担となる雑務を選別し削減する。時間的に余裕を持って一人一人の生徒に対応する。
- ・地域と学校がお互いに興味関心を持ち、ますます地域に開かれた学校にしていくこと。
- ・これまで各校が培ってきた地域とのつながりや伝統を継承していくことが重要と思います。
- ・地域の歴史、文化の研究生活環境に関心を持てるような学び、生活力が身に付くような環境作り。
- ・地域力を多めに利用して、子ども達を育み、生きる力を助長してあげたい。
- ・いじめ、不登校で本当に困っている、悩んでいる生徒や親に真摯に対応出来る機関の設置。
- ・手賀中地区は小規模校なので新しい価値観に触れるようなスパイス的な教育を取り入れて欲しい。
- ・地域と学校がお互いに興味関心を持ち、ますます地域に開かれた学校にしていくこと。
- ・先生目線から、毎日子供たちと接してるからこそ、ステキな意見が出て来そう。先生方も働きやすい環境、私たちも寄り添いお手伝いしたいと思っています。